

## 壁掛形非常用放送設備

品番 WK-770B  
WK-775B  
WK-780B

## 工事説明書

★工事の前にこの説明書と取扱説明書をよくお読みいただきますようお願いいたします。

## もくじ




安全上のご注意	2、3	書き込みのしかたと確認	26～49
使用上のお願い	4	■書き込みについて	26、27
設置工事の前に	5	■放送系統表	28、29
■非常放送の流れ	5、6	■書き込みのしかたと確認	30～49
■接続線について	7	1.出火階、連動階の指定	30、31
■工事に必要な工具	7	2.階情報指定	32、33
■工事の順序	7	3.一斉／緊急指定	33
設置上のご注意	8	4.タイマー設定	34～36
設置のしかた	9～12	(1)第1タイマー	34
1.取付位置の決定	9	(2)第2タイマー	35
2.本体を取り付けます	10	(3)発報放送の繰り返し	36
3.電源、スピーカー、外部機器の接続をします	11	5.一般ブロック放送	37
4.付属のマイクロホンに接続します	11	6.一般リモコンブロック放送	38、39
5.電力増幅ユニット、蓄電池を取り付けます	11	7.チャイムブロック放送	40、41
6.ラジオチューナーユニット(別売品)を取り付けます	12	8.一般外部ブロック放送	42、43
7.本体カバーを取り付けます	12	9.自動アナウンスのブロック放送	44、45
接続のしかた	13～25	10.汎用制御出力端子	46～48
■接続できる機器について	13	■階情報・言語コード書き込み	49
■接続端子の位置	14	(増設音声合成ボード(別売)を使用する場合)	
■音声入力端子の接続	15、16	表示カードの使いかた	50
■一般リモコン、非常リモコン、 自火報起動端子の接続	17～19	設置時の点検	51～59
■スピーカーの接続	20	■動作点検(非常放送)	52～57
■電力増幅ユニットの接続	21	■動作点検(業務放送)	58、59
■蓄電池、電源の接続	22	保守点検のしかた	60～63
■設定・調整	23～25	■点検について	60
		■総合点検	60
		■電源の点検	61、62
		■スピーカー回線の点検および絶縁抵抗試験	63

# 安全上のご注意

必ずお守りください




お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

■表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

 <b>危険</b>	この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う危険が切迫して生じることが想定される」内容です。
 <b>警告</b>	この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。
 <b>注意</b>	この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

■お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。

(下記は絵表示の一例です。)

	この絵表示は、気をつけていただきたい「注意喚起」の内容です。
	このような絵表示は、してはいけない「禁止」の内容です。
	この絵表示は、必ず実行していただく「強制」の内容です。

## 危険

### 蓄電池を 分解・改造しない



分解禁止

電池内部の液が飛び出し目に入ったりして失明などの事故の原因となります。

### 蓄電池を 火の中に入れない



禁止

火気にも近づけないでください。発火、破裂の原因となります。

### 蓄電池の⊕⊖端子を ショートさせない



禁止

発熱、発火の原因となります。

# 安全上のご注意

必ずお守りください

## 警告

### 工事は販売店に依頼する



工事には技術と経験が必要です。火災、感電、けが、器物損壊の原因となります。

- 必ず販売店に依頼してください。

### 定期的に点検をする



非常時に作動しないと、火災や災害を拡大する原因となります。

- 点検は、販売店や保守契約業者に依頼してください。

### 分解しない、改造しない



火災や感電の原因となります。

分解禁止

- 修理や点検は販売店にご連絡ください。

### 異物を入れない



水や金属が内部に入ると、火災や感電の原因となります。

禁止

- ただちに分電盤の電源を切って、販売店にご連絡ください。

### 異常があるときは、すぐ使用をやめる



煙が出る、臭いがする、水や異物が入った、落として破損したなど、火災の原因となります。

- ただちに分電盤の電源を切って、販売店にご連絡ください。

### 周囲に物を置かない



非常時の操作の妨げになり、火災、災害の拡大の原因となります。

禁止

- 指定範囲は常に整理、整頓してください。

### 重量に耐える 取り付けをする



取付の場所や方法が不適切な場合、落下（や転倒）などでのけがの原因となります。

- 販売店に依頼してください。

### 決められたヒューズを使う



規定以外のヒューズを使うと、火災の原因となります。

## 注意

### 蓄電池の交換は、販売店か保守契約店に依頼する



感電の原因となります。

### 蓄電池をぬらさない



発熱、破損などの原因となります。

禁止

# 使用上のお願い

## ●日常点検をしてください。

万一の際、正常に機器が動作するよう日常点検を行ってください。特に非常電源の点検は必ず行ってください。(点検方法は「日常点検」の項をごらんください。)

## ●日常点検時に異常を発見した場合は、ただちに販売店または保守契約店にご連絡ください。修理・復旧を実費で行います。

くわしくは販売店にご相談ください。

## ●日常点検は機器の動作の一部だけを点検するもので、全てではありません。必ず定期点検を行ってください。

## ●保守契約のお願い

消防法により定期点検、消防署への報告、および点検結果の維持台帳への記録が義務づけられています。建物の規模、用途によっては消防設備士、または自治大臣が認めた有資格者が点検しなければなりません。非常用放送設備が正しく動作するために、保守契約の締結をおすすめします。保守契約の締結については、販売店(工事店)または販売会社にお問い合わせください。

保守契約を締結していただくことは、ご使用者にかわって「消防設備士」・「消防設備点検資格者」が定期点検をお引き受けするわけですから、保証期間内であっても定期点検業務については有償となります。

## ●設置工事のとき以外は分電盤のスイッチを絶対に切らないでください。非常放送設備には、停電時でも放送できるように非常電源が組み込まれており、常に蓄電池を充電しています。分電盤などのスイッチには付属の非常放送用注意ラベルを貼付し、絶対に“切”にならないようにしてください。

## ●設置について

### ●本機の上や周囲に物を置かないでください。

本機の上部は通風孔になっていますので、物を置かないでください。故障の原因となります。

また、左右0.3 m以内、操作面1 m以内には物を置かないでください。操作の妨げになる原因となります。

### ●操作説明書は本機の近くに置いてください。

非常時に確実に操作できるように、本機の近くに置いてください。

本機の上には絶対に置かないでください。

## ●お手入れのしかた

### ●ケースが汚れたらうすめた台所用洗剤を布にしみ込ませ、よくしぼり、軽くふいてください。そのあと、から拭きしてください。

## お願い

●操作部に触れますと、非常放送などが放送される場合があります。お手入れをする場合は操作部に触れないようにするか、適切な状況のもとでのみお願い致します。

●ベンジンやシンナーなど揮発性のもの、研磨剤は使用しないでください。

●化学ぞうきんを使用するときは、その注意事項をよくお読みください。

●内部の清掃や点検は、販売店にご相談ください。

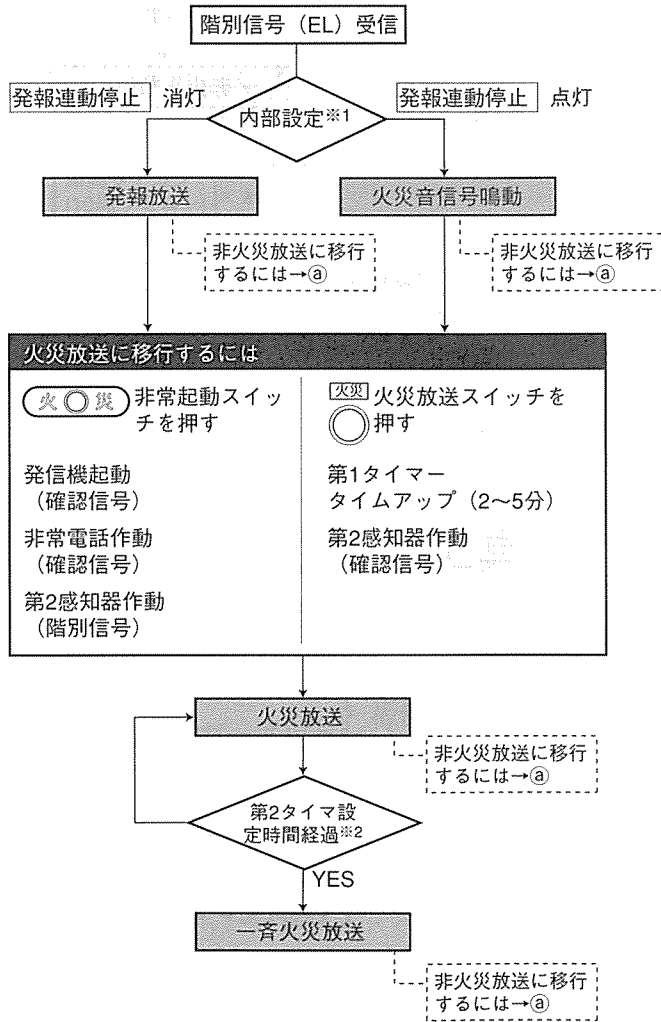
# 設置工事の前に

## ■非常放送の流れ

非常放送設備は以下に示す方法で起動されます。手動で起動することもできます。非常放送設備が起動されると、自動的に非常放送を開始します。

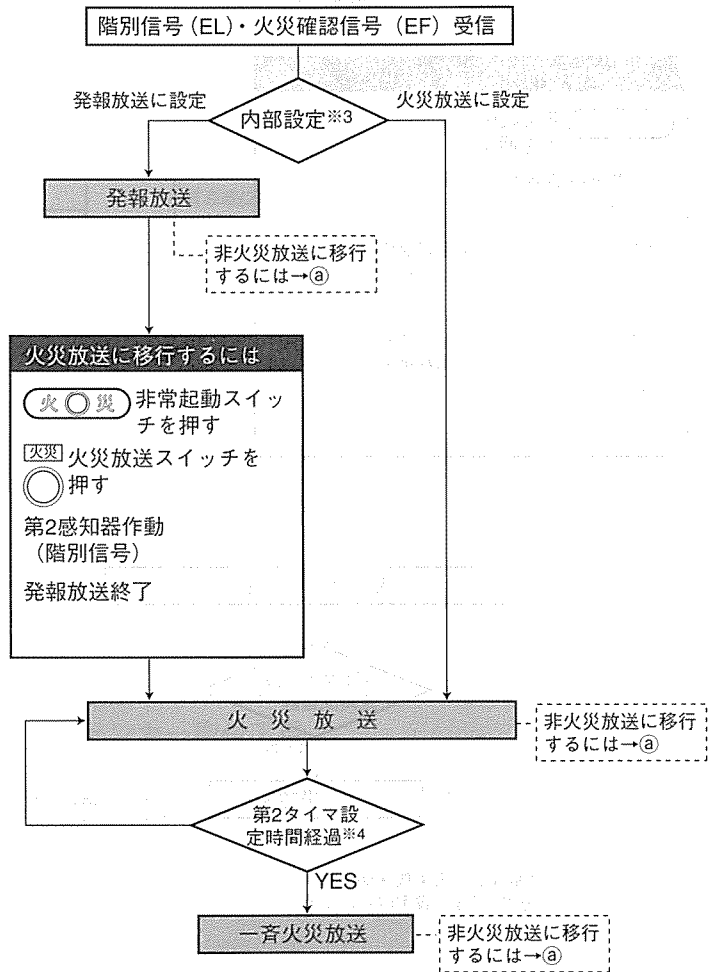
- 火災感知器による起動
- 発信機および非常電話による起動
- 手動による起動

### ● 火災感知器による起動



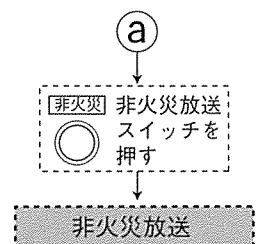
※1 発報連動停止スイッチの設定内容  
 ※2 0分,2~5分 (設定内容による)

### ● 発信機および非常電話による起動



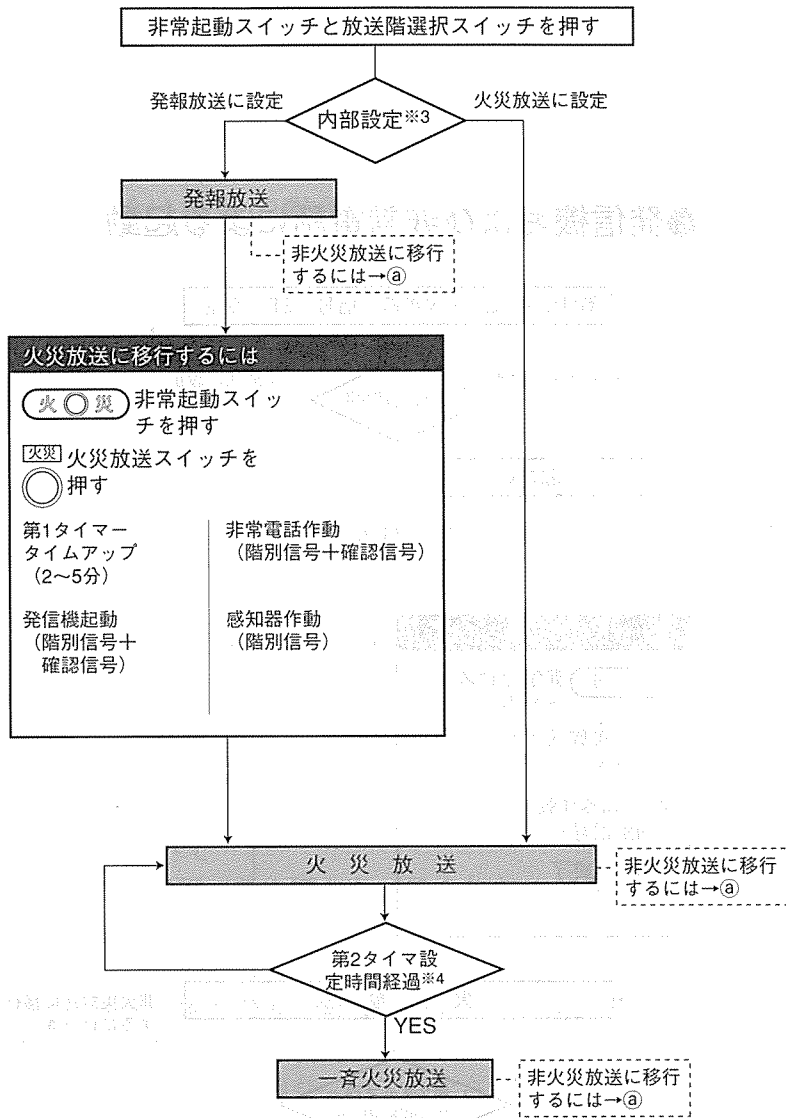
※3 発報放送/火災放送切換スイッチ (マイクドア内) の設定内容  
 ※4 0分,2~5分 (設定内容による)

- 非火災放送に移行するには  
 非火災放送スイッチを押すことにより非火災放送に移行できます。



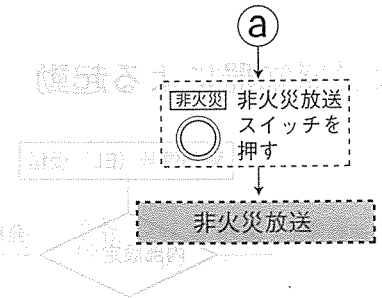
# 設置工事の前に

## ●手動による起動



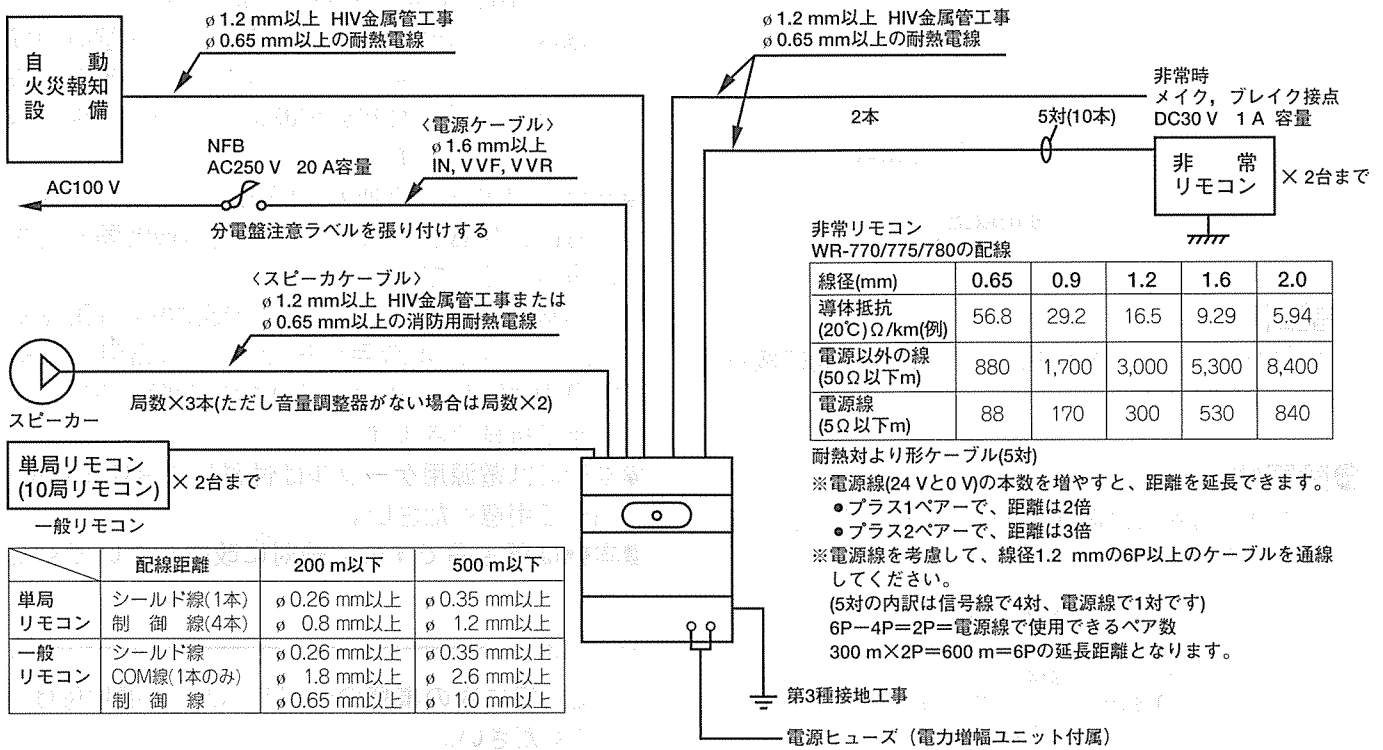
※3 発報放送/火災放送切換スイッチ (マイクドア内) の設定内容  
 ※4 0分,2~5分 (設定内容による)

●非火災放送に移行するには  
 非火災放送スイッチを押すことにより非火災放送に移行できます。



## ■ 接続線について

接続線は、下図を参考にご用意いただくようお願いいたします。



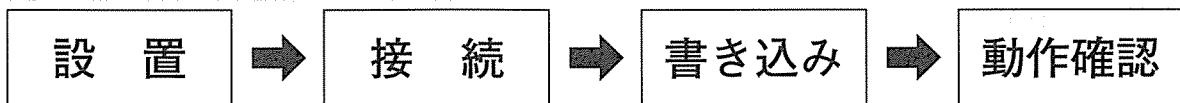
## ■ 工事に必要な工具

電動ドリル } コンクリート壁に取り付けるとき  
 アンカーボルト }  
 木ねじ } 板壁に取り付けるとき  
 板壁用アンカーボルト }  
 ハンマー }  
 スケール }

ドライバー プラス4 mm用、マイナスドライバー  
 ラジオペンチ  
 電工ニッパ  
 アンカー取付工具  
 圧着用工具

## ■ 工事の順序

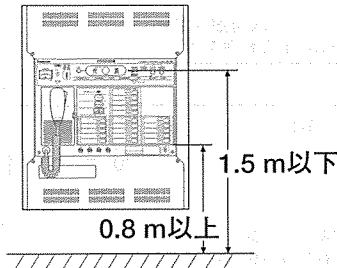
次の順序で工事を行ってください。



# 設置上のご注意

## ●取り付け高さ

取り付け高さは床面から非常起動スイッチまでが1.1～1.5 mです。

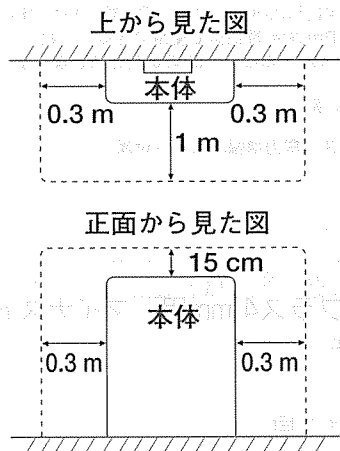


## ●壁面

本機は50 kg以上の荷重にたえられる壁面に取り付けてください。

## ●障害物

下図の範囲内には障害物を置かないで、空間を確保してください。



## ●操作説明書

非常時に確実に操作できるように、本機の近くに置いてください。本機の上には絶対に置かないでください。(ゼロケースから取り出し、設定した起動方式のページを切り離して再度ゼロケースに入れてください)

●設置工事完了後、分電盤のスイッチは絶対に切らないでください。誤って分電盤などのスイッチを切りにしないように、付属の分電盤注意ラベルを分電盤に貼り付けてください。

本機は、停電時でも放送できるように非常電源が組み込まれています。分電盤のスイッチを切ると、充電が行われず非常時に放送ができなくなる恐れがあります。

●本機と自火報（自動火災感知機）を接続しない場合は自火報受信機または副受信機と同一室内に設置してください。

●業務放送用リモコン（WR-105,WR-110,WR-101）および非常用リモコン（10局用：WR-770,15局用：WR-775,20局用：WR-780）は2台まで接続できます。

●本機には電源用ケーブルは付属しておりません。別途ご用意ください。

●本機は認定品ですので絶対に改造しないでください。

### お願い

●主銘板に次の事柄の付属ラベル\*を張り付けてください。

使用する電力増幅ユニットの定格出力      本体の定格出力時の消費電力を記入

<b>Panasonic</b> 壁掛型非常用放送設備		型式番号	WK-770Bシリーズ
品番 WK-770B	No. [ ]	設定番号	96-018
100V	出力時 [ ] W	容量	ニカド DC24V 3.5/6 Ah
	出力時 [ ] W	製造年	[ ]年
	50/60Hz	製造者名	松下通信工業株式会社
製造元・松下通信工業株式会社		本体の消費電力を記入	

●蓄電池注意ラベル（下カバーに張付済）の蓄電池品番部に、付属ラベル\*から蓄電池品番を張り付けてください。

※付属ラベルは、下カバー内に張り付けてあります。

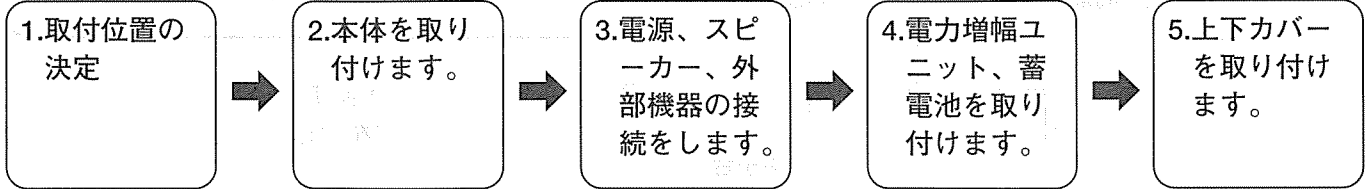


# 設置のしかた

●次の手順で設置をおこないます。

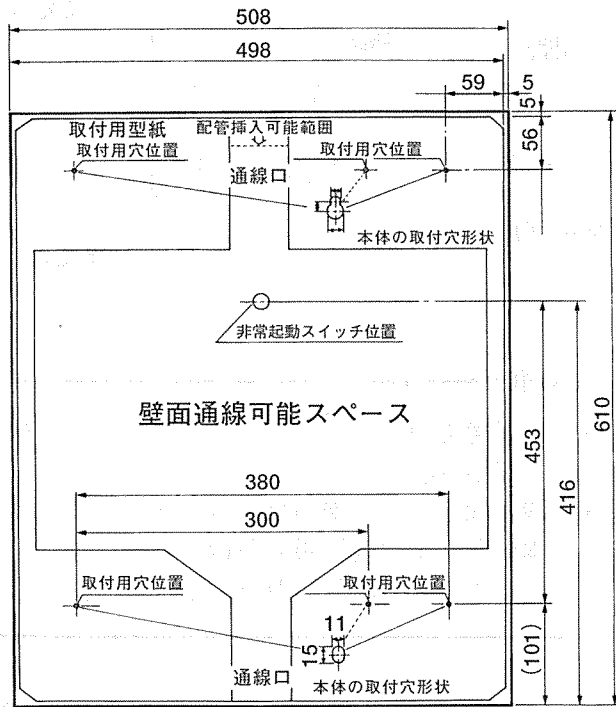
## ⚠ 警告

工事は、必ず分電盤のスイッチを「切」にしてから行ってください。感電の原因になります。



## 1.取付位置の決定

①付属品の型紙を、非常起動スイッチの位置が床面から1.1~1.5 mの所にくるように壁に張り付けます。



②型紙に合わせて、4ヶ所の取付用穴をあけ、アンカーボルトを打ち込みます。また、アンカーボルトを使用できないような所への取り付けは、木ねじを使用します。

## 重要

壁取付用アンカーボルトの径と凸量は以下の範囲内で工事をお願いします。

〈埋め込みアンカーボルト〉

ボルト最大径 : M10

ボルト最大凸量 : 12 mm

〈エキスパンションアンカー〉

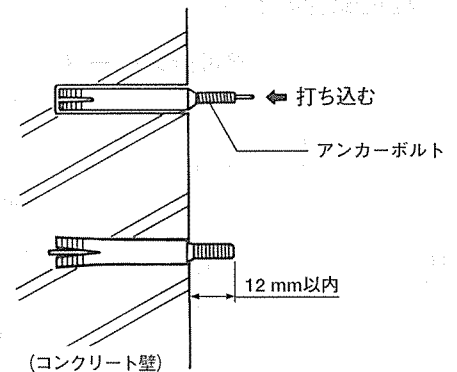
ボルト最大径 : M8

ボルト最大凸量 : 12 mm

### 〔コンクリート壁のとき〕

※壁面は、荷重50 kg以上のコンクリート壁を選びます。

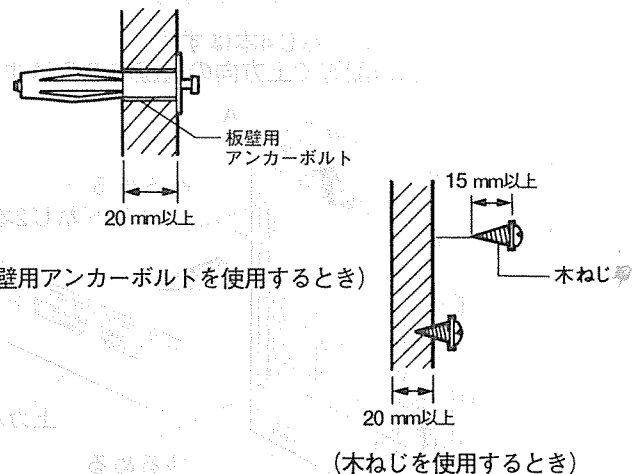
●電動ドリルで穴をあけアンカーボルトを打ち込みます。



### 〔板壁などのとき〕

※木造やボード製の間仕切り程度に使用されている壁などへの取り付けは避け、しっかりした柱や板厚20 mm以上の板壁を使用します。

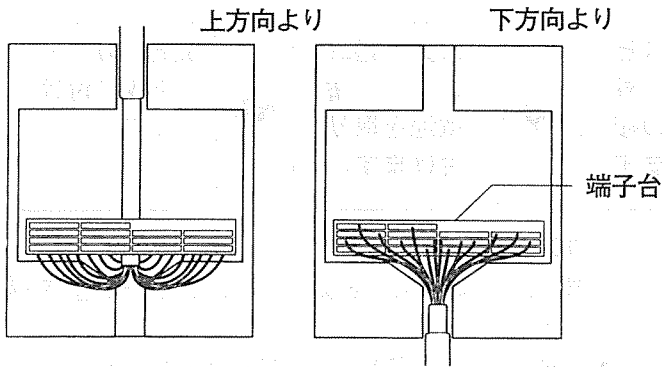
●電動ドリルで穴をあけ板壁用アンカーボルトを打ち込みます。また、板壁用アンカーボルトが使用できないような所は、木ねじを使用します。



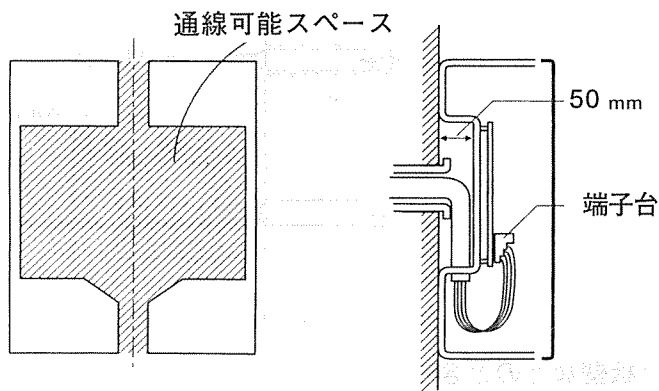
# 設置のしかた

③壁面からの配管や配線が斜線のところから出ないようにしてください。

## ●露出配管のとき

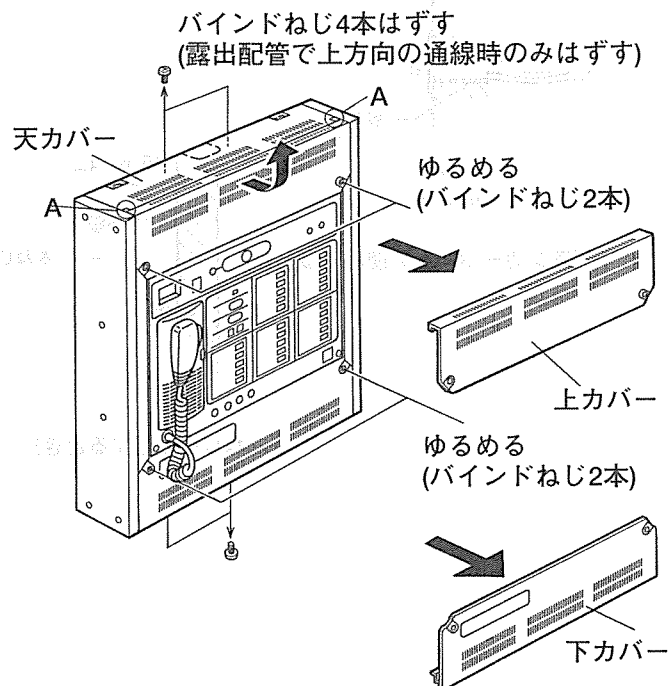


## ●埋込配管のとき



## 2. 本体を取り付けます。

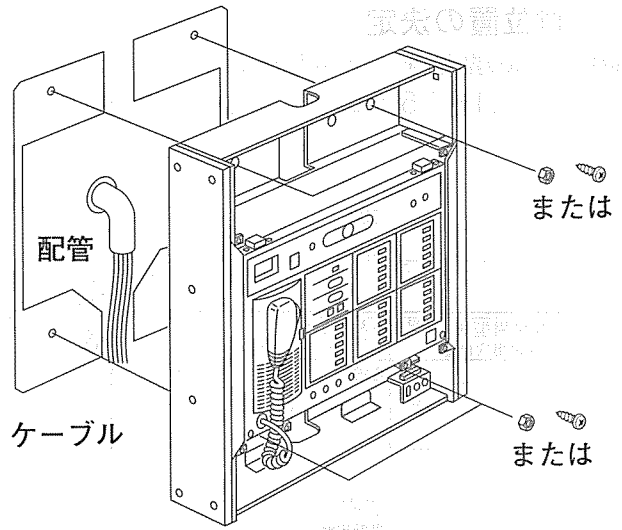
①上下カバーを止めているバインドねじ4本を外し、上下カバーを外します。  
露出配管で上方向の通線時はバインドねじ2本をはずして、天カバーをはずします。



## お願い

- 上下カバーはぐらつき防止のためA部にて側板にはめ込んでいます。  
カバーをはずす場合は矢印のように斜めに引き抜いてはらずしてください。

②本体を壁に取り付けます。  
本体4ヶ所の取付穴を通しナットや木ねじで固定します。

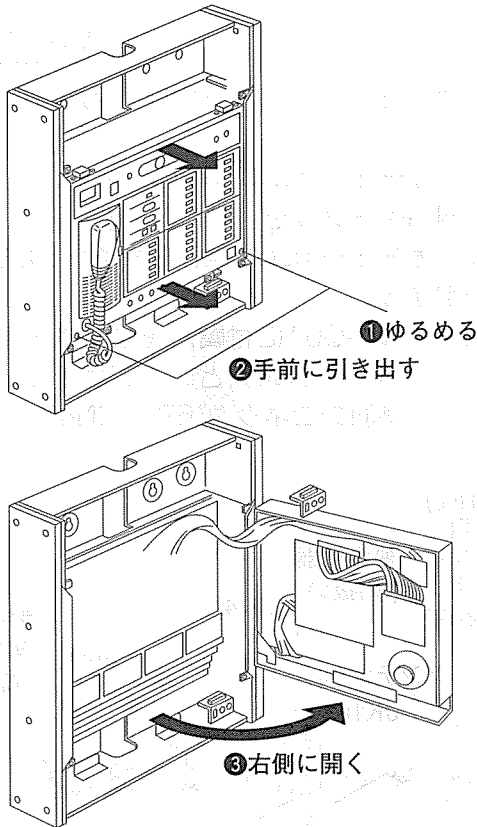


## お願い

- 埋込配管の時はあらかじめケーブルを適当な長さに引き出しておいてください。
- 壁取付面に凸凹がある場合は付属のスペーサーを本体背面取付部に張り付け、本機にゆがみを生じさせないように取り付けてください。

### 3.電源、スピーカー、外部機器の接続をします。

- ① 本体の操作部を止めているバインドねじ2本をゆるめます。
- ② 操作部上下の中央部を持ち、手前に引き出します。
- ③ 操作部を右側に開きます。
- ④ 各々の接続線を接続します。(13~19ページ)

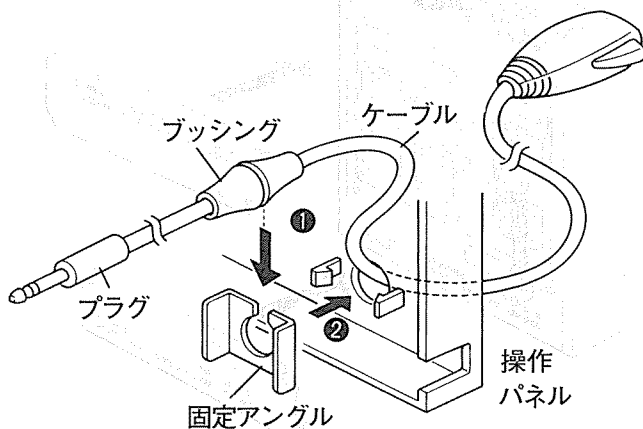


お願い

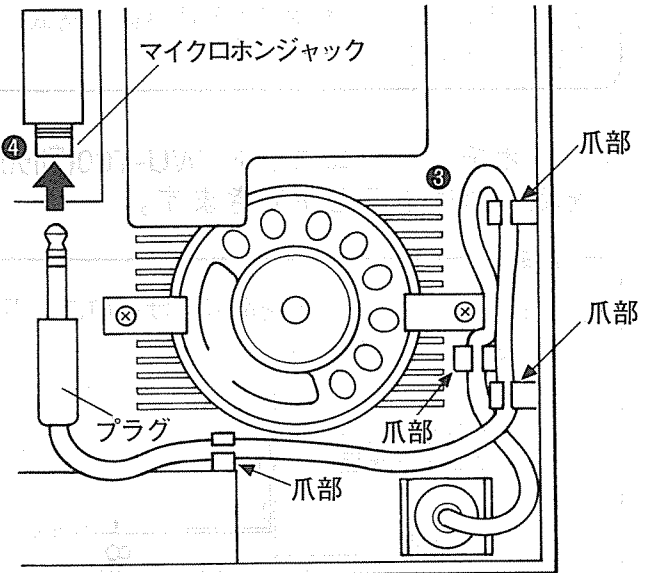
電源を入れたまま、50 Pコネクタ(CN301)の抜き差しをしないでください。

### 4.付属のマイクロホンを接続します。

- ① 操作パネルの左下側裏面にはめこまれている固定アングルをはずし、下図のようにマイクロホンプラグをパネル穴に通した後プッシングを固定アングルに差しこみます。
- ② 固定アングルをパネルの爪にはめこみます。

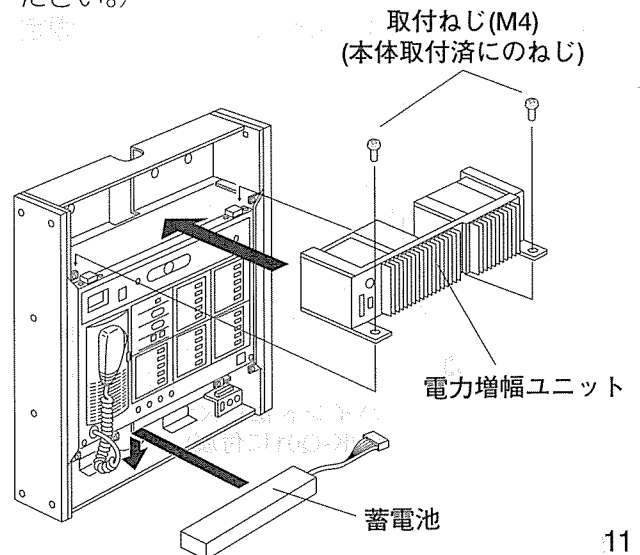


- ③ 操作パネル裏面の爪部にマイクロホンコードをはめこみ固定します。
- ④ マイクロホンプラグをマイクロホンジャックに接続します。



### 5.電力増幅ユニット、蓄電池を取り付けます。

- ① 電力増幅ユニットを本体上部にのせ、本体取付済のねじ(M4)2本で取り付けます。
- ② 本体下部にテープ止めされている表示ラベルをはずします。(はずした表示ラベルはなくさないでください)
  - 下カバーの“バッテリー注意ラベル”の蓄電池品番欄に使用蓄電池の品番ラベルを張り付けます。
  - 操作パネル主銘板の各電力欄に各消費電力ラベルを張り付けます。
- ③ 蓄電池を本体下部にのせます。
- ④ 電力増幅ユニットおよび、蓄電池のコネクタを接続します。
- ⑤ 電力増幅ユニットに付属しているヒューズを本体の蓄電池用ヒューズホルダーに挿入します。ヒューズラベルをヒューズホルダーの下に張り付けてください。(詳細は21ページをご参照ください。)



# 設置のしかた

- ⑥全ての接続が終わったことを確認してから、操作部をバンドねじ2本で固定します。

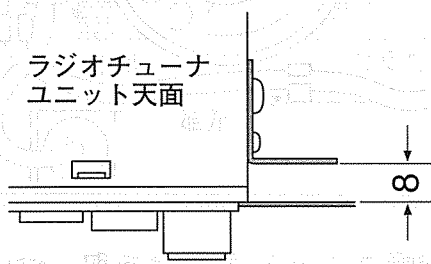
お願い

蓄電池は在庫環境により容量が低下している場合がありますので、本体に組み込み後、充電してからご使用ください。

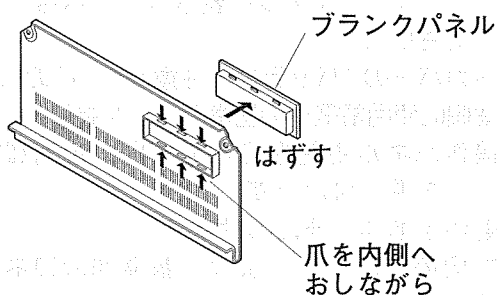
## 6. ラジオチューナユニット WU-T60(別売)を取り付けることができます。

お願い

ラジオチューナユニットを取り付ける前に、下記寸法をご確認ください。

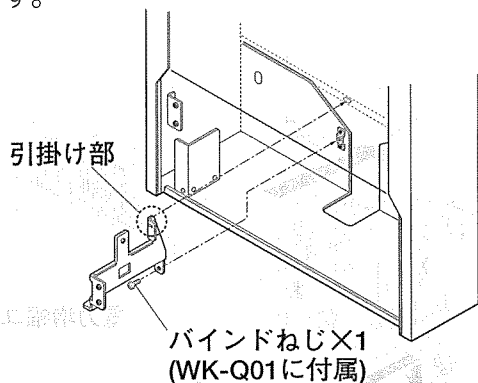


- ①下カバーの裏側から、ブランクパネルをはずします。



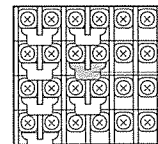
- ②ラジオチューナ取付金具WK-Q01(別売品)を取り付けます。

- 引掛け部を本体下側のスリットに挿入し、左側へずらします。
- バンドねじ1本(WK-Q01に付属)で固定します。



- ③ライン3入力端子のショートバーを外します。

A 業務一般音入カ					
マイク3入力	マイク2入力	マイク1入力	マイク1入力	マイク1入力	マイク1入力
H C E (9)	H C E (9)	H C E (9)	H C E (9)	H C E (9)	H C E (9)
ラインVCD	ラインVCD	ラインVCD	ラインVCD	ラインVCD	ラインVCD
H C E (9)	H C E (9)	H C E (9)	H C E (9)	H C E (9)	H C E (9)
ライン3入力	ライン3入力	ライン3入力	ライン3入力	ライン3入力	ライン3入力
H C E (9)	H C E (9)	H C E (9)	H C E (9)	H C E (9)	H C E (9)



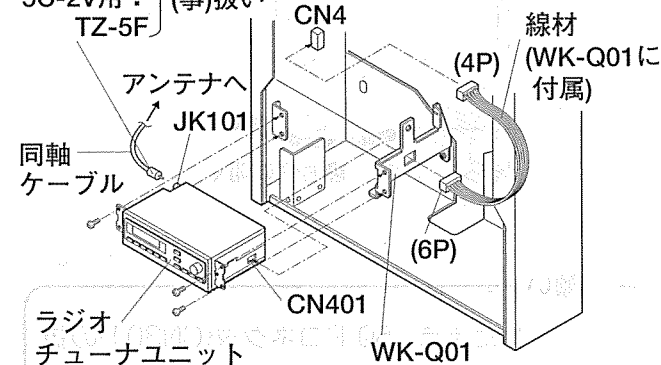
取り外す

- ④ラジオチューナユニットWU-T60を取り付けます。

- ラジオチューナユニットのジャック (JK101) に同軸ケーブルをF接栓で接続する。
- ラジオチューナユニットをバンドねじ3本で固定する。
- 線材 (WK-Q01に付属) を本体端子基板のコンネクタ(4P) [CN4] と、ラジオチューナユニット右側面のコンネクタ(6P) [CN401] に接続する。

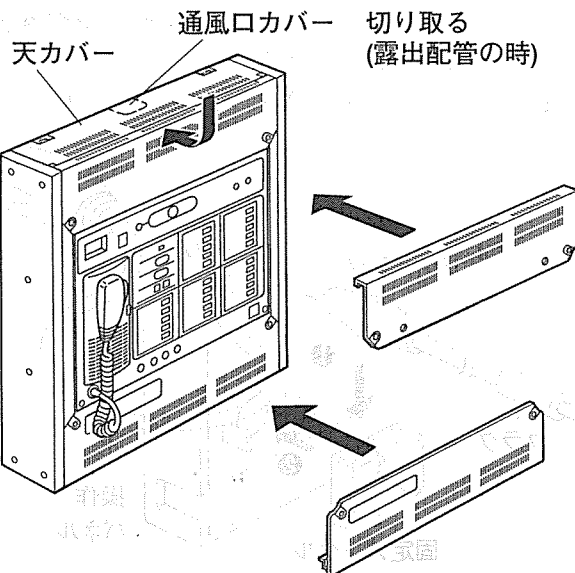
F接栓(別売)

- 3C-2V用: 映像機器  
TZ-3F (事)扱い
- 5C-2V用: TZ-5F



## 7. 本体カバーを取り付けます。

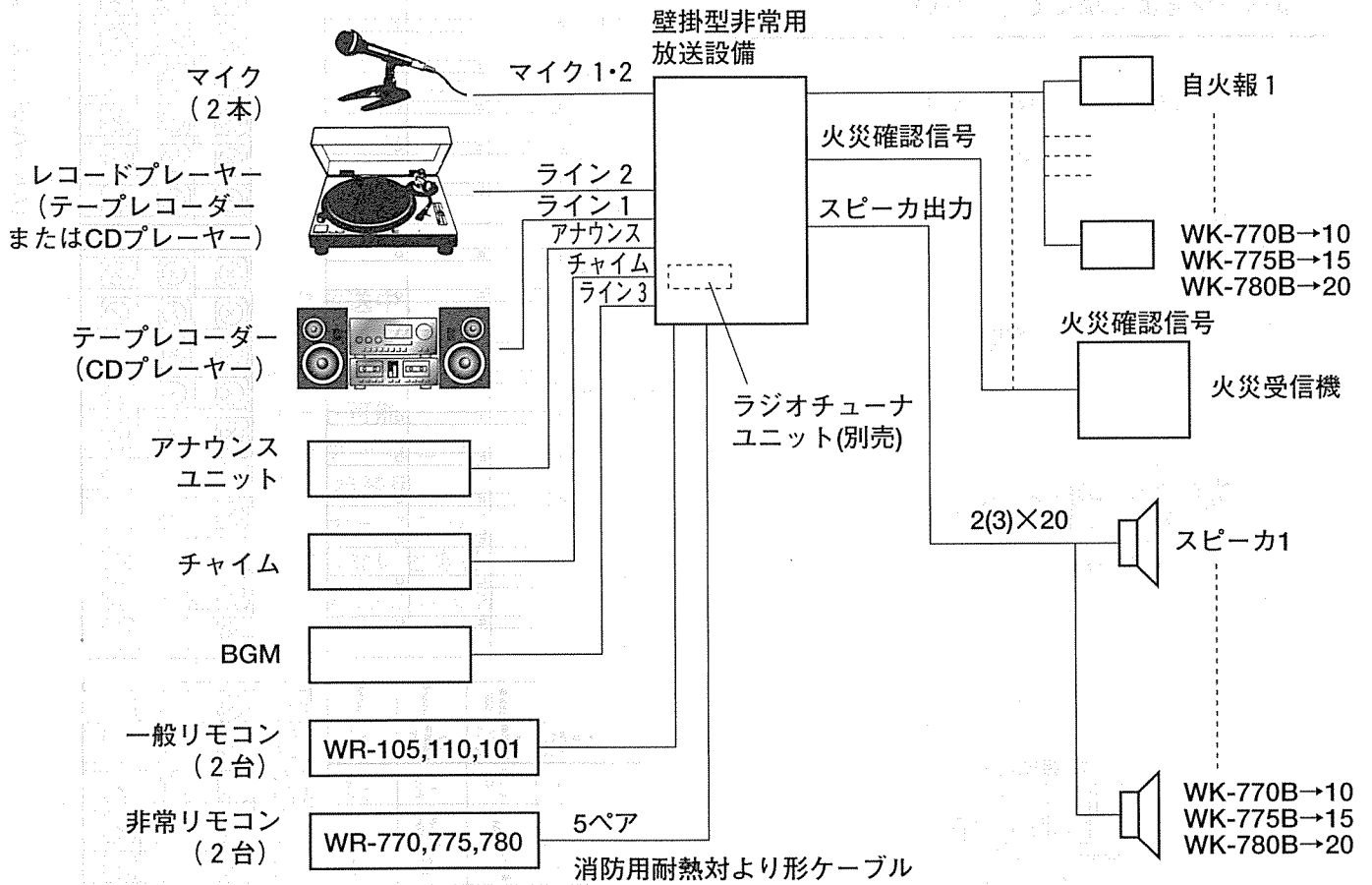
- ①露出配管のときは、通線口カバーを電気ニッパーなどで切り取ってから、天カバーをバンドねじ2本で取り付けます。



# 接続のしかた

## ■接続できる機器について

- 非常放送の内容は録音できませんのでご注意ください。
- レコードプレーヤーは基板内部でライン2と切り換えです。
- マイク1、ライン2は底面の外部入力ジャックにも接続できます。  
(外部入力ジャックに接続した場合は、内部入力端子の入力は“断”となります)

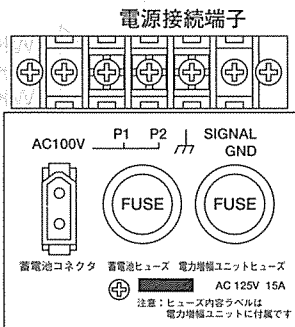
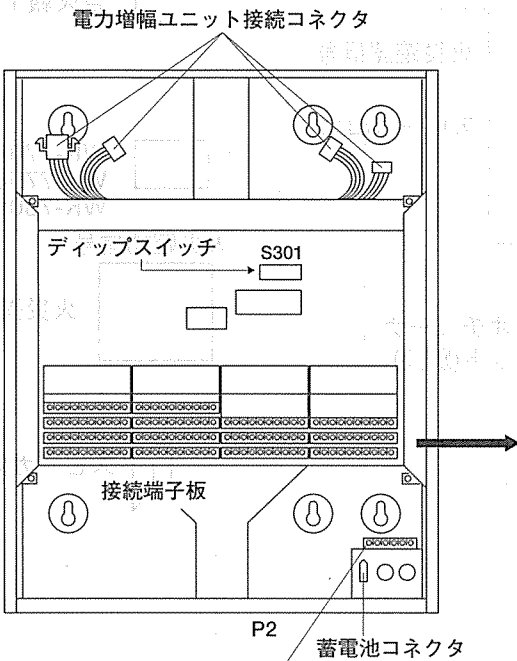


# 接続のしかた

## ■接続端子の位置

### 重要

- スピーカー回線の接続には制限事項があります。20ページを参照してください。
- 各端子の接続前に関連事項が記載されているページをよく読んでください。



9~12, 13~16, 17~20, それぞれ4回線合計で140W以内としてください

スピーカー出力	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
	N	N	N	N	N	N	N	N	N	N
	R	R	R	R	R	R	R	R	R	R
	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C

⊗	⊗	⊗
⊗	⊗	⊗
⊗	⊗	⊗
⊗	⊗	⊗
⊗	⊗	⊗
⊗	⊗	⊗
⊗	⊗	⊗
⊗	⊗	⊗
⊗	⊗	⊗
⊗	⊗	⊗
⊗	⊗	⊗
⊗	⊗	⊗

1~4, 5~8, 9~12, それぞれ4回線合計で140W以内としてください

スピーカー出力	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
	N	N	N	N	N	N	N	N	N	N
	R	R	R	R	R	R	R	R	R	R
	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C

⊗	⊗	⊗
⊗	⊗	⊗
⊗	⊗	⊗
⊗	⊗	⊗
⊗	⊗	⊗
⊗	⊗	⊗
⊗	⊗	⊗
⊗	⊗	⊗
⊗	⊗	⊗
⊗	⊗	⊗
⊗	⊗	⊗
⊗	⊗	⊗

非常リモコン	非常 起動	非常 停止	非常 リモコン 起動	非常 リモコン 停止	非常 リモコン 起動	非常 リモコン 停止
EL4	EL8	EL3	EL7	EL2	EL6	EL1
EL12	EL16	EL11	EL15	EL10	EL14	EL9
EL20	EL19	EL18	EL17	EL13	EL11	EL10

⊗	⊗	⊗	⊗	⊗	⊗	⊗
⊗	⊗	⊗	⊗	⊗	⊗	⊗
⊗	⊗	⊗	⊗	⊗	⊗	⊗
⊗	⊗	⊗	⊗	⊗	⊗	⊗
⊗	⊗	⊗	⊗	⊗	⊗	⊗
⊗	⊗	⊗	⊗	⊗	⊗	⊗
⊗	⊗	⊗	⊗	⊗	⊗	⊗
⊗	⊗	⊗	⊗	⊗	⊗	⊗
⊗	⊗	⊗	⊗	⊗	⊗	⊗
⊗	⊗	⊗	⊗	⊗	⊗	⊗
⊗	⊗	⊗	⊗	⊗	⊗	⊗
⊗	⊗	⊗	⊗	⊗	⊗	⊗

一般リモコンマイク	マイク 入力	マイク 入力	マイク 入力	マイク 入力	マイク 入力	マイク 入力
EL4	EL8	EL3	EL7	EL2	EL6	EL1
EL12	EL16	EL11	EL15	EL10	EL14	EL9
EL20	EL19	EL18	EL17	EL13	EL11	EL10

⊗	⊗	⊗	⊗	⊗	⊗	⊗
⊗	⊗	⊗	⊗	⊗	⊗	⊗
⊗	⊗	⊗	⊗	⊗	⊗	⊗
⊗	⊗	⊗	⊗	⊗	⊗	⊗
⊗	⊗	⊗	⊗	⊗	⊗	⊗
⊗	⊗	⊗	⊗	⊗	⊗	⊗
⊗	⊗	⊗	⊗	⊗	⊗	⊗
⊗	⊗	⊗	⊗	⊗	⊗	⊗
⊗	⊗	⊗	⊗	⊗	⊗	⊗
⊗	⊗	⊗	⊗	⊗	⊗	⊗
⊗	⊗	⊗	⊗	⊗	⊗	⊗
⊗	⊗	⊗	⊗	⊗	⊗	⊗

WK-770Bにはありません

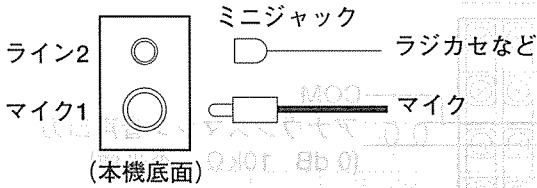
### メモ

- 使用可能な“B 自火報起動入力端子”は次の通りです。
  - WK-770B→EL 1~EL 10
  - WK-775B→EL 1~EL 15
  - WK-780B→EL 1~EL 20
- 使用可能な“C スピーカ出力端子”は次の通りです。
  - WK-770B→1~10
  - WK-775B→1~15
  - WK-780B→1~20

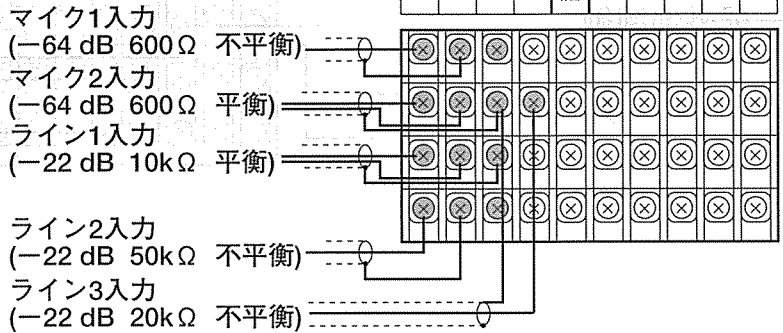
# 音声入力端子の接続

## ●マイク1/マイク2、ライン1/ライン2/ライン3入力

- 各ショートバーを外して使用します。
- マイク1/ライン2は端子部のほかに外部ジャック(本機底面)があります。外部ジャックに差し込むと、外部ジャック入力が優先され、内部端子入力は“断”になります。



A 業務一般音声入力				一般リモコンマイク						
マイク1入力				チャイム入力 H	チャイム起動	音声入力 H	4	8	一斉	リモコン 2H
H	C	E(S)								
マイク2入力				ライン3入力 H	一般外部起動	音声入力 C	3	7	放送	リモコン 2H
H	C	E(S)								
ライン1/CD				自動アナウンスユニット 汎用制御端子	DC24V (100mA)		2	6	10	EF
H	C	E(S)								
ライン2/レコード				録音出力 H	自動アナウンスユニット 動作	OVCOM	1	5	9	EC
H	C	E(S)								



ライン入力1	マイク放送中、ミュート可能。
ライン入力2	マイク放送中、ミュート可能。
ライン入力3	チューナーユニット(別売)接続用。チューナーユニットを使用しないときは、ライン入力として使用可能。

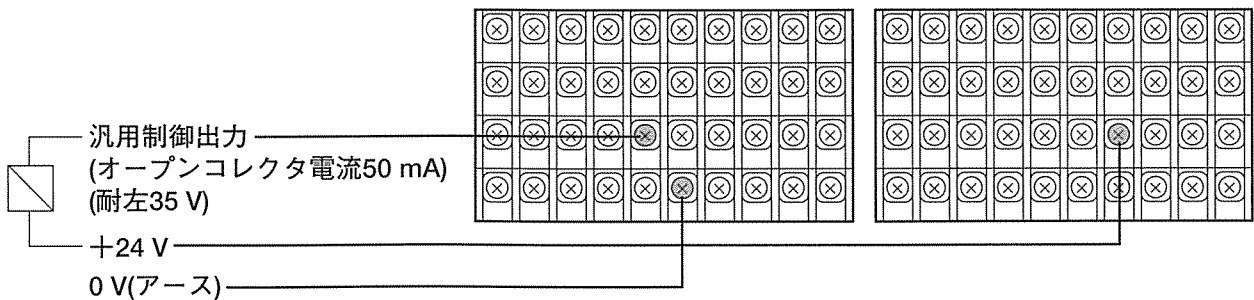
## ●汎用制御端子出力

- オープンコレクタ出力
- リレーなどを制御します。

リレー動作させる場合  
+24 V、汎用端子間にリレーを接続します。

A 業務一般音声入力				一般リモコンマイク						
マイク1入力				チャイム入力 H	チャイム起動	音声入力 H	4	8	一斉	リモコン 2H
H	C	E(S)								
マイク2入力				ライン3入力 H	一般外部起動	音声入力 C	3	7	放送	リモコン 2H
H	C	E(S)								
ライン1/CD				自動アナウンスユニット 汎用制御端子	DC24V (100mA)		2	6	10	EF
H	C	E(S)								
ライン2/レコード				録音出力 H	自動アナウンスユニット 動作	OVCOM	1	5	9	EC
H	C	E(S)								

B 自火報起動入力				非常リモコン					
EL4	EL8	EL12	EL16	EL20	音声入力 H	CPU OFF スイッチ	モニタ H	非常外部制御 +24V マイク	外部制御マイク
EL3	EL7	EL11	EL15	EL19	音声入力 C	EMG	モニタ C	非常外部制御 +24V ブレーク	外部制御 COM
EL2	EL6	EL10	EL14	EL18	EC	DC24V (75mA)	リモコン BUS+	非常外部制御 +24V	OVCOM
EL1	EL5	EL9	EL13	EL17	EC	OVCOM	リモコン BUS-	RU+ (100mA)	OVCOM



# 接続のしかた

## ●チャイム接続

チャイム起動端子  
(チャイム制御出力へ)

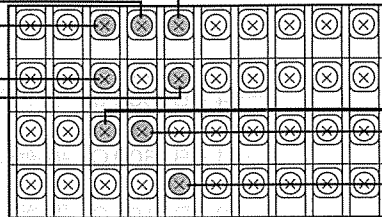
アース

音声チャイム入力端子  
(-30 dB 10kΩ 不平衡)

## ●一般外部制御

メイクスイッチ

A		業務一般音声入力		一般リモコンマイク				
マイク1入力		チャイム入力	チャイム起動	音声入力	4	8	一斉	FM/TV
H	C	E(S)	H	H				
マイク2入力		ライン3入力	一般外部起動	音声入力	3	7	放送	FM/TV
H	C	E(S)	H	C				
ライン1/CD		自動アナウンスユニット	DC4V (100mA)		2	6	10	EF
H	C	E(S)	入力	汎用制御端子				
ライン2/レコード		音声出力	自動アナウンスユニット作動	OVCOM	1	5	9	EC
H	C	E(S)	H					



## ●アナウンスマシン接続

COM

アナウンスマシン音声出力  
(0 dB 10kΩ 不平衡)

BUSY



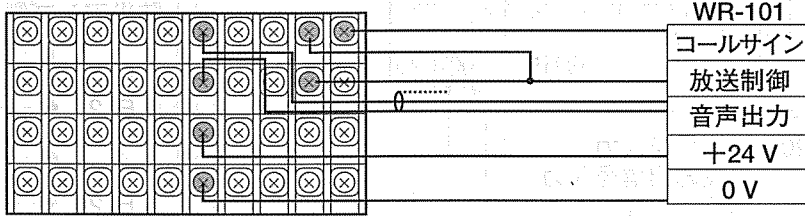
# ■一般リモコン、非常リモコン、自火報起動端子の接続

## ●一般リモコン接続

### 1. 単局用リモコンマイク

#### ①一斉放送したいとき

A 業務一般音声入力				一般リモコンマイク				
マイク1入力	チャイム入力	チャイム	チャイム	音声入力	4	8	一斉	2-45V 15
H C	E(S)	H	H	H				
マイク2入力	ライン3	一般外部	一般外部	音声入力	3	7	放送	2-45V 15
H C	E(S)	H	H	C				
ライン1/CD	自動アナウンス	自動アナウンス	自動アナウンス	DC24V	2	6	10	EF
H C	E(S)	H	H	汎用制御端子				
ライン2/レコード	録音出力	録音出力	録音出力	OVCOM	1	5	9	EC
H C	E(S)	H	H	作動				

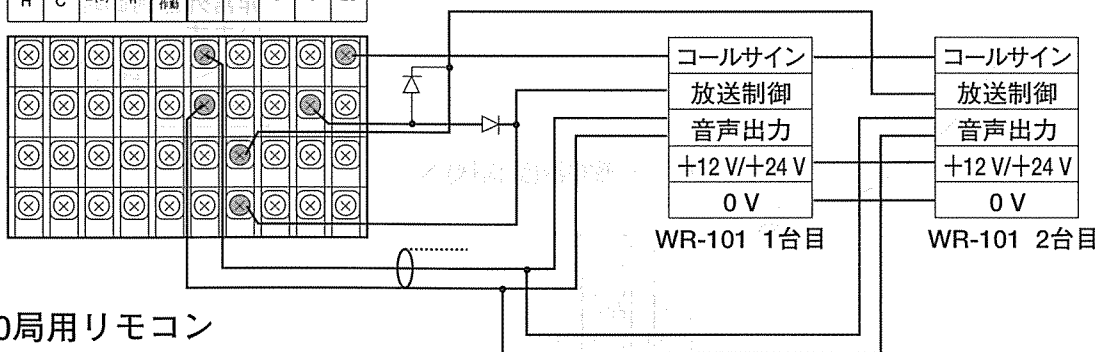


#### ②ブロック放送したいとき

A 業務一般音声入力				一般リモコンマイク				
マイク1入力	チャイム入力	チャイム	チャイム	音声入力	4	8	一斉	2-45V 15
H C	E(S)	H	H	H				
マイク2入力	ライン3	一般外部	一般外部	音声入力	3	7	放送	2-45V 15
H C	E(S)	H	H	C				
ライン1/CD	自動アナウンス	自動アナウンス	自動アナウンス	DC24V	2	6	10	EF
H C	E(S)	H	H	汎用制御端子				
ライン2/レコード	録音出力	録音出力	録音出力	OVCOM	1	5	9	EC
H C	E(S)	H	H	作動				

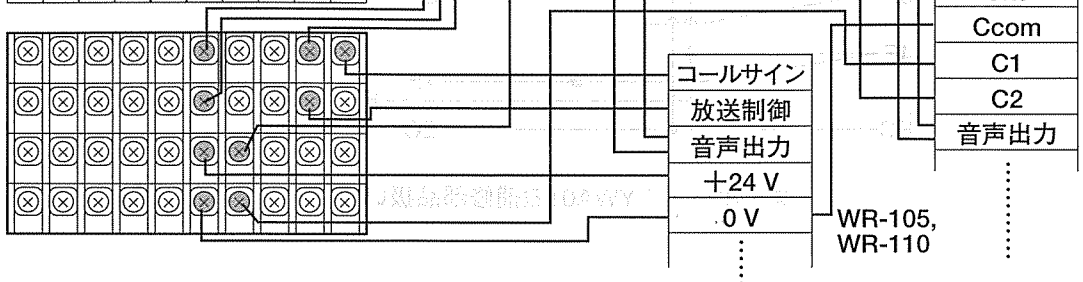
メモ  
単局リモコンを複数台使用して各々ブロック放送する場合はダイオードが必要です。(逆流防止用)

ダイオード  
YWA01Z : (補修部品扱い)



### 2. 5局、10局用リモコン

A 業務一般音声入力				一般リモコンマイク				
マイク1入力	チャイム入力	チャイム	チャイム	音声入力	4	8	一斉	2-45V 15
H C	E(S)	H	H	H				
マイク2入力	ライン3	一般外部	一般外部	音声入力	3	7	放送	2-45V 15
H C	E(S)	H	H	C				
ライン1/CD	自動アナウンス	自動アナウンス	自動アナウンス	DC24V	2	6	10	EF
H C	E(S)	H	H	汎用制御端子				
ライン2/レコード	録音出力	録音出力	録音出力	OVCOM	1	5	9	EC
H C	E(S)	H	H	作動				

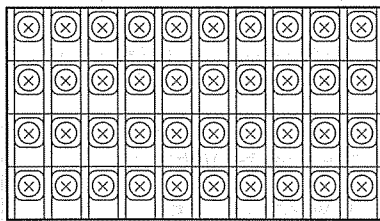




## ●非常リモコン接続

外来ノイズに対して信号線（データ線も含む）は、ペア線を使用してください。  
（平行線ではノイズの影響によって、信号（データ）が乱れることがあります。）

B 自火報起動入力					非常リモコン			
EL4	EL8	EL12	EL16	EL20	音声入力 H	CPU OFF スイッチ	モニタ H	非常 外部制御 +24V マイク
EL3	EL7	EL11	EL15	EL19	音声入力 C	EMG	モニタ C	非常 外部制御 +24V ブレーク
EL2	EL6	EL10	EL14	EL18	EC	DC24V (50mA)	リモコン BUS+	非常 外部制御 +24V
EL1	EL5	EL9	EL13	EL17	EC	0VCOM	リモコン BUS-	0VCOM

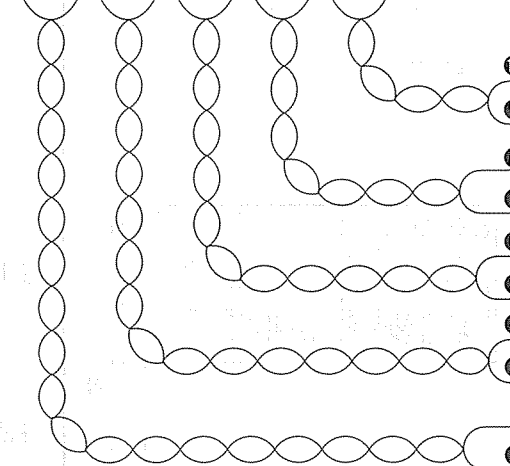


5ペア

音声入力		DC入力		モニタ		EMG	CPU OFF	リモコンBUS	
H	C	24V	0VCOM	H	C			+	-
+	+	+	+	+	+	+	+	+	+

非常リモコン側端子

※ は、消防耐熱  
対より形ケーブル1対を示します。



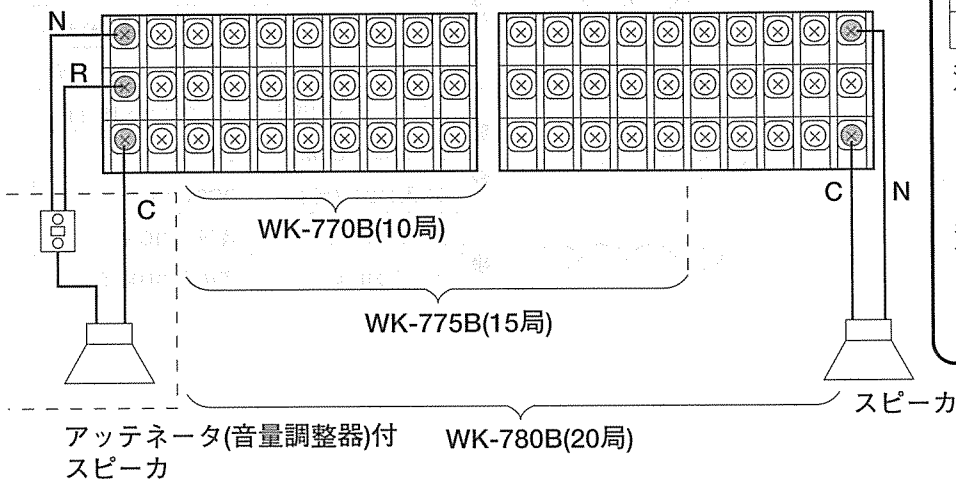
非常リモコン側	非常用放送設備側
⑩ リモコンBUS-端子	リモコンBUS-端子
⑨ リモコンBUS+端子	リモコンBUS+端子
⑧ CPU OFFスイッチ端子	CPU OFFスイッチ端子
⑦ EMGスイッチ端子	EMG端子(非常起動端子)
⑥ モニタコールド(C)端子	モニタコールド(C)端子
⑤ モニタホット(H)端子	モニタホット(H)端子
④ DC入力0V COM端子	0V COM端子
③ DC入力24V端子	DC24V端子
② 音声入力C端子	音声入力C端子
① 音声入力H端子	音声入力H端子

# 接続のしかた

## ■スピーカの接続

C スピーカ出力									
1~4, 5~8, 9~12, それぞれ4回線合計で140W以内としてください									
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
N	N	N	N	N	N	N	N	N	N
R	R	R	R	R	R	R	R	R	R
C	C	C	C	C	C	C	C	C	C

D スピーカ出力									
9~12, 13~16, 17~20, それぞれ4回線合計で140W以内としてください									
11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
N	N	N	N	N	N	N	N	N	N
R	R	R	R	R	R	R	R	R	R
C	C	C	C	C	C	C	C	C	C



スピーカW数について

スピーカを接続するときは、下表に示す1回線あたりの最大W数および4回線ごとの合計W数をお守りください。

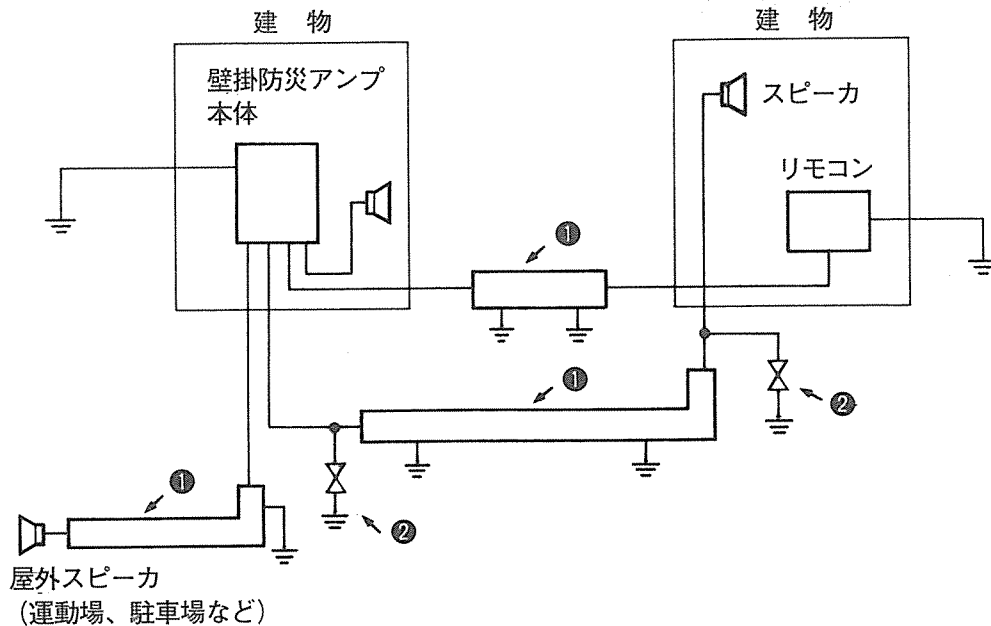
電力増幅ユニット出力	1回線あたりの最大W数	4回線ごとの合計W数
60 W	60 W	60 W
120 W	70 W	120 W
240 W	70 W	140 W
360 W	70 W	140 W

注1 4回線ごとの合計W数とは、スピーカ出力1~4、5~8、9~12、13~16、17~20ごとの合計W数です。

注2 70Vラインで使用するときには上記表の最大W数、合計W数は1/2になります。

### 外来サージに対する対策

雷の多い地域でご使用になる場合は、下図に示すように①金属配管、②サージアブソーバーなどの対策を行ってください。



#### ①金属配管について

建物間にわたる配線などで配線が露出しないように金属配管をしてください。  
 外来ノイズに対して信号線（データ線）は、ペア線を使用してください。  
 （平行線は、ノイズの影響によって信号（データ）が乱れることがあります）

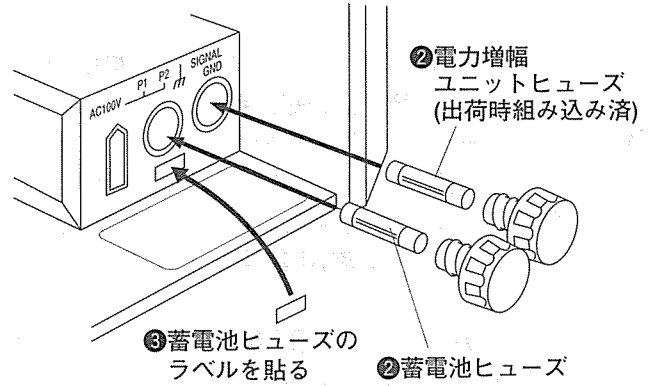
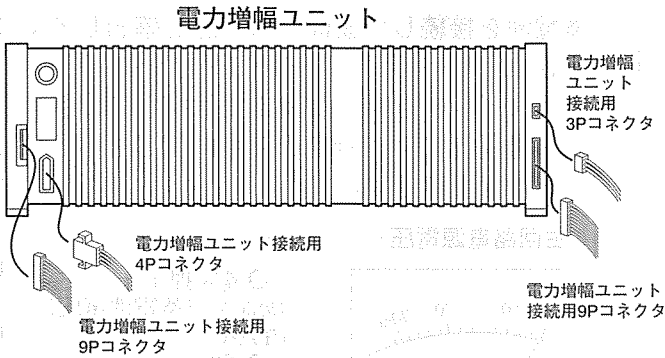
#### ②サージアブソーバーについて

機器の中にはスピーカ線、データラインなどには外来サージに対してサージアブソーバーを設けていますが、特に雷の多い場所では現地で金属配管を行うときに、さらにサージアブソーバを設けてください。

## ■電力増幅ユニットの接続

- ① 本体内部より配線されている4個のコネクタをそれぞれ接続します。
- ② 蓄電池ヒューズ、電力増幅ユニットヒューズ（電力増幅ユニットに付属）を取り付けます。
- ③ ヒューズラベル（電力増幅ユニットに付属）を張り付けます。

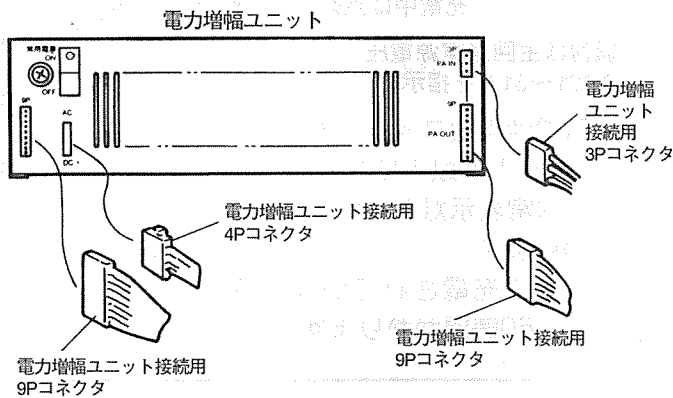
### ● WU-P39の場合



### 電力増幅ユニットと蓄電池の組み合わせ

出力(W)	電力増幅ユニット	ニカド蓄電池	蓄電池ヒューズ(定格)
60 W	WU-P36A	NCB-165	10 A
120 W	WU-P37A	NCB-350	15 A
240 W	WU-P38A	NCB-600	25 A
360 W	WU-P39	NCB-600	25 A

### ● WU-P36/P37A/P38Aの場合



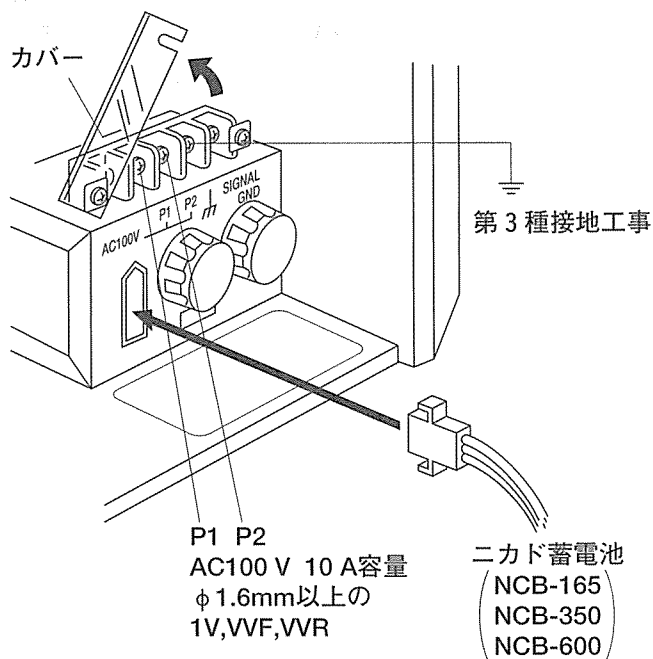
# 接続のしかた

## ■蓄電池、電源の接続

- ①接続の前に必ず、分電盤のスイッチを「切」にしてください。
- ②電源接続端子保護カバーを止めているねじをゆるめて外し、電源線を接続します。
- ③接続後カバーを止めてください。
- ④接続後、分電盤のスイッチを「入」にします。
- ⑤電力増幅ユニットの電源を「入」にします。
  - WU-P39の場合：常用電源スイッチを「入」にします。
  - WU-P36A/P37A/P38Aの場合：AC電源スイッチを「ON」にします。

### ⚠ 注意

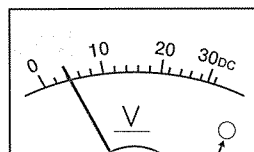
電源容量は10 A以上確保し、他の配線とは別にし、常時ON状態にしてください。



- ⑥蓄電池からのコネクタを接続します。
- ⑦本体の各スイッチが「切」の状態になっていることを確認してから次のことを点検してください。
  - (1)常用電源、非常電源電圧は、主回路電源電圧計の緑色の範囲内ですか？
  - (2)充電中は表示灯は点灯していますか？

- 蓄電池を接続した後は充電状態を確認してください。
- 点検スイッチを押した時または押さない状態でも電圧計の針が緑色の範囲内(DC21~31)であれば正常です。

主回路電源電圧



蓄電池点検

- ← 押す ※1  
非常電源 (蓄電池電圧)  
電圧点検
- ← 押す ※2  
(非常電源電圧)

充電中  
充電中は点灯

- ※1 押すと充電中表示は約10秒間消灯
- ※2 押している間、充電中表示は消灯

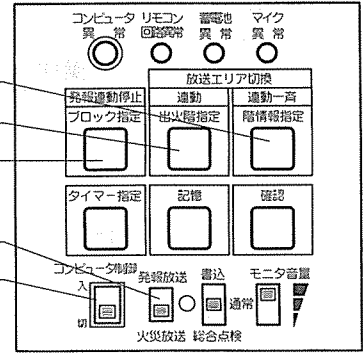
通常は主回路電源電圧  
DC21~31 Vを指示

- 蓄電池点検スイッチを押したとき、蓄電池電圧が21 V以下になるとマイクドア内の蓄電池異常表示灯が点灯し、ブザー音（ピー）が鳴ります。
- 完全に充電されていない蓄電池の充電時間は、60時間かかります。

# 設定・調整

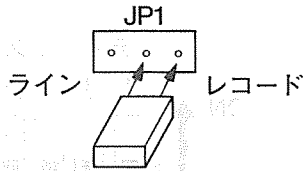
## ●マイクドア内のスイッチ設定

- 連動一斉のとき押す。(連動一斉表示灯点灯)
- 連動のとき押す(連動表示灯点灯)
- 発報連動/発報連動停止の切り換え
- 発報放送または火災放送を選択し、書き込み終了後、固定金具で固定する。(30ページ)
- 「入」にする。



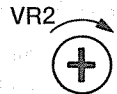
## ●ライン2をレコードとして使用するとき

基板上的のJP1を「レコード」側に移します。  
(出荷時ライン)



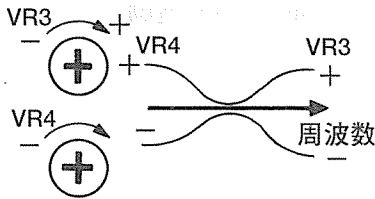
## ●コールサイン音量調整

VR2→矢印方向で出力増大



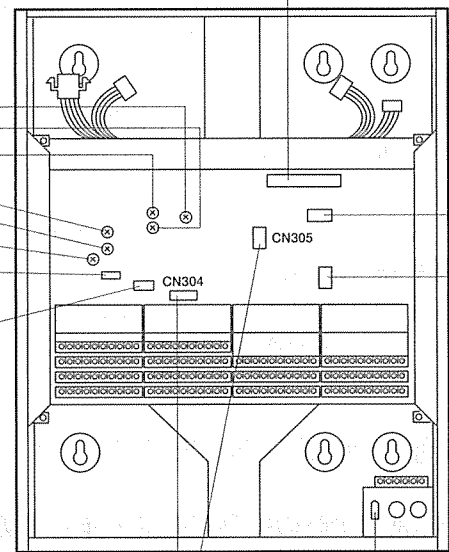
## ●音質調整 (トーンコントロール)

VR3→高音  
VR4→低音  
(出荷時フラット)



- VR1(AGCマイク)
  - VR4(低音)
  - VR3(高音)
  - VR2(コールサイン)
  - VR6(ライン2ミュート)
  - VR5(ライン1ミュート)
  - JP1(ライン2⇄レコード)
- チューナーコネクタ(4P)  
チューナーユニット(別売)と接続します。

操作パネルコネクタ  
(操作パネルを外すときに外します)

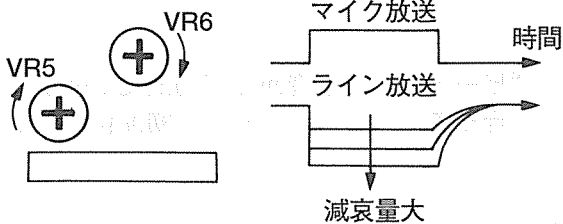


- 火災報知器絶縁抵抗試験対策用コネクタCN304(4P)、CN305(5P)
- スピーカ絶縁抵抗試験用コネクタCN304(4P)

## ●マイク優先回路

マイク1、マイク2の放送中はライン1、ライン2の音声を減衰させ(ミュート)、その減衰量を調節します。

VR5→ライン1の減衰量(矢印方向で減衰量大)  
VR6→ライン2の減衰量(矢印方向で減衰量大)  
(出荷時は減衰しません)

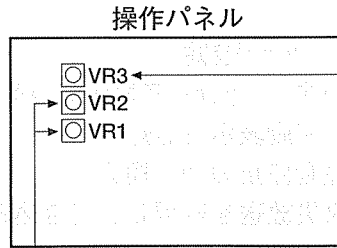
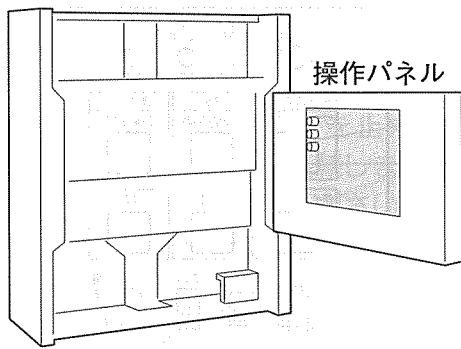


### お願い

- 操作パネルを開けるときは、必ず電源を切ってから行ってください。
- 操作パネルの開けかたは11ページをご参照ください。

# 接続のしかた

## ●音声合成メッセージ音量調整



メッセージ音量VR  
メッセージ音量を可  
変したい時に使用し  
ます。  
時計方向にまわすと  
増加。

調整済のため触らないでください。  
(第1、第2シグナル音が変わってしまうため)

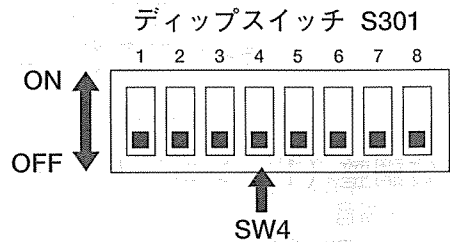
## ●手動起動の手動連動・個別手動の設定

### ●手動連動

- 非常起動スイッチを押した後、放送階選択スイッチを押すと、押したスイッチが連動階書き込みされていればその階全てと直上階を含む連動階の作動表示灯が点灯し、点灯したスピーカ回線が放送可能状態となります。
- 押したスイッチが連動階書き込みされていなければ押した階の作動表示灯のみ点灯し、点灯したスピーカ回線が放送可能状態となります。
- 手動連動時の放送復旧後や階別信号入力後は個別（階別）手動となります。  
(放送復旧には個別スイッチ復旧も含まれます)

### ●個別手動（階別）

非常起動スイッチを押した後、放送階選択スイッチを押すと押した階の作動表示灯のみ点灯し、点灯したスピーカ回線が放送可能状態となります。



ON : 個別(階別)手動  
OFF : 手動連動  
(出荷時)

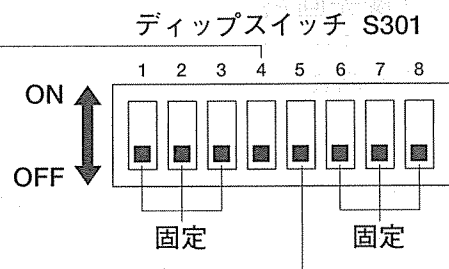
## ●非常時手動連動階を非連動にするとき（出荷時は、連動）

### SW4

手動非常起動時の連動階連動・非連動切換

ON : 非連動（階別）      OFF : 連動階連動

連動階連動時でも放送復旧後は、階別となります。



## ●データの初期化(書き込み内容が消去されます)

### SW5

ON : データの初期化\*      OFF : 通常はOFFにします。

SW5を“ON”にし、AC電源を投入します。投入後数秒で“ピーッ”という音がして初期化が完了します。

※書き込み内容を工場出荷時の状態に戻したいときにだけ、行ってください。データを初期化したら以下の操作を行ってください。

1. SW5を"OFF"に戻します。
2. マイクドア内にあるコンピュータ制御スイッチを"切"にしてから"入"にします。または、電力増幅ユニットの電源スイッチを"切"にしてから"入"にしてください。



●70 Vラインに変更するとき

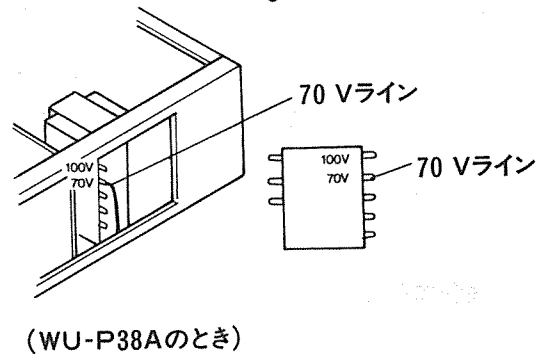
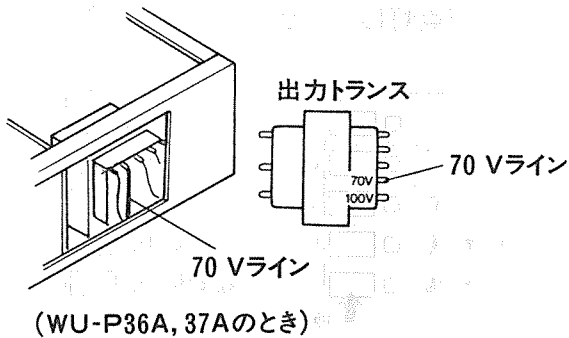
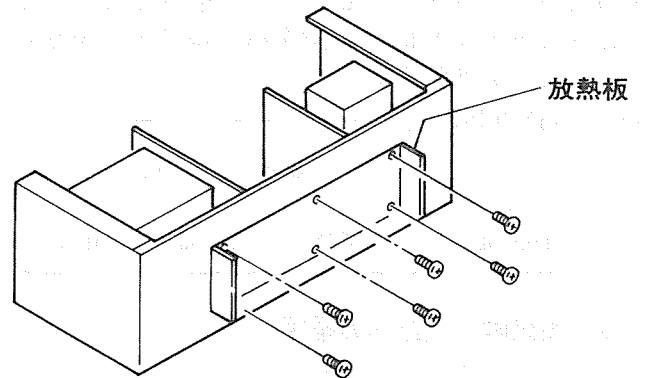
⚠ 警告

変更する時は、必ず分電盤のスイッチを切り、蓄電池をはずしてから行ってください。感電の原因となります。

使用最大スピーカ数は、100 Vと70 Vでは異なります。(20ページ参照)

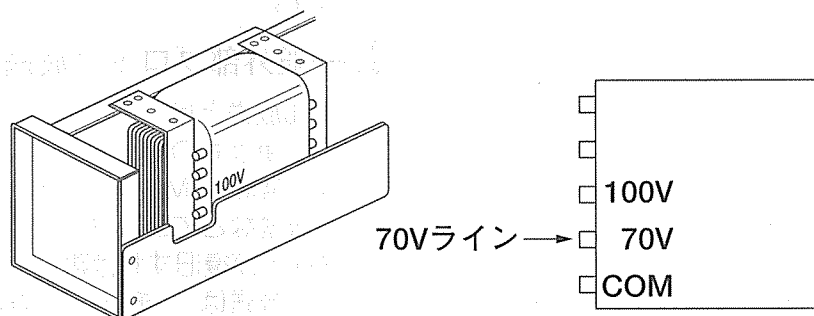
●WU-P36A/WU-P37A/WU-P38Aの場合

- ①電力増幅ユニットの放熱板を止めているねじ6本を外し、放熱板を外します。
- ②出力トランスの100 Vラインを外し、70 Vラインに接続します。



●WU-P39の場合

- ①出力トランスの100 Vラインを外し、70 Vラインに接続します。



# 書き込みのしかたと確認

## ■書き込みについて

- 本機には、建物の規模や放送の目的などによって、放送する場所や、機能を指定できる書き込み機能が内蔵されています。
- 書き込み機能は10項目あり、マイクドア内のスイッチを使って書き込みます。
- 項目6～10の一般リモコンの書き込みは、端子部ショートまたは本体操作パネルスイッチから書き込みが可能です。

### 書き込み時の注意

記憶スイッチを押したときに表示している設定だけが書き込まれ、記憶されます。

複数の設定値をまとめて書き込みすることはできません。

## 1. 出火階、連動階の指定 (30ページ参照)

- 地下階やエレベータまたは、一般放送の関係で、1つの階に2つ以上のスピーカ回線がある場合に、出火階と、それに連動して放送される階(連動階など)の指定をすることができます。
- 1つの放送階選択スイッチが1つの階である場合には、書き込みしなくても、連動階、出火階に放送されます。

## 2. 階情報指定 (32ページ参照)

階情報(感知器からの階別信号をどの放送階選択スイッチに割り付けるか)、及び警報放送に日本語、英語指定をします。(日本語のみ、日本語と英語(第2、第3外国語)の指定ができます。)

## 3. 一斉/緊急指定 (33ページ参照)

一斉放送のとき、アッテネータが「OFF」になっても放送できるようにするか(緊急放送)、「OFF」のときは放送できないようにするか(通常一斉)の選択をします。

## 4. タイマー設定(1)～(3)

(34ページ～36ページ参照)

- 発報火災から火災放送へ移行するまでの時間：第1タイマー
- 火災放送から一斉火災放送へ移行するまでの時間：第2タイマー
- 発報放送の繰り返し回数と繰り返し間隔時間を設定します。

## 5. 一般ブロック (37ページ参照)

- A～Eのブロック選択スイッチにより、階とは無関係に同一放送したい場所をまとめて放送することができます。
- 例えば、20ページのホテルを例にしますと、各階の従業員室のみに放送したい場所をあらかじめ

ブロック指定(書き込み)しておきますと、ブロック選択スイッチ1つで、従業員室すべてを、まとめて放送することができます。

## 6. 一般リモコンブロック放送 (38ページ参照)

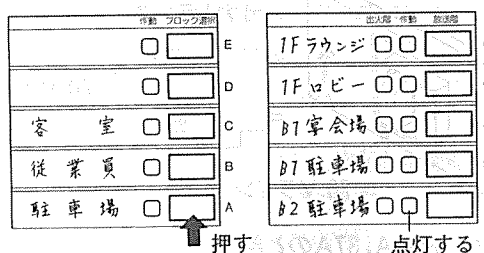
- 一般リモコンからの放送を上記「一般ブロック放送」同様に、まとめて放送することができます。

メモ

- 「一般ブロック放送」、「一般リモコンブロック放送」

の書き込み指定をしない場合、1～5のブロック選択スイッチおよび、5局リモコンマイクは、放送階選択スイッチの1～5に対応(10局リモコンマイクは、放送階選択スイッチの1～10に対応)しています。

- 1のブロック選択スイッチを押すと、1の作動表示灯が点灯し、1のスピーカ回線に放送されます。



## 7. チャイムブロック放送 (40ページ参照)

- 始業や終業および休憩時間などのチャイム放送したい場所をまとめて放送することができます。(書き込み指定をしない場合は、緊急一斉放送となります。)

## 8. 一般外部ブロック放送 (42ページ参照)

- 一般外部放送とは、BGMなどを1日中放送したい場合に使うもので、BGMなどが動作しているときは、常にBGM放送が流れています。途中で、マイク放送などでBGM放送が中断されてもマイク放送などが復旧すれば再びBGMが流れます。
- 一般外部放送は、「チャイムブロック放送」同様にまとめて放送することができます。(書き込み指定をしない場合は、緊急一斉放送となります。)

## 9. 自動アナウンスブロック放送 (44ページ参照)

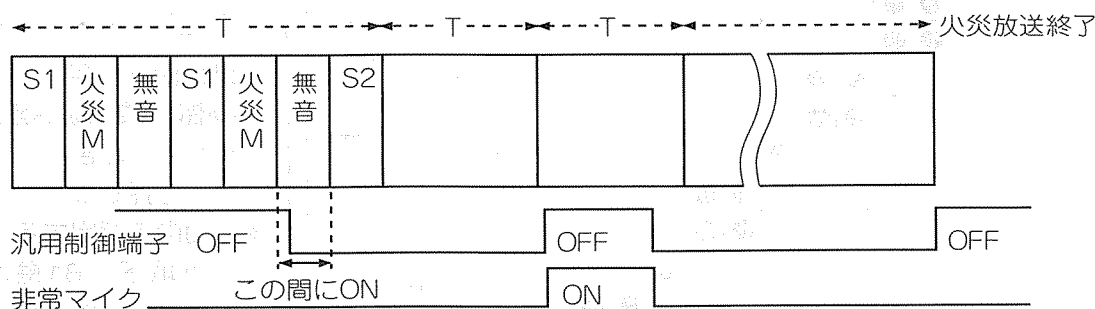
- 別売の自動アナウンスユニットを使用するとき、自動アナウンス放送したい場所を指定することができます。(書き込み指定をしない場合は、緊急一斉放送となります。)

## 10. 汎用制御出力端子 (46ページ参照)

この出力端子を10種類の書き込み項目に従い、出力制御できます。(27ページ参照)

# 汎用制御端子書き込み項目

設定		動作仕様	
0	初期設定	何も作動しない	
1	非常メイク	メイク条件	階別 (EL)nの入力、または非常動作時の放送階選択スイッチnの押下
		ブレイク条件	非常復旧スイッチの押下
2	業務n放送 非常時継続	メイク条件	業務放送での放送階選択またはブロックスイッチnの押下
		ブレイク条件	業務放送中はnの復旧 (スイッチn再押下または放送復旧の押下) 非常放送中は非常復旧スイッチの押下
3	業務n放送 非常時解除	メイク条件	業務放送での放送階選択またはブロックスイッチnの押下
		ブレイク条件	業務放送中はnの復旧 (スイッチn再押下または放送復旧スイッチの押下) ELまたは非常起動スイッチの押下 (非常状態移行) で復旧
4	一般リモコン放送 非常時継続	メイク条件	業務放送での一般リモコンにてスイッチnが押下された時
		ブレイク条件	業務放送中はnの復旧 (スイッチnまたは放送復旧の押下)
5	一般リモコン放送 非常時解除	メイク条件	業務放送での一般リモコンにてスイッチnが押下された時
		ブレイク条件	業務放送中はnの復旧 (スイッチnまたは放送復旧の押下) ELまたは非常起動スイッチの押下 (非常状態移行) で復旧
6	外部業務放送	メイク条件	指定の業務放送がONとなった時 指定; アナウンスマシン、チャイム、一般外部、一般リモコン、非常リモコンの業務放送の5つのOR
		ブレイク条件	同上の放送が復旧した時
7	音声警報 パターン	メイク条件	指定の音声警報放送が始まる時 指定; 発報放送、火災放送、非火災放送、の3つのOR
		ブレイク条件	同上の放送が復旧した時
8	異常状態 パターン	メイク条件	指定の異常状態になった時 指定; 短絡、マイク異常、蓄電池異常、音声合成異常、の4つのOR
		ブレイク条件	CPUのリセット
9	火災スタート	メイク条件	火災放送開始後2回目のメッセージとS2シングル音の間 (無音)
		ブレイク条件	火災放送終了ただし、メイク時に非常マイクスイッチONした時は、スイッチONの間だけブレイク (1秒以内に切り換わること)



nとはELまたは放送階選択の1~20、及びブロックA~E、一般リモコン選択1~10、の単独、あるいは複数のORを基本とし、複数のANDも指定できます。

一斉放送は、単独、複数OR及び複数の全数ORもカバーします。

# 書き込みのしかたと確認

## ■放送系統表 (書き込みのとき利用してください。)

● 放送系統表の使用例

階別 明細	スピー カ回線	放送エリア	一般ブロック放送					一般リモコンブロック放送										チャイム ブロック放送	一般外部 ブロック放送	ユニット ブロック放送 自動アナ ウンス							
			ブロック選択スイッチ					1	2	3	4	5	6	7	8	9	10										
			A	B	C	D	E																				
B2	1	駐車場	○					○																			○
B1	2	駐車場	○					○																			○
B1	3	宴会場																									
1F	4	ロビー																									
1F	5	ラウンジ																									
2F	6	客室			○						○												○				
2F	7	従業員		○						○												○					
3F	8	客室			○						○												○				
4F	9	客室			○						○												○				
4F	10	従業員		○						○												○					
5F	11	客室			○						○												○				
6F	12	客室			○						○												○				
6F	13	従業員		○						○												○					
7F	14	客室			○						○												○				
8F	15	客室			○						○												○				
8F	16	従業員		○						○												○					
PH	17	機械室																									
	18	東階段																									
	19	西階段																									
	20	エレベータ																									

※横列は選択スイッチを表わし、縦列は放送階を表わします。

● 出火階指定系統表の使用例

出火階 連動階 その他	B2 駐車場		B1 宴会場		1F ロビー	1F ラウンジ	2F 客室	2F 従業員	3F 客室	4F 客室	4F 従業員	5F 客室	6F 客室	6F 従業員	7F 客室	8F 客室	8F 従業員	PH 機械室	東階段	西階段	エレベータ	
	B2 駐車場	B1 駐車場	B1 宴会場	1F ロビー	1F ラウンジ	2F 客室	2F 従業員	3F 客室	4F 客室	4F 従業員	5F 客室	6F 客室	6F 従業員	7F 客室	8F 客室	8F 従業員	PH 機械室	東階段	西階段	エレベータ		
B2 駐車場	●	○	○	○	○																	
B1 駐車場	○	●	●	○	○																	
B1 宴会場	○	●	●	○	○																	
1F ロビー	○	○	○	●	●																	
1F ラウンジ	○	○	○	●	●																	
2F 客室				○	○	●	●															
2F 従業員				○	○	●	●															
3F 客室						○	○	●														
4F 客室								○	●	●												
4F 従業員								○	●	●												
5F 客室								○	○	●												
6F 客室										○	●	●										
6F 従業員										○	●	●										
7F 客室											○	○	●									
8F 客室												○	○	●	●							
8F 従業員												○	○	●	●							
PH 機械室															○	○	●					
東階段																			○			
西階段																				○		
エレベータ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○					●

※出火階指定での

- 印は出火階を表わし、○印は連動階その他を表わします。
- ※横列は出火階を表わし、縦列は連動階などを表わします。

ご注意

- 出火階を指定するとき、1つの階に複数の放送階選択スイッチがあるときは、その階のすべてを押します。
- 連動階を指定するとき、連動階が地下 (B1 駐車場など) のときは、地上階 (1F ロビーなど) を指定します。またエレベータがあるときはエレベータも指定します。
- 出火階、連動階の指定をしなくても、火災発生時には、出火階 (1つの階)、連動階 (1つの階) が表示されます。

この表を使ってブロック放送および、非常時での出火階指定を組んでください。

● 放送系統表

階別 明細	スピーカ 回数	放送エリア	一般ブロック放送 (ブロック選択スイッチ)					一般リモコンブロック放送										チャイルド ブロック放送	一般外部 ブロック放送	ユニット ブロック放送 自動 アナウンス
			A	B	C	D	E	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10			
1																				
2																				
3																				
4																				
5																				
6																				
7																				
8																				
9																				
10																				
11																				
12																				
13																				
14																				
15																				
16																				
17																				
18																				
19																				
20																				

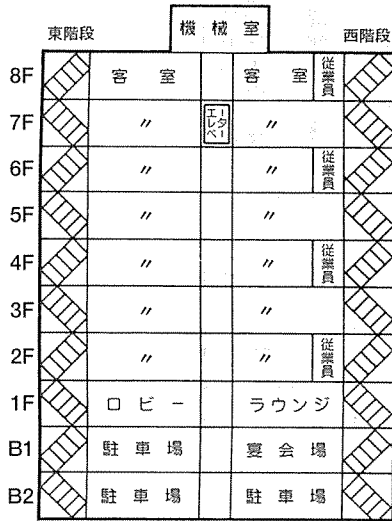
● 出火階指定系統表

出火階 連動階 その他	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10

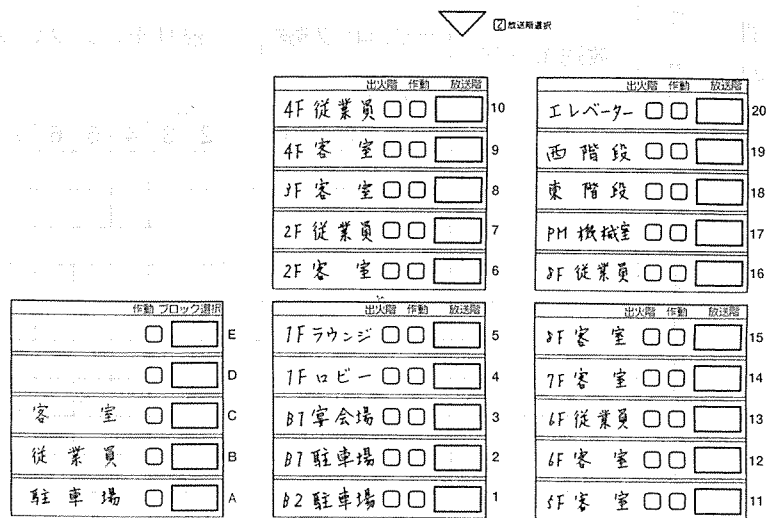
# 書き込みのしかたと確認

## 書き込みのしかたと確認

ホテル

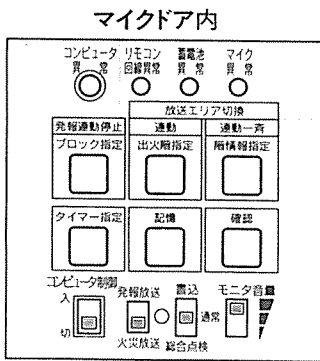


操作パネル面

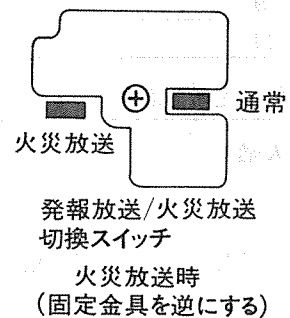
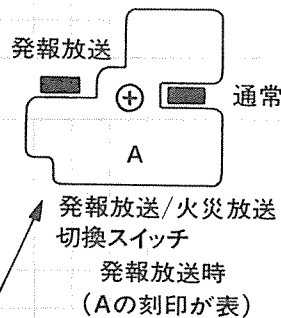


●上図のホテルを例に記憶のしかたと確認を説明します。

- 書き込みはマイクドア内の書き込みスイッチを「書込」にして行います。固定金具を外し、「書込」にしてください。書き込みが終わったら、必ずスイッチを「通常」に戻し発報放送/火災放送切換スイッチと共に固定金具で固定してください。
- 書き込みスイッチを「書込」にしたまま、長く書き込みをしないでいると、「ピー」音が鳴り続けます。(どれかスイッチを押すと止まります。)

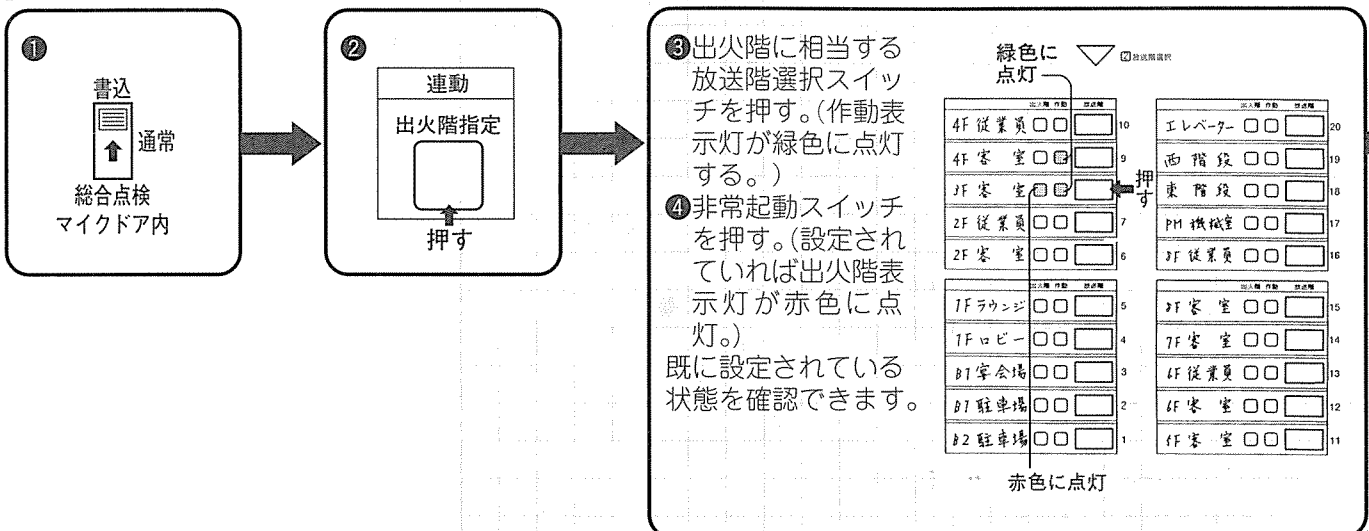


固定のしかた

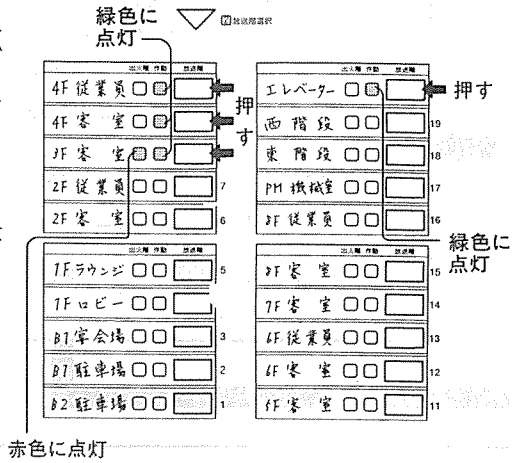


### 1. 出火階、連動階の指定

【記憶のしかた】



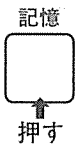
- ⑤ 出火階に相当する放送階選択スイッチを押す。(作動表示灯、出火階表示灯が点灯。)
- ⑥ 非常起動スイッチを押す。
- ⑦ 連動階、エレベータの放送階選択スイッチを押す。(作動表示灯が点灯。)



**ご注意**

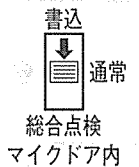
- 出火階を指定するとき  
1つの階に複数の放送階選択スイッチがあるときは、該当するスイッチをすべてを押します。
- 連動階を指定するとき  
出火階が地下 (B1駐車場など) のときは地上階 (1Fロビーなど) を指定します。またエレベータがあるときはエレベータも指定します。
- 連動階を指定できない出火階のとき  
エレベータ、階段、屋上などは、①～⑥の操作で記憶させます。
- 出火階、連動階の指定をしなくても、火災発生時には、出火階 (1つの階)、連動階 (1つの階) が表示されます。

- ⑧ 記憶スイッチを押す。



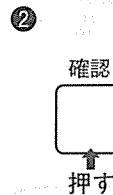
- ⑨ それぞれの階を出火階として、②～⑧を繰り返します。

- ⑩

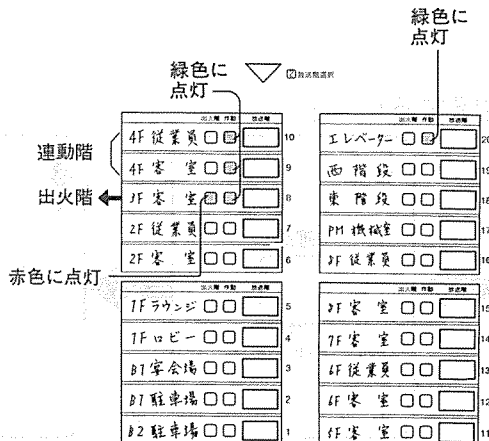


**【記憶した内容を確認するには】**

- ① 上記の①～③をおこなう。



- ③



③F 客室の出火階表示灯が赤色に、作動表示灯が緑色に点灯し、④F 客室、④F 従業員のエレベータの作動表示灯が緑色に点灯することを確認します。指定された内容の火災放送がモニターから流れます。

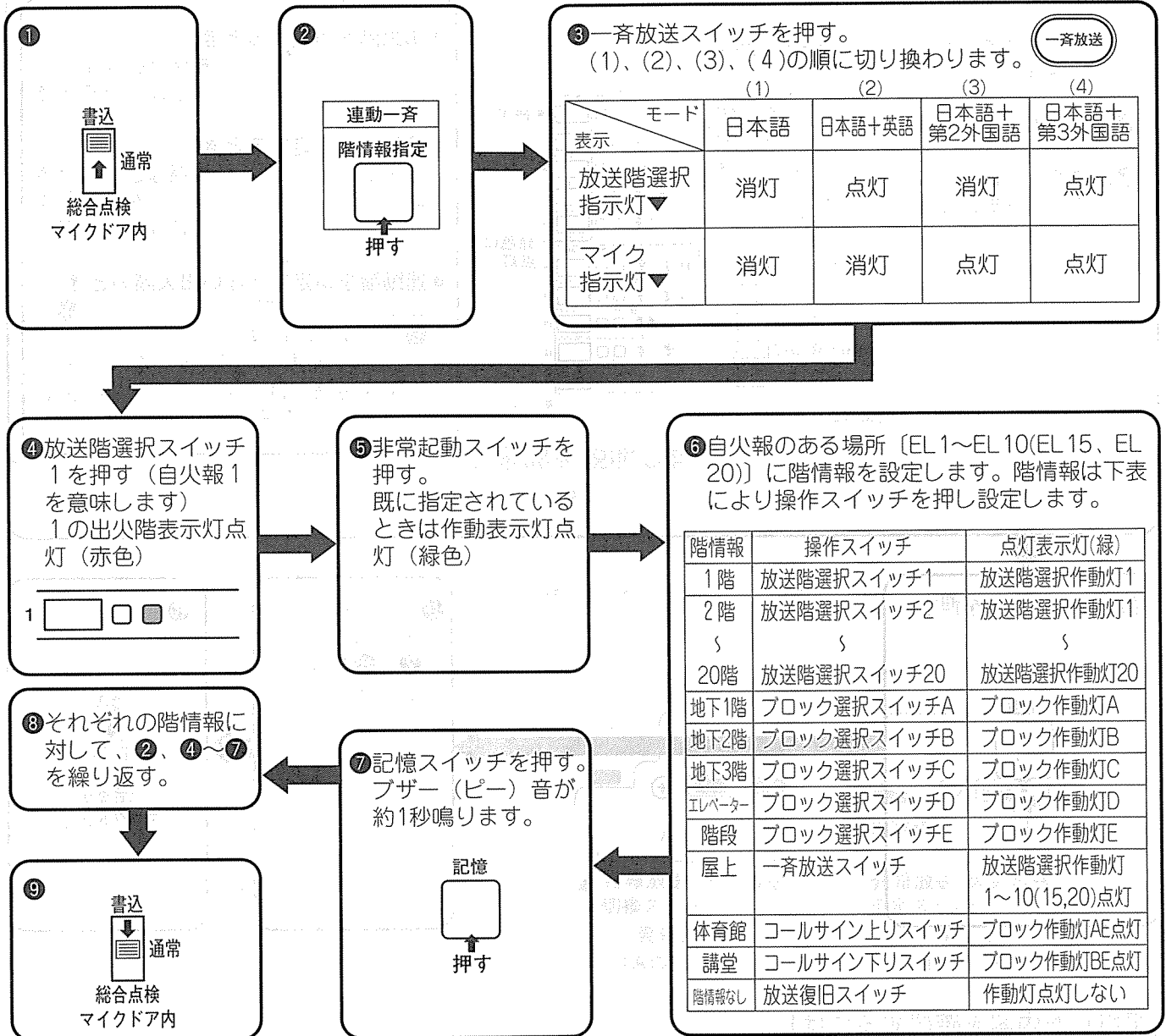


- ④ 上記の②～③の操作を繰り返してそれぞれの階を確認します。

# 書き込みのしかたと確認

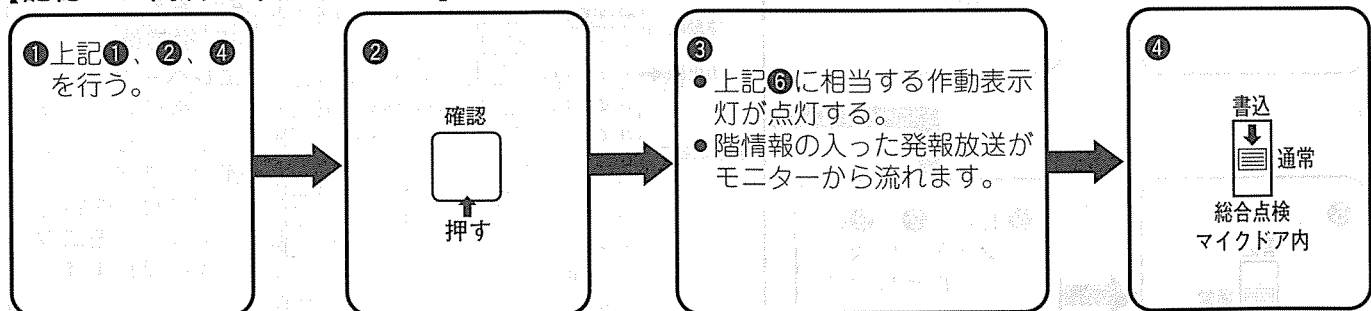
## 2. 階情報指定

### 【記憶のしかた】



※増設音声合成ボード(別売)を使用する場合は49ページをご覧ください。

### 【記憶した内容を確認するには】



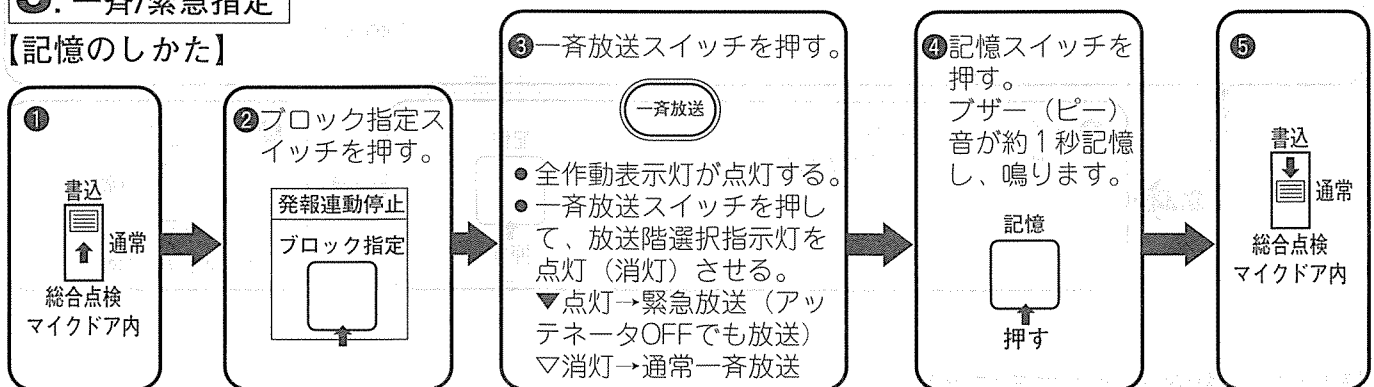


## 【初期設定】

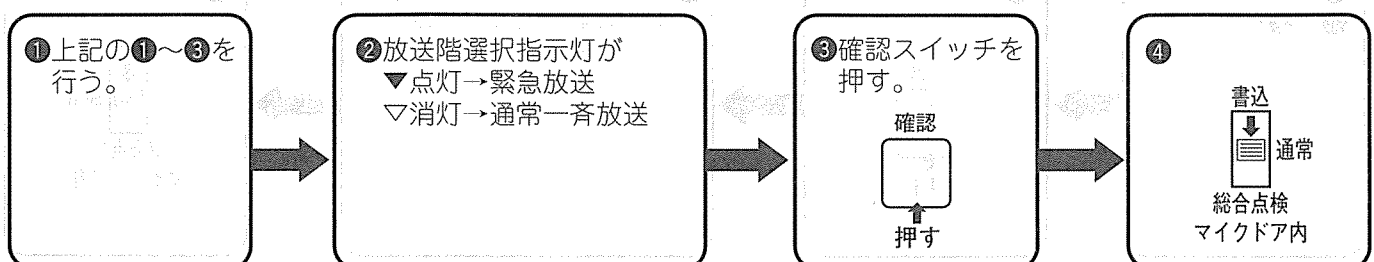
設定名	初 期 設 定																																	
1.階別連動設定	<p>放送階選択スイッチがそのまま出火階スイッチになります。連動階スイッチは出火階スイッチに1を加えた番号のスイッチです。（ただし、番号が最大である出火階スイッチには連動階スイッチは設定されていません。）</p> <table border="1"> <tr> <td>出火階スイッチNO.</td> <td>連動階スイッチ</td> </tr> <tr> <td>m</td> <td>m+1</td> </tr> </table> <p>m ≤ 放送階選択スイッチ数                      WK-770B → m=10                      WK-775B → m=15                      WK-780B → m=20</p>	出火階スイッチNO.	連動階スイッチ	m	m+1	<table border="1"> <tr> <th>放送階選択スイッチ番号</th> <th colspan="2">階情報（出火階メッセージ）</th> </tr> <tr> <td>1</td> <td>1階</td> <td>EL1</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>2階</td> <td>EL2</td> </tr> <tr> <td>⋮</td> <td>⋮</td> <td>⋮</td> </tr> <tr> <td>10</td> <td>⋮</td> <td>⋮</td> </tr> <tr> <td>⋮</td> <td>⋮</td> <td>⋮</td> </tr> <tr> <td>15</td> <td>⋮</td> <td>⋮</td> </tr> <tr> <td>⋮</td> <td>⋮</td> <td>⋮</td> </tr> <tr> <td>20</td> <td>20階</td> <td>EL20</td> </tr> </table>	放送階選択スイッチ番号	階情報（出火階メッセージ）		1	1階	EL1	2	2階	EL2	⋮	⋮	⋮	10	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	15	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	20	20階	EL20	
出火階スイッチNO.	連動階スイッチ																																	
m	m+1																																	
放送階選択スイッチ番号	階情報（出火階メッセージ）																																	
1	1階	EL1																																
2	2階	EL2																																
⋮	⋮	⋮																																
10	⋮	⋮																																
⋮	⋮	⋮																																
15	⋮	⋮																																
⋮	⋮	⋮																																
20	20階	EL20																																
2.一斉スイッチ	緊急一斉（放送階選択指示灯点灯）（ATTパス）																																	
3.ブロック選択スイッチA～E	<table border="1"> <tr> <th>ブロックスイッチ</th> <th>初期設定</th> </tr> <tr> <td>A</td> <td>放送階選択1（ATT ON）</td> </tr> <tr> <td>⋮</td> <td>⋮</td> </tr> <tr> <td>E</td> <td>放送階選択5（ATT ON）</td> </tr> </table>	ブロックスイッチ	初期設定	A	放送階選択1（ATT ON）	⋮	⋮	E	放送階選択5（ATT ON）																									
ブロックスイッチ	初期設定																																	
A	放送階選択1（ATT ON）																																	
⋮	⋮																																	
E	放送階選択5（ATT ON）																																	
4.チャイム制御	緊急一斉（ATTパス）																																	
5.一般リモコン	<table border="1"> <tr> <th>リモコン端子</th> <th>初期設定</th> </tr> <tr> <td>1</td> <td>放送階選択1（ATT ON）</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>放送階選択2（ATT ON）</td> </tr> <tr> <td>⋮</td> <td>⋮</td> </tr> <tr> <td>10</td> <td>放送階選択10（ATT ON）</td> </tr> <tr> <td>緊急一斉</td> <td>（ATTパス）</td> </tr> </table>	リモコン端子	初期設定	1	放送階選択1（ATT ON）	2	放送階選択2（ATT ON）	⋮	⋮	10	放送階選択10（ATT ON）	緊急一斉	（ATTパス）																					
リモコン端子	初期設定																																	
1	放送階選択1（ATT ON）																																	
2	放送階選択2（ATT ON）																																	
⋮	⋮																																	
10	放送階選択10（ATT ON）																																	
緊急一斉	（ATTパス）																																	
6.アナウンスマシン制御	緊急一斉（ATTパス）																																	
7.一般外部	緊急一斉（ATTパス）																																	
8.汎用制御端子	初期設定（何も動作しない）																																	
9.タイマー	5分																																	
10.言語設定	日本語																																	

## 3. 一斉/緊急指定

### 【記憶のしかた】



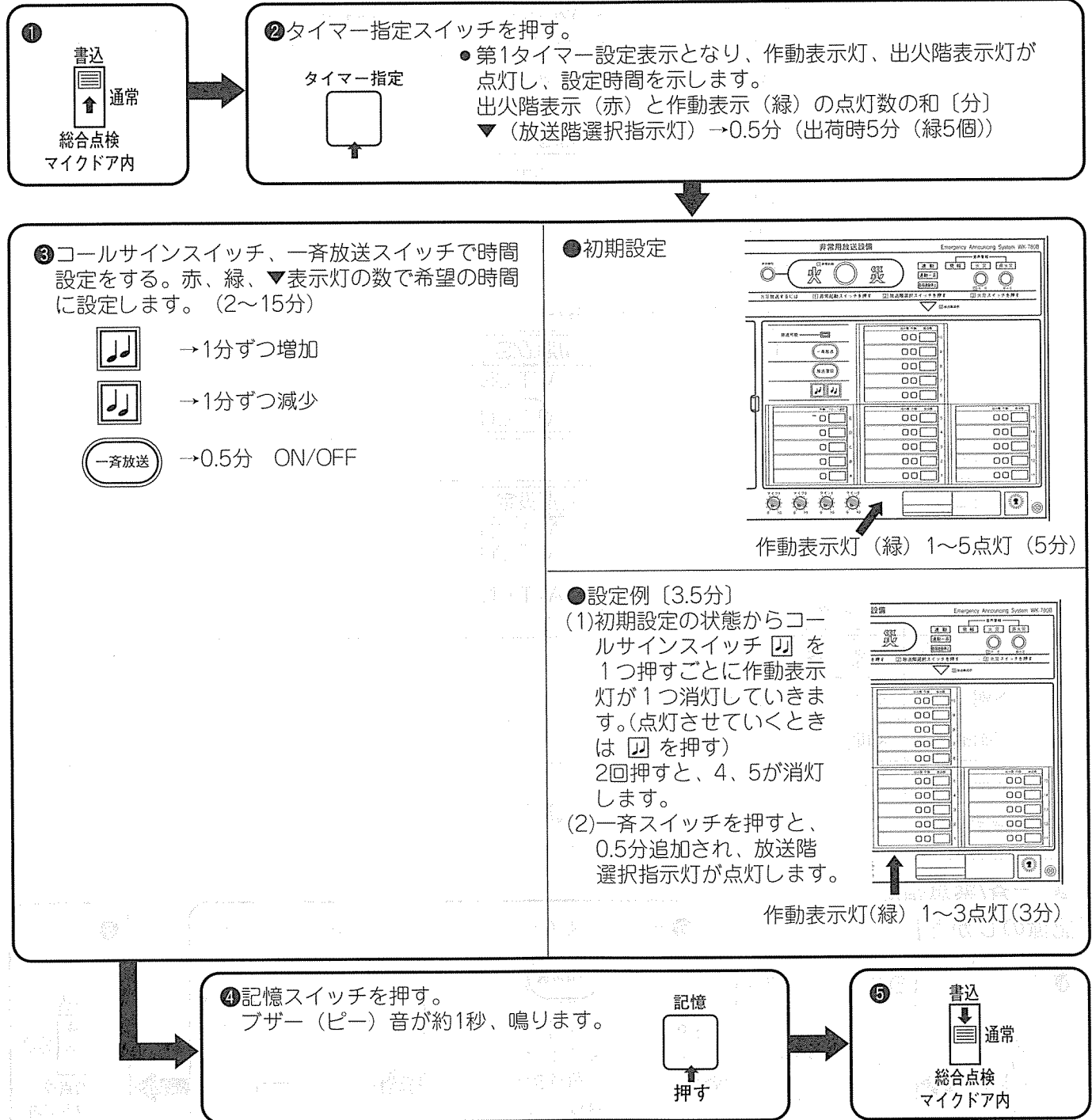
### 【記憶した内容を確認するには】



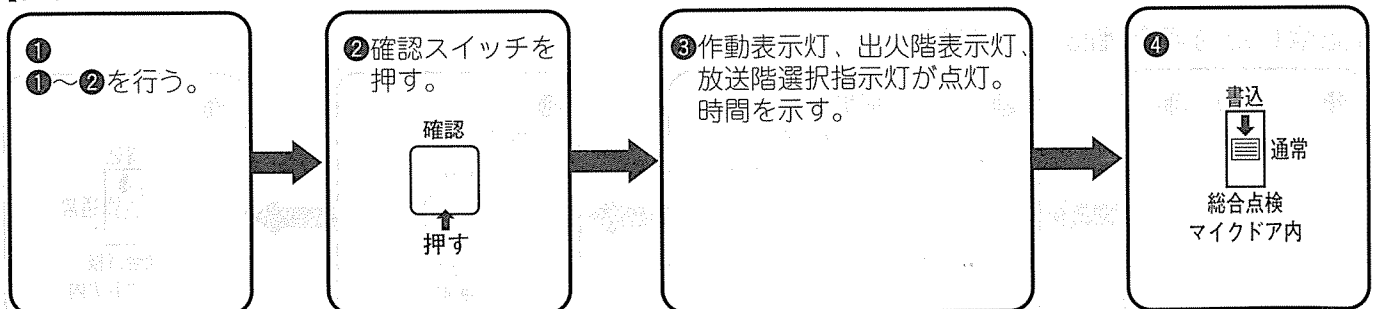
# 書き込みのしかたと確認

## 4. タイマー設定 (1) 第1タイマー

### 【記憶のしかた】

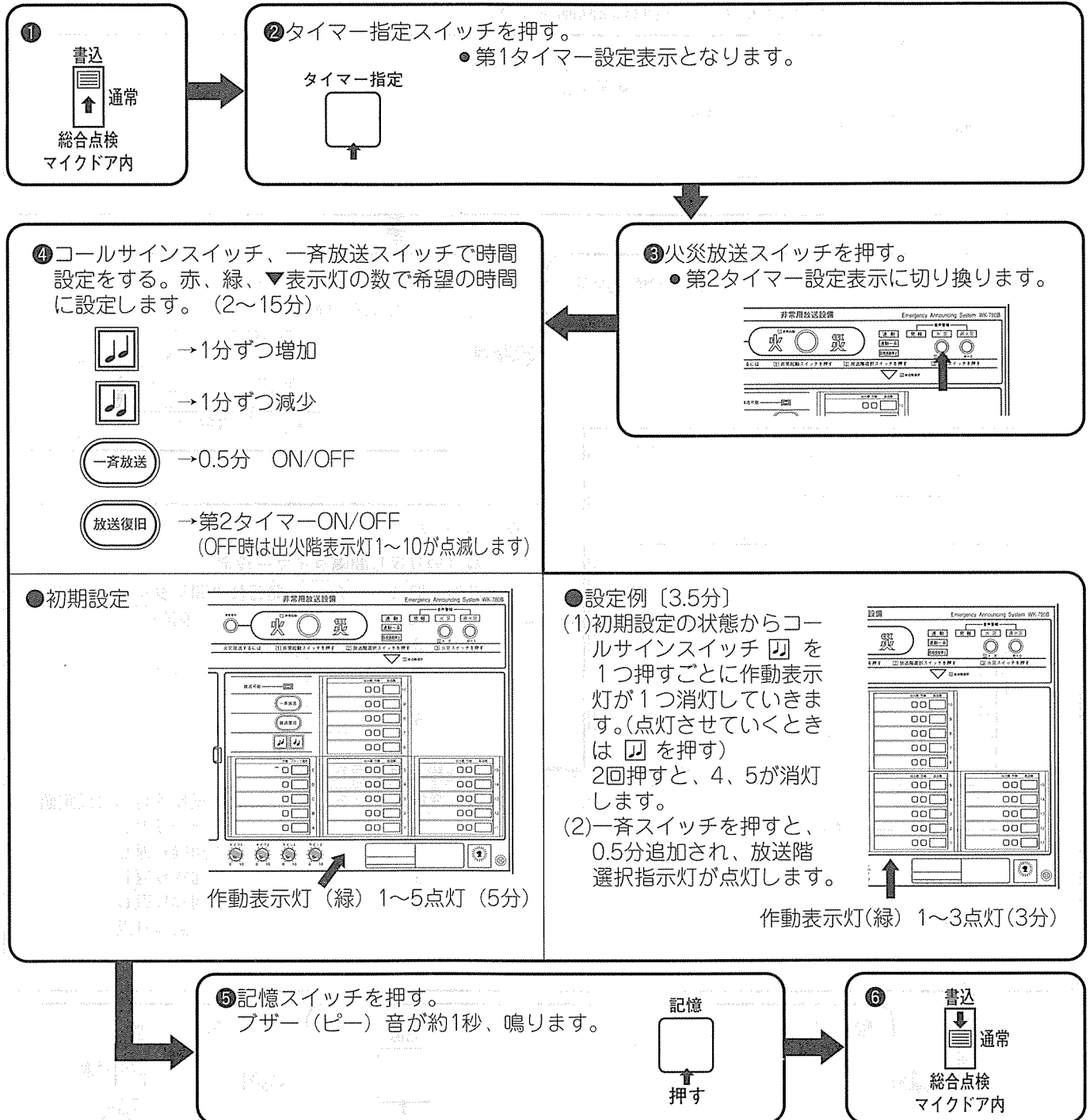


### 【記憶した内容を確認するには】

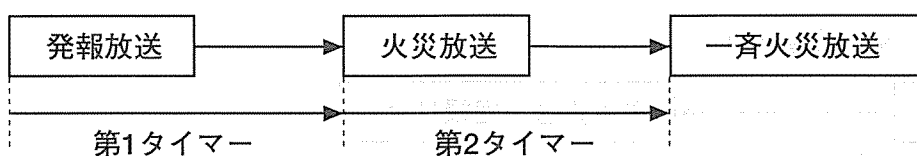


## 4. タイマー設定 (2) 第2タイマー

### 【記憶のしかた】



### 【第1タイマーと第2タイマー】



# 書き込みのしかたと確認

## 4. タイマー設定 (3) 発報放送の繰り返し

【記憶のしかた】 ※感知器起動時の発報放送の繰り返し回数が設定できます。  
(発振器及び非常放送時は2回固定です。)

①

② タイマー指定スイッチを押す。  
● 第1タイマー設定表示となります。

タイマー指定

④ 放送階選択スイッチを押し、発報放送を繰り返す回数と間隔を設定します。

● 初期設定

作動表示灯 (緑) 2、6点灯  
発報放送繰り返し回数：2回  
発報放送繰り返しタイマー：繰り返し無し

③ 非火災放送スイッチを押す。  
発報放送の繰り返し設定の表示に切り換ります。

● 設定方法

発報放送繰り返し間隔タイマー設定

放送階選択スイッチ	発報放送間隔タイマー設定値
10	1分間隔
9	30秒間隔
8	10秒間隔
7	5秒間隔
6	繰り返し無し

発報放送繰り返し回数設定

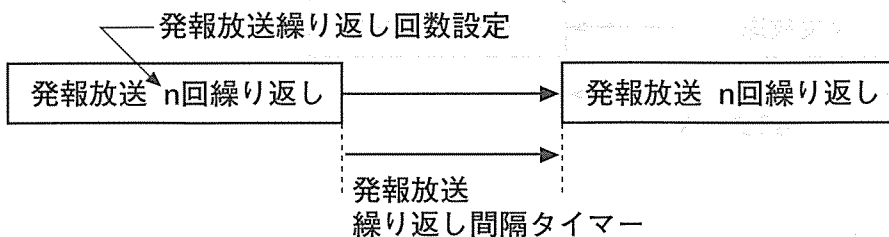
放送階選択スイッチ	発報放送繰り返し回数設定値
5	5回繰り返し
4	4回繰り返し
3	3回繰り返し
2	2回繰り返し
1	無限回繰り返し

⑤ 記憶スイッチを押す。  
ブザー (ピー) 音が約1秒、鳴ります。

記憶  
押す

⑥

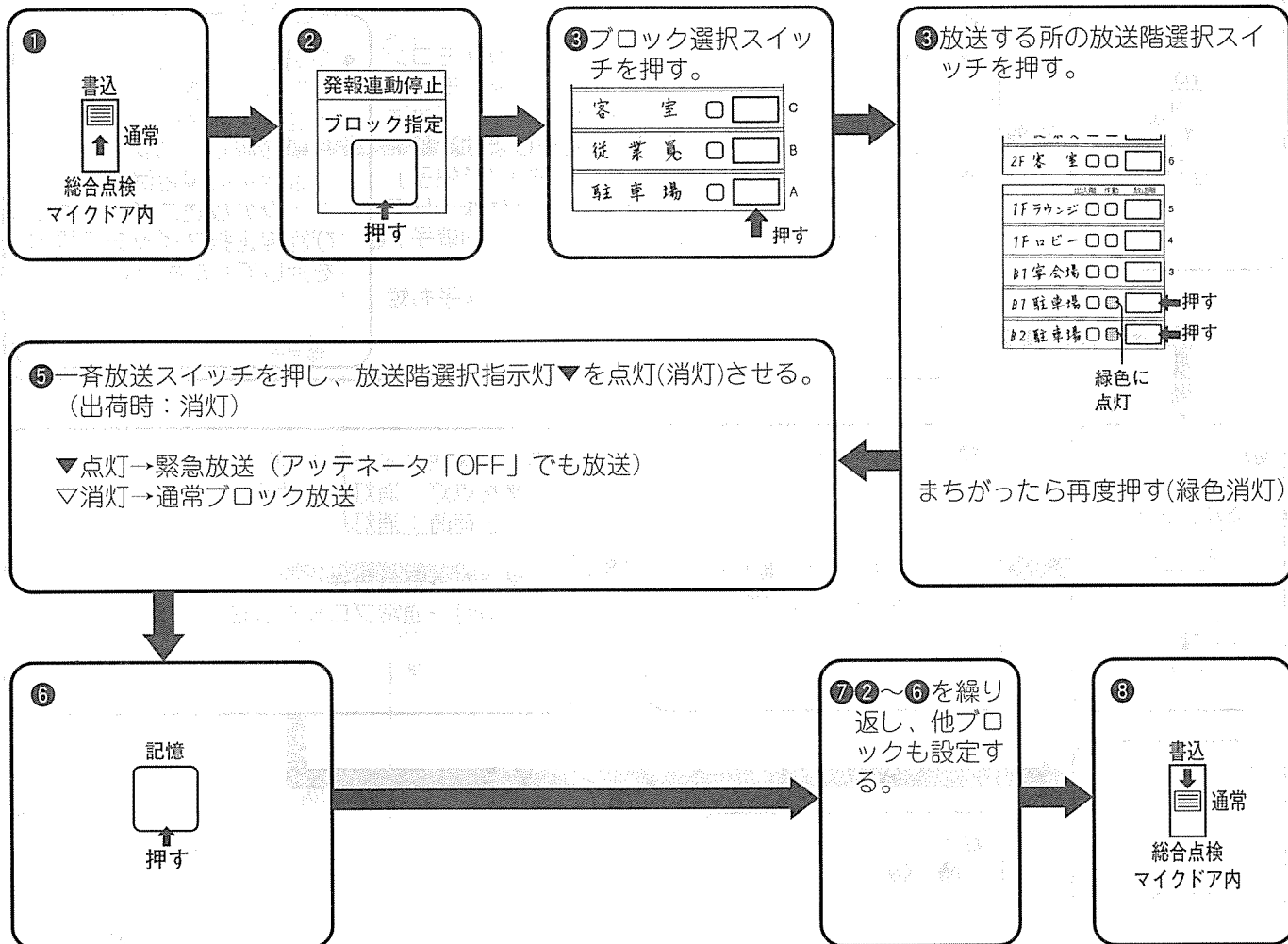
### 【発報放送繰り返し回数と繰り返しタイマーの動き】



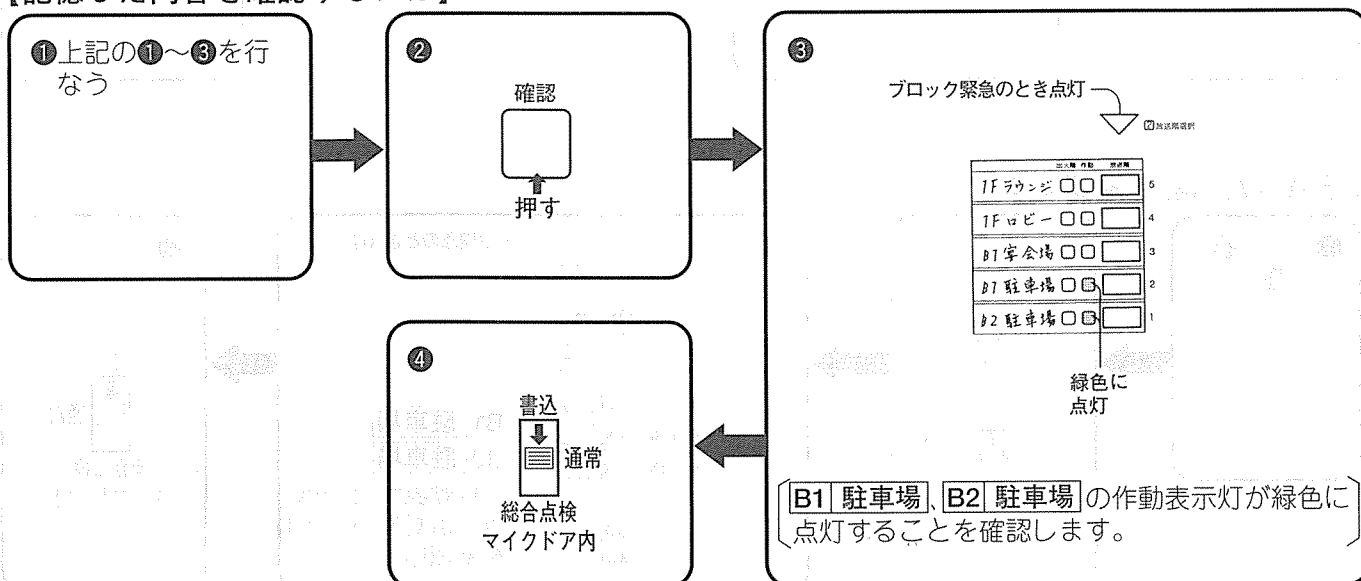
## 5. 一般ブロック放送

- 駐車場だけに放送するため、ブロック選択スイッチ「**駐車場**」を押すと、**B1 駐車場**、**B2 駐車場**の作動表示灯が点灯し、放送ができます。
- 1ブロックずつ書き込みます。

### 【記憶のしかた】



### 【記憶した内容を確認するには】

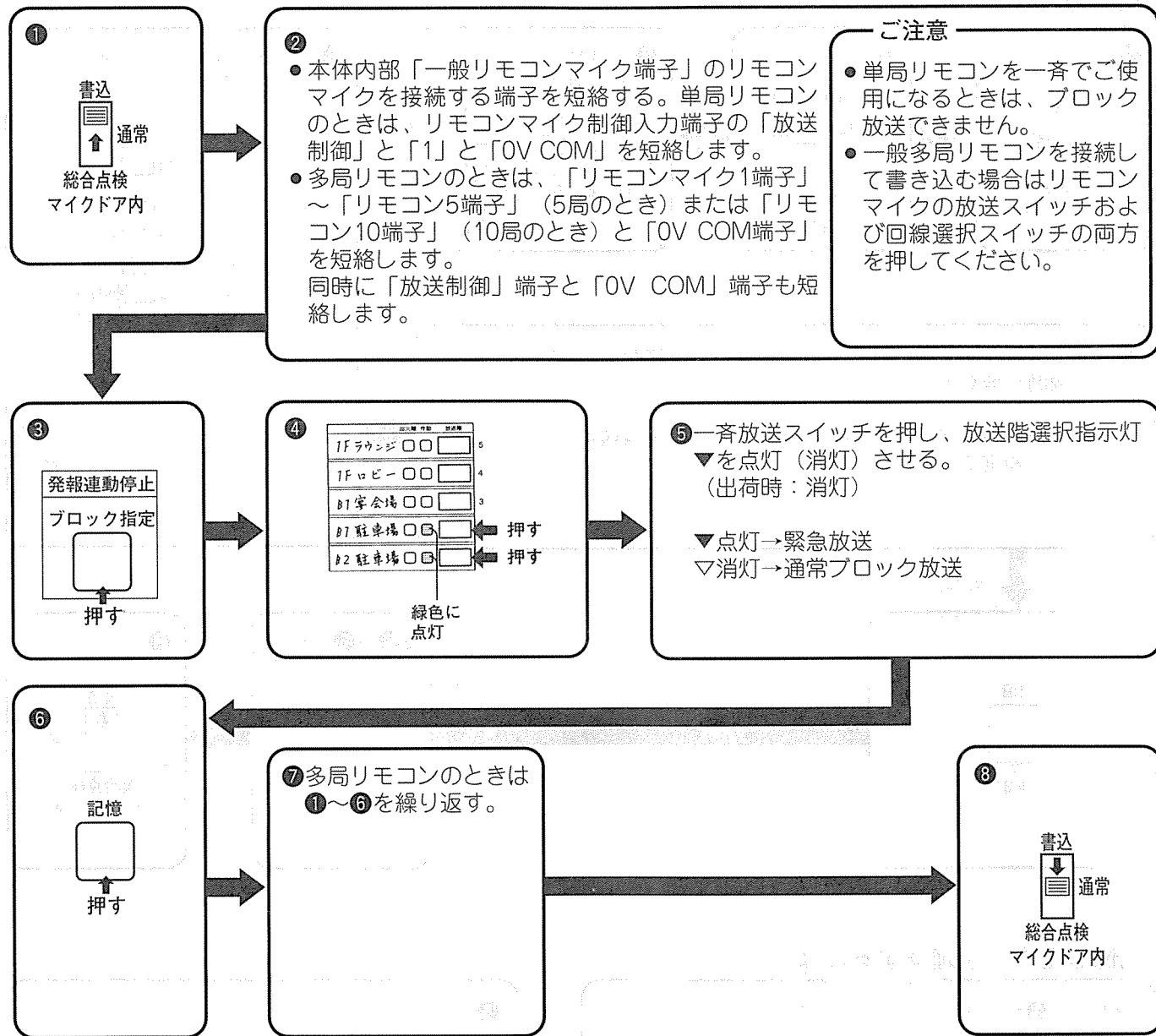


# 書き込みのしかたと確認

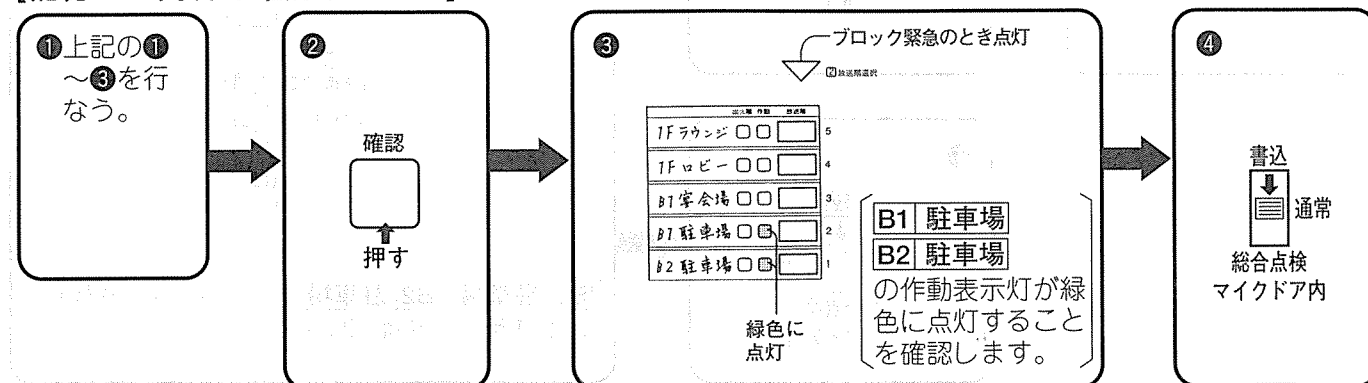
## 6. 一般リモコンブロック放送

- リモコンマイクで、駐車場にいる人の呼び出しをするため、リモコンマイクの放送ボタンを押すと、**B1 駐車場**、**B2 駐車場**の作動表示灯が点灯し、放送ができます。

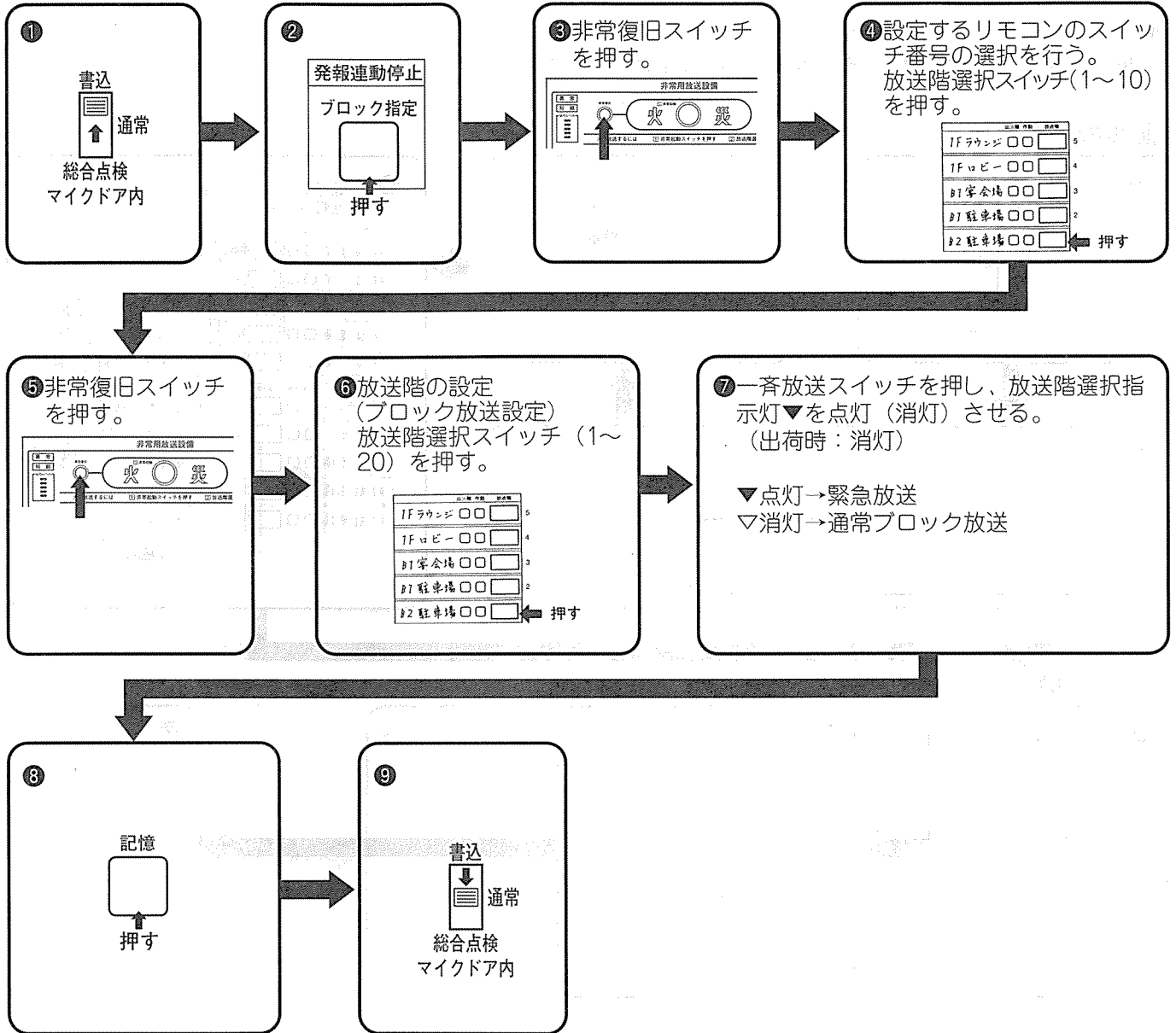
### 【記憶のしかた】



### 【記憶した内容を確認するには】



【操作パネルだけ使用して設定する場合】

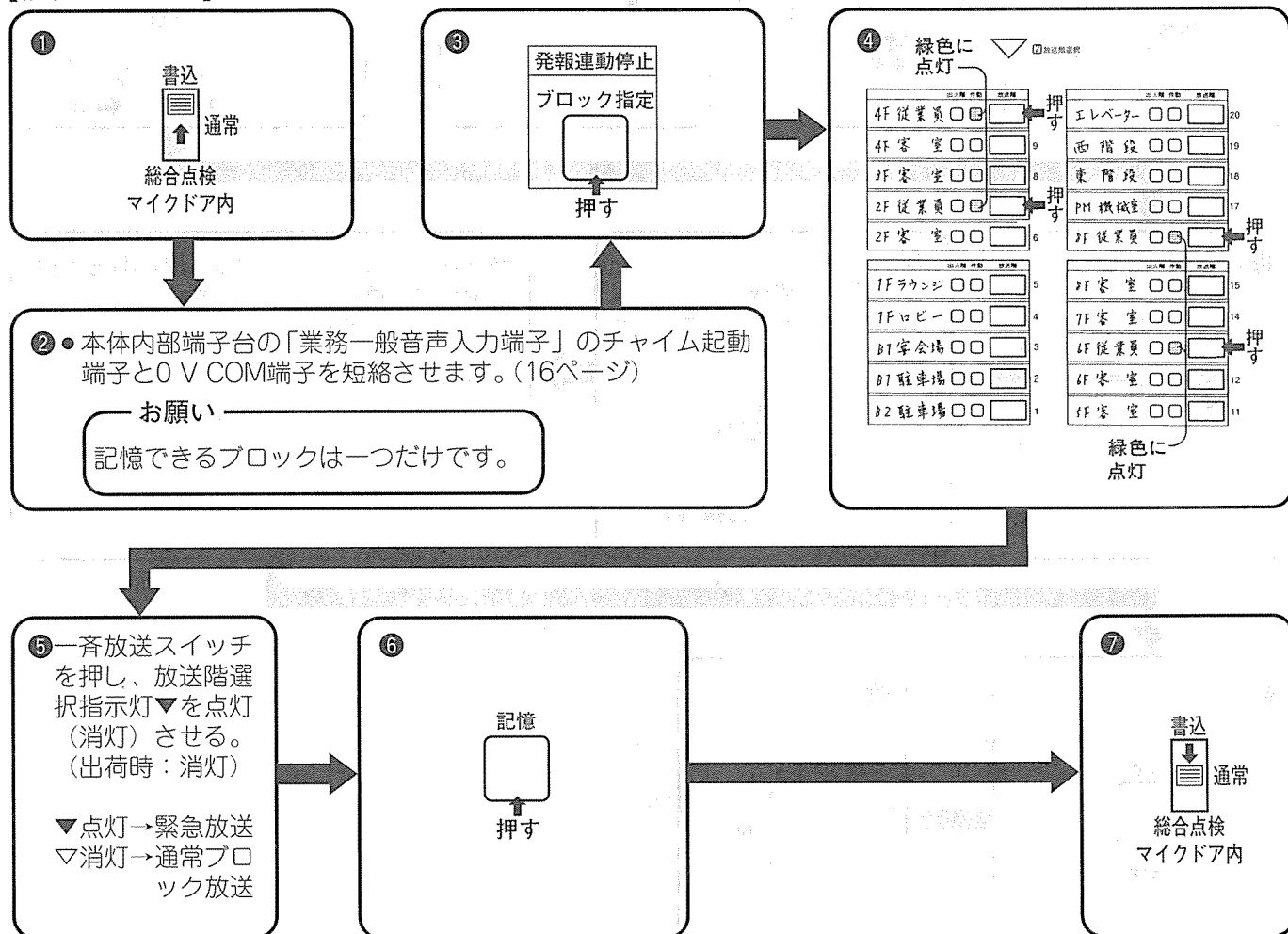


# 書き込みのしかたと確認

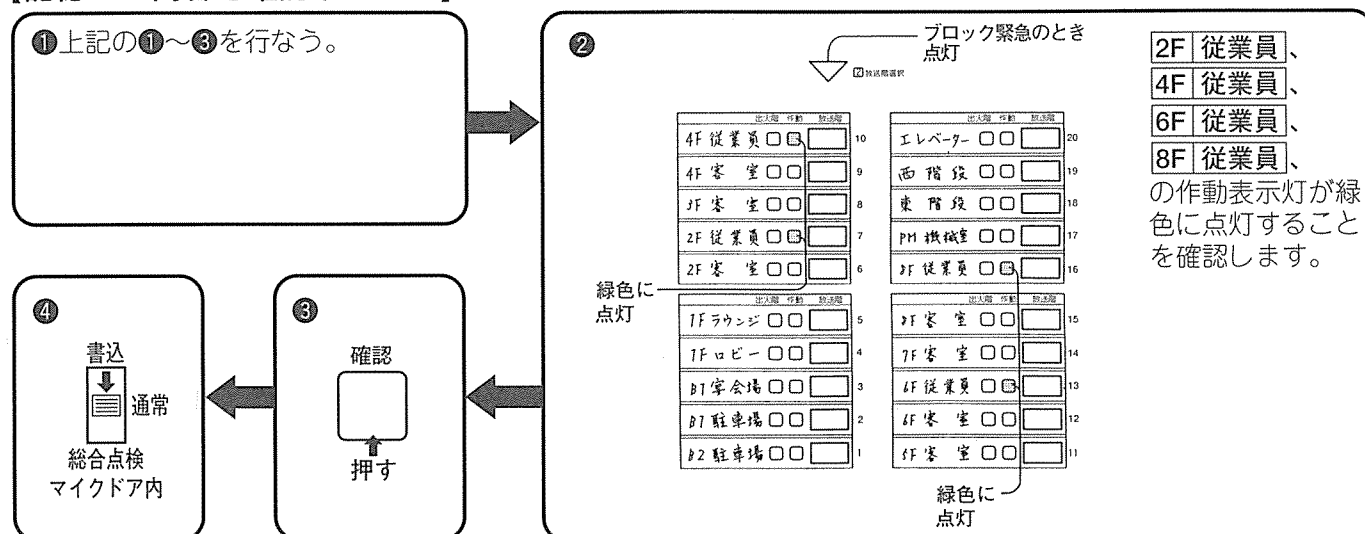
## 7. チャイムブロック放送

- チャイム放送を従業員室に流すため、エレクトロミュージックチャイムのチャイムスイッチを押すと、**2F 従業員**、**4F 従業員**、**6F 従業員**、**8F 従業員** の作動表示灯が緑色に点灯し、チャイム放送が流れます。

### 【記憶のしかた】

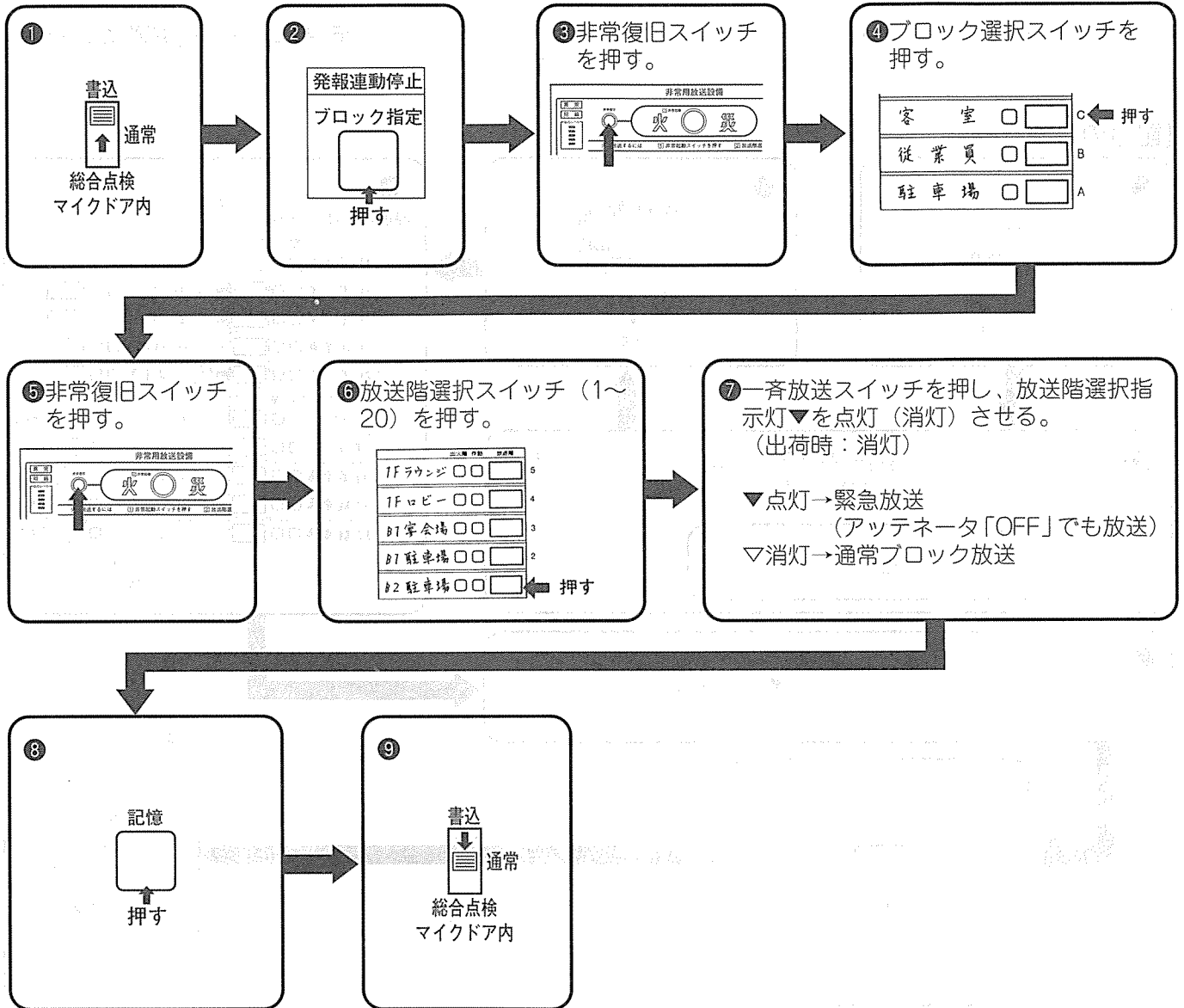


### 【記憶した内容を確認するには】





【操作パネルだけ使用して設定する場合】

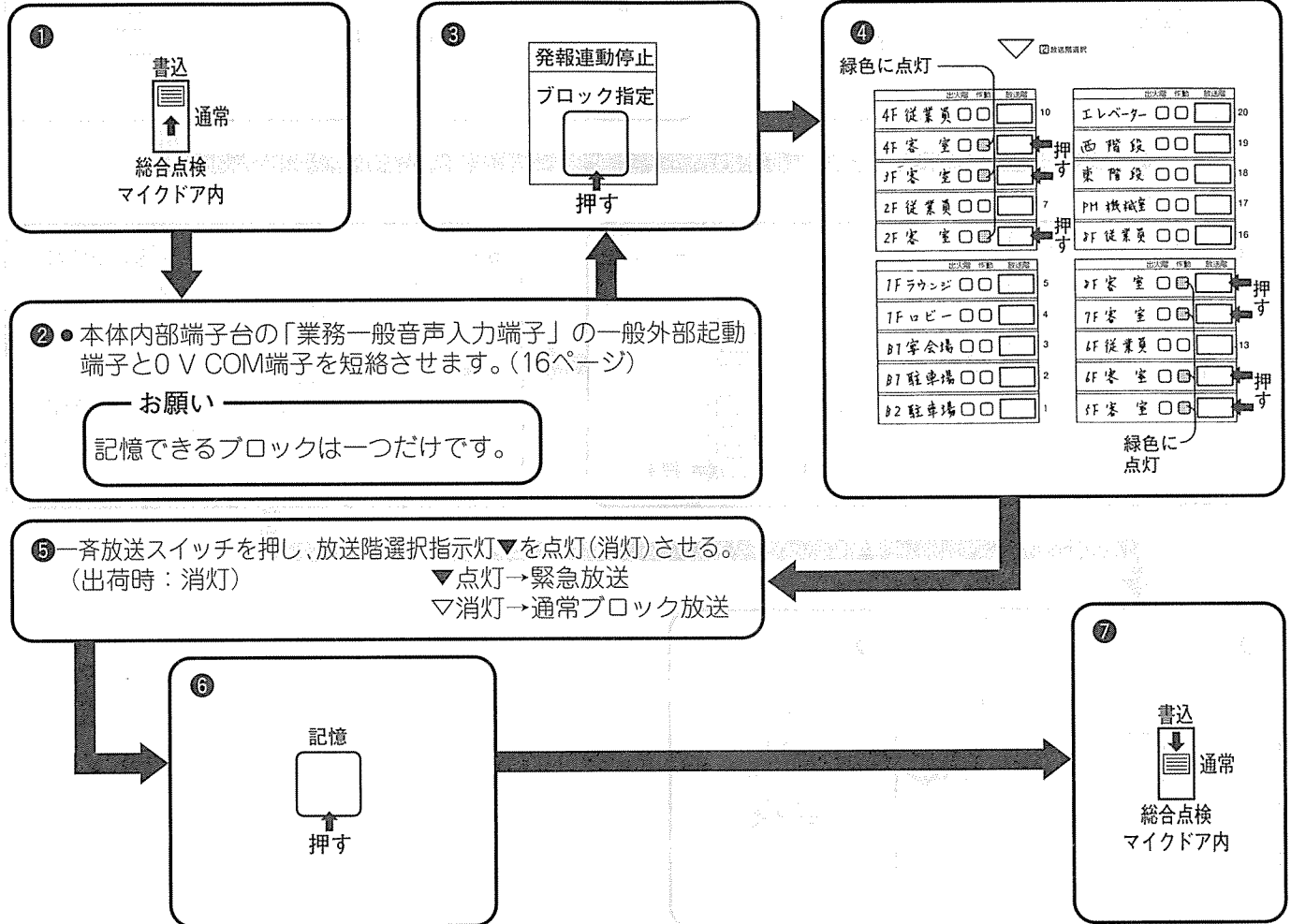


# 書き込みのしかたと確認

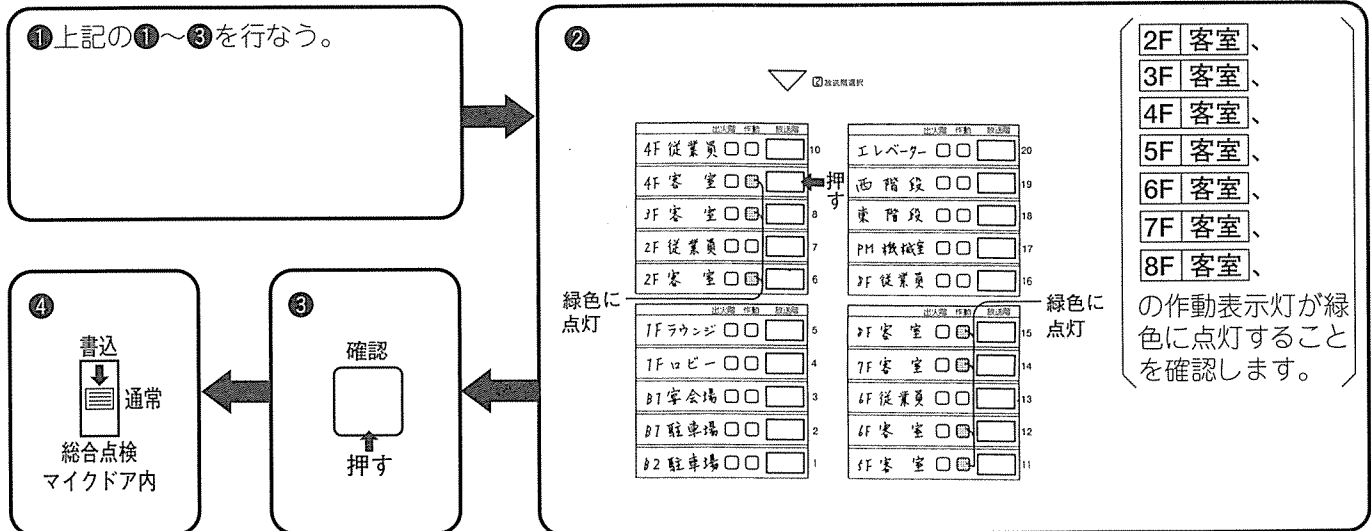
## 8. 一般外部ブロック放送

- BGM放送を客室に流すため、BGM演奏装置にカートリッジを入れると、**2F客室**から**8F客室**の作動表示灯が緑色に点灯し、BGM放送ができます（ライン3使用）。

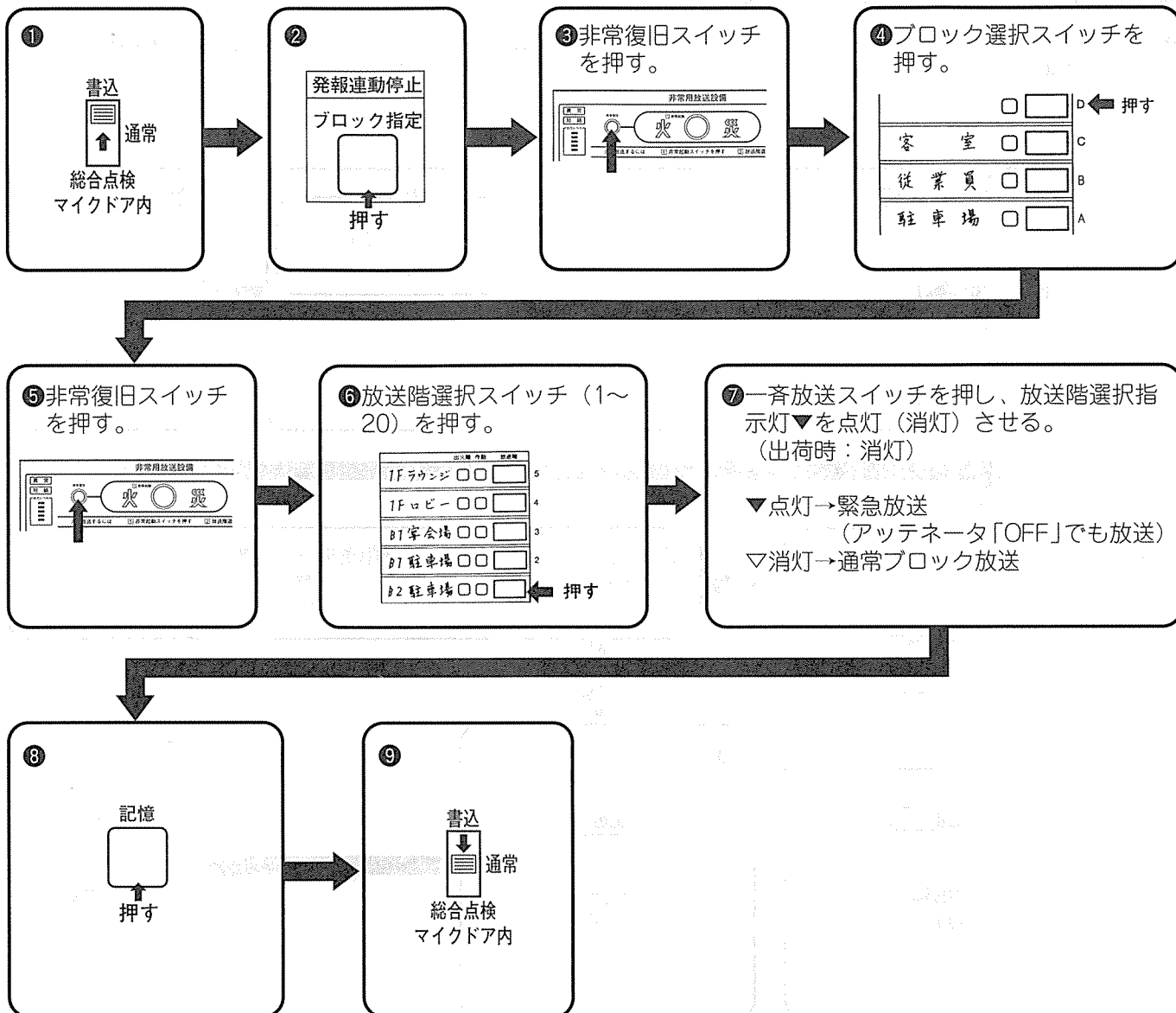
### 【記憶のしかた】



### 【記憶した内容を確認するには】



【操作パネルだけ使用して設定する場合】

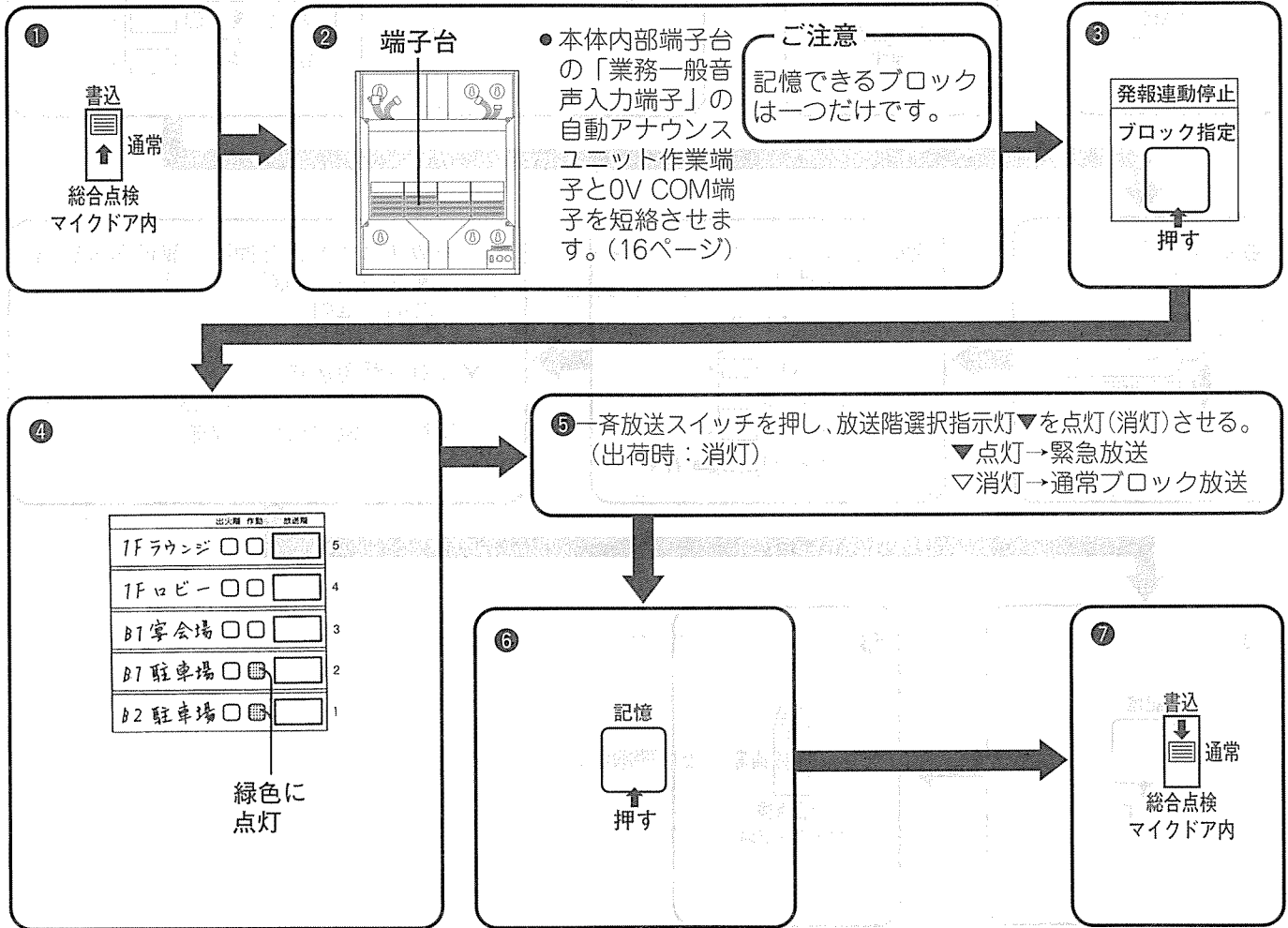


# 書き込みのしかたと確認

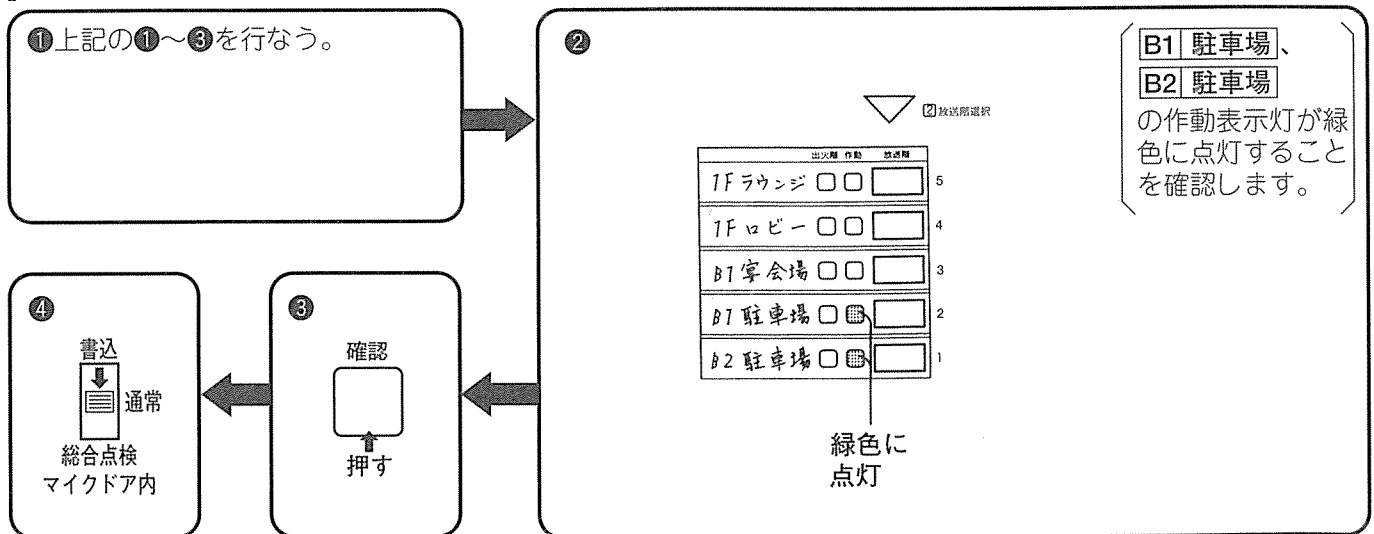
## 9. 自動アナウンスのブロック放送

- 自動アナウンス放送を駐車場に流すため、自動アナウンスユニットを「ON」させると、**B1 駐車場**、**B2 駐車場** の作動表示灯が緑色に点灯し、アナウンス放送が流れます。

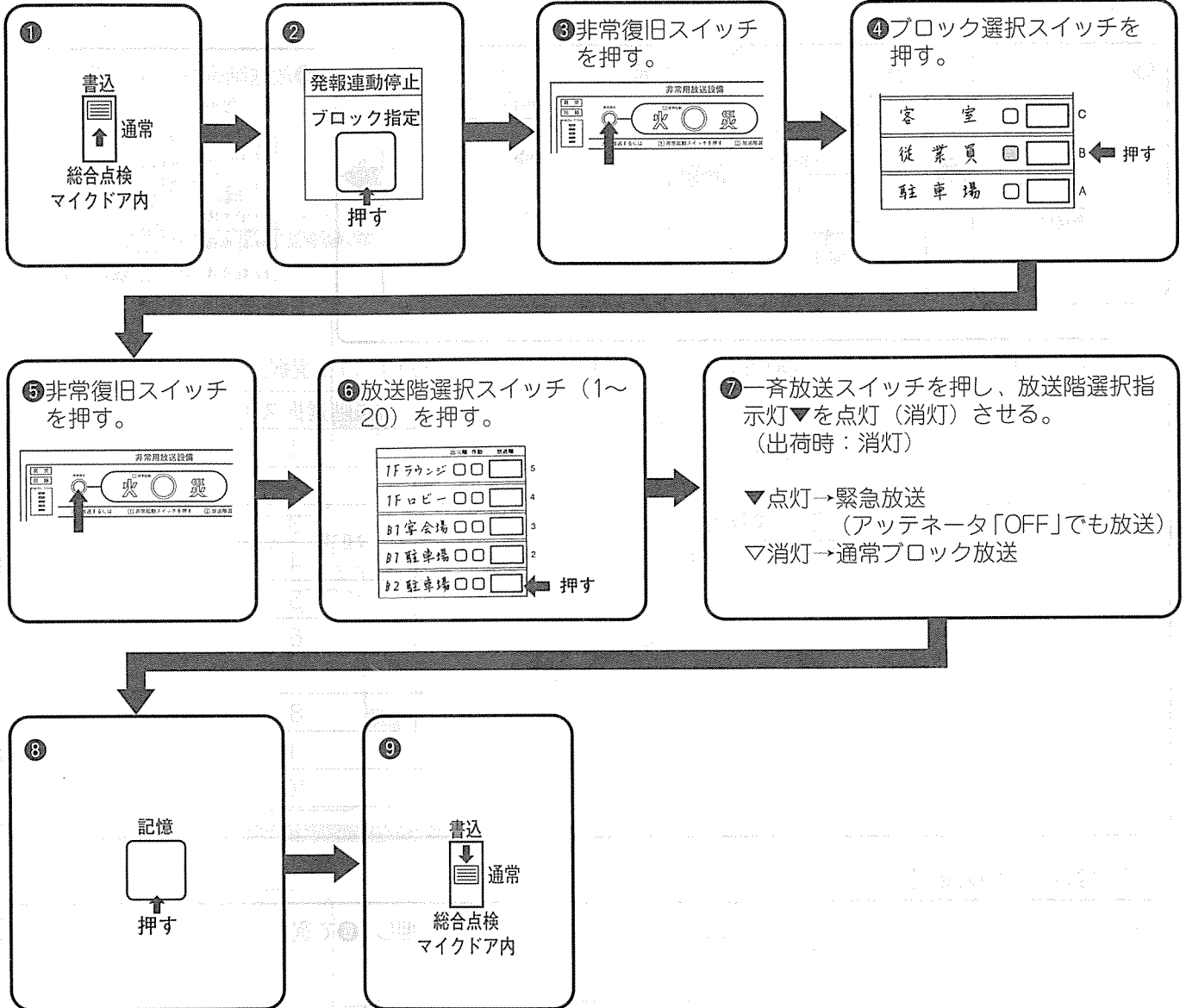
### 【記憶のしかた】



### 【記憶した内容を確認するには】

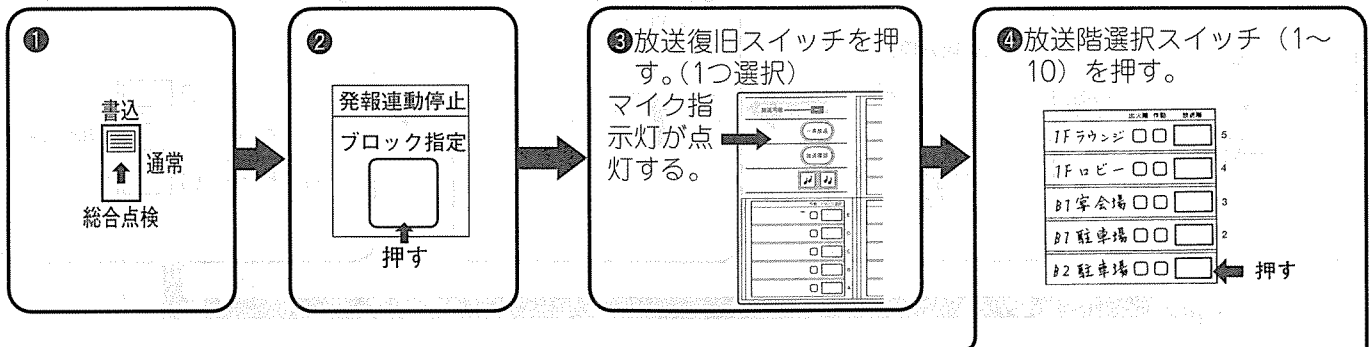


【操作パネルだけ使用して設定する場合】

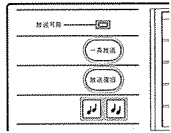


# 書き込みのしかたと確認

## 10. 汎用制御出力端子



⑤ 放送復旧スイッチを押す。



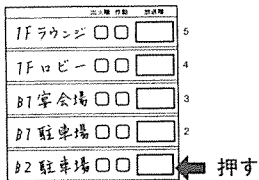
作動表示灯消灯  
出火灯(赤)点灯

設定項目に応じて放送階選択スイッチを押す (1つ選択)

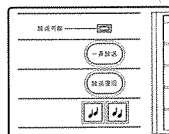
項目	放送階選択スイッチ	参照ページ
1 非常メイク	1	46ページ
2 業務n放送非常時継続	2	47ページ
3 業務n放送非常時解除	3	
4 一般リモコンn放送非常時継続	4	
5 一般リモコンn放送非常時解除	5	48ページ
6 外部業務放送	6	
7 音声警報パターン選択	7	
8 異常状態パターン	8	
9 火災スタート	9	
10 初期設定 (何も動作しない)	10	

### 【1. 非常メイクの設定】

⑥ 放送階選択スイッチ (1~20) を押す。(複数可)

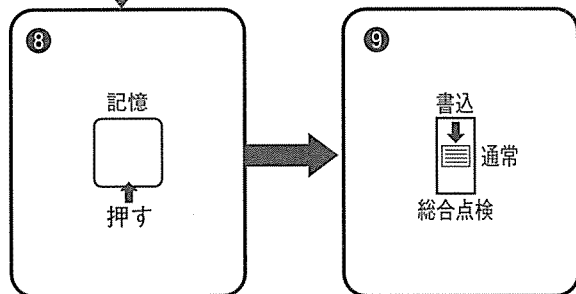


⑦ コールサイン選択スイッチを押し、⑥で選択したスイッチのANDまたはORを指定する。



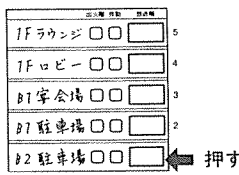
♪ → OR 指定 (放送可能表示灯消灯)

♪ → AND 指定 (放送可能表示灯点灯)

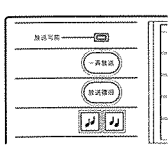


**【2. 業務n放送非常時継続、3. 業務n放送非常時解除】**

⑥ 放送階選択スイッチ、ブロック  
選択スイッチを押す。(複数可)

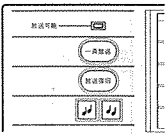


⑦ コールサイン選択スイッチを押し、⑥で選択したスイッチのANDまたはORを指定する。



- OR 指定 (放送可能表示灯消灯)
- AND 指定 (放送可能表示灯点灯)

⑧ 一斉スイッチを押す。  
(緊急指定)

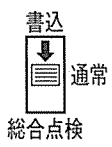


放送階選択指示灯▼点灯

⑨



⑩

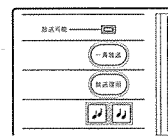


**【4. 一般リモコンn放送非常時接続、5. 一般リモコンn放送非常時解除】**

●リモコン端子をショートさせる場合

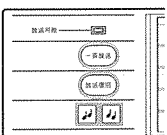
⑥ リモコン端子1~10 (複数可)  
は放送制御と一緒にショート  
させる。  
緊急スイッチは0V COMとシ  
ョートさせる。(1~10と緊急  
スイッチ同時指定は不可)

⑦ コールサイン選択スイッチを押し、⑥で選択したスイッチのANDまたはORを指定する。



- OR 指定 (放送可能表示灯消灯)
- AND 指定 (放送可能表示灯点灯)

⑧ 一斉スイッチを押す。  
(緊急指定)

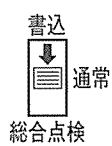


放送階選択指示灯▼点灯

⑨



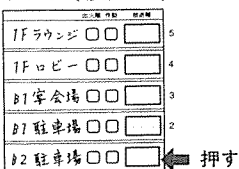
⑩



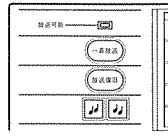
●操作パネルだけ使用して設定する場合

リモコン1~n指定のとき

⑥ 放送階選択スイッチ (1~20)  
を押す。(複数可)



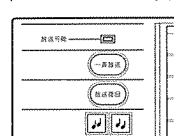
⑦ コールサイン選択スイッチを押し、⑥で選択したスイッチのANDまたはORを指定する。



- OR 指定 (放送可能表示灯消灯)
- AND 指定 (放送可能表示灯点灯)

リモコン緊急放送指定のとき

⑧ 一斉スイッチを押す。

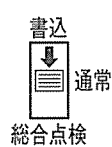


放送階選択指示灯▼点灯

⑨



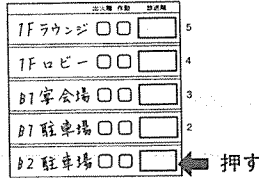
⑩



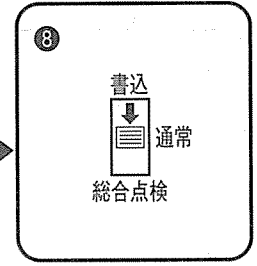
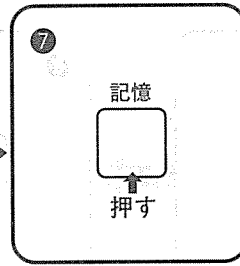
# 書き込みのしかたと確認

## 【6. 外部業務放送、7. 音声警報パターン選択、8. 異常状態パターン】

⑥ 放送階選択スイッチ、ブロック選択スイッチを押す。  
(複数可)

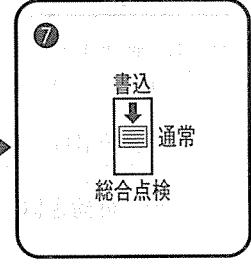
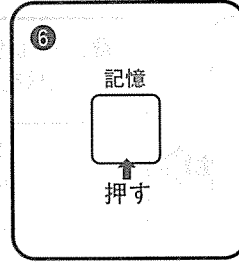
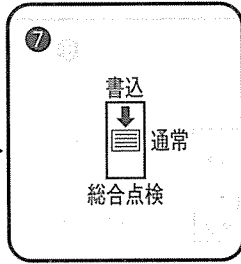
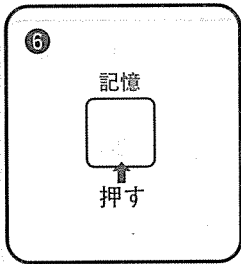


スイッチ	設定6	設定7	設定8
放送階選択スイッチ1	アナウンスマシソン	発報放送	短絡
放送階選択スイッチ2	チャイム	火災放送	マイク異常
放送階選択スイッチ3	一般外部制御	非火災放送	リモコン回線異常
放送階選択スイッチ4	一般リモコン		蓄電池異常
放送階選択スイッチ5	非常リモコン業務放送		音声合成異常



## 【9. 火災スタート】

## 【10. 初期設定】

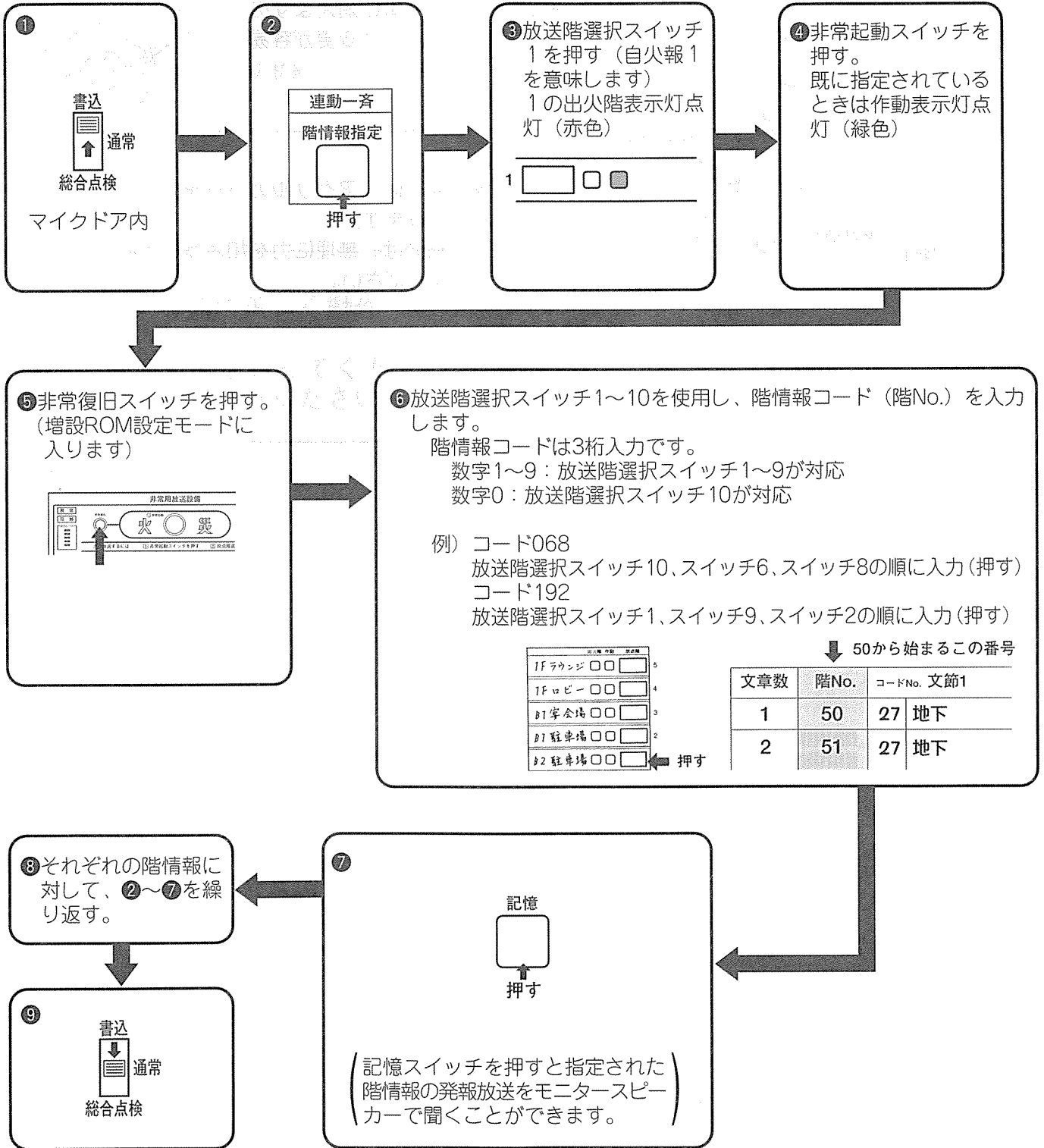




# ■階情報・言語コード書き込み (増設音声合成ボード(別売)を使用する場合の書き込み方法)

1~209の階情報が書き込めます。  
基本ボードの階情報も番号で書き込み可能です。

## 【記憶のしかた】



## メモ

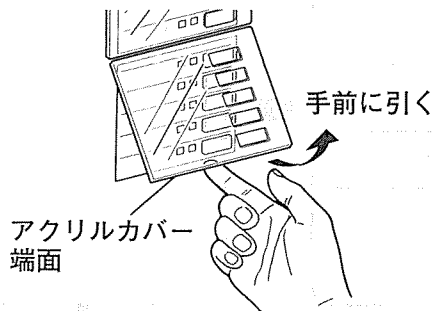
書き込みモードで上記②~⑤を行い確認スイッチを押すと設定されている階情報を発報放送としてモニタースピーカーで確認することができます。

# 表示カードの使いかた

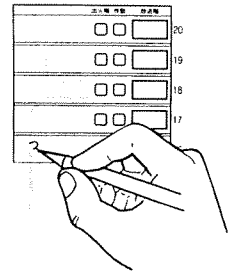
※放送階選択スイッチおよびブロック選択スイッチには、各スピーカの設置場所やブロック指定した場所などを記入する表示カードが付いています。

## 〈表示カードへの記入方法〉

- アクリルカバーの上下の端面に指をかけ、手前に引いて、アクリルカバーを外します。
- カバーの下の表示カードにスピーカの設置場所やブロック指定した場所などを記入します。



- 表示カードの記入は、鉛筆で行うと、消しゴムで簡単に消えますので、訂正や変更が容易です。



- 記入後は、アクリルカバーをもとの位置に、はめ込みます。
- ※爪部分は、無理に力を加えると折れますのでご注意ください。

# 設置時の点検

## 重要

書込作業まで完了したら、通常運用に入る前に次ページ以降に記載されている手順で、非常放送および業務放送が設定通りに放送されることを確認してください。

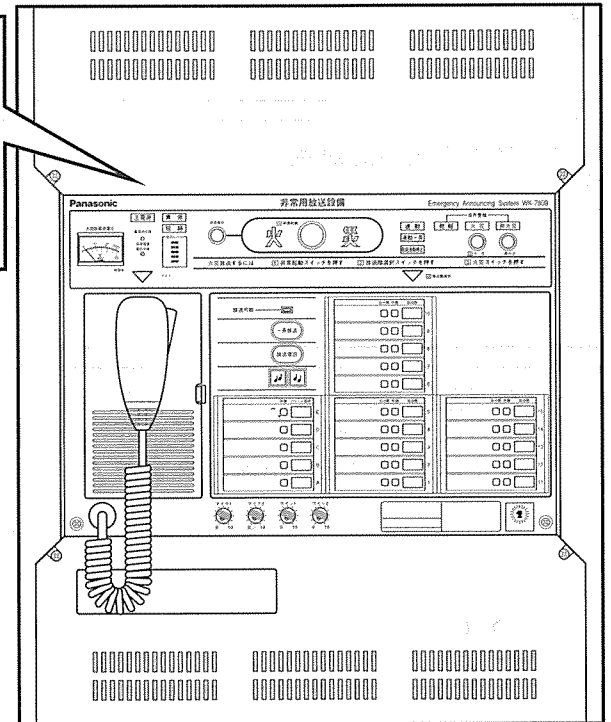
点検作業を開始する前に以下の内容を確認してください。

- 1.AC電源は接続しましたか?分電盤のスイッチは「入」になっていますか?
- 2.蓄電池のコネクタは接続されていますか?
- 3.電力増幅ユニットの電源スイッチは「ON」になっていますか?
- 4.スピーカの配線は終わりましたか?
- 5.リモコンマイクなど他の機器の接続は終わりましたか?

## 停電時の確認

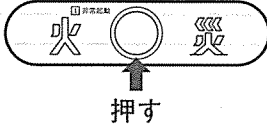
非常放送時、AC電源を切り、蓄電池動作に切り換わることを確認してください。

運用を開始する前に正しく動作するか点検してください。  
定期的に保守点検を行ってください。(保守点検のしかたをお読みください)



### ■動作点検（非常放送）

**1** 手で非常起動スイッチを押します。  
火災灯が点灯し、放送階選択指示灯が点滅しますか？



- 非常時、オレンジ色に点滅（手動）します。
- 点滅しているとき、放送階選択スイッチを押すと点灯にかわります。

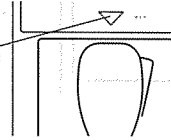
- 手動のとき押すと、火災灯が点灯します。



**2** 放送階選択

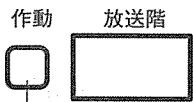
**2** マイク指示灯が点滅していますか？

- 非常時、オレンジ色に点滅します。



**3** 放送階選択スイッチを1カ所押します。  
押された階の作動表示灯が点灯し、音声警報放送（発報または火災放送）が流れますか？

- 放送したい階の放送階選択スイッチを押します。（作動表示灯が緑色に点灯）
- 放送階選択スイッチを押すと緑色に点灯します。

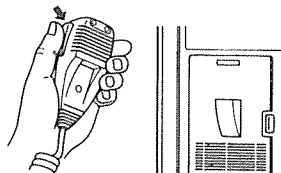


- 火災灯が点滅します。

**4** マイクを外し、アナウンスします。  
マイクスイッチを押すと、マイク指示灯が点灯し、音声警報放送が止まり、アナウンスが3で押された階に流れますか？

- スイッチを押しながら放送すると点灯します。

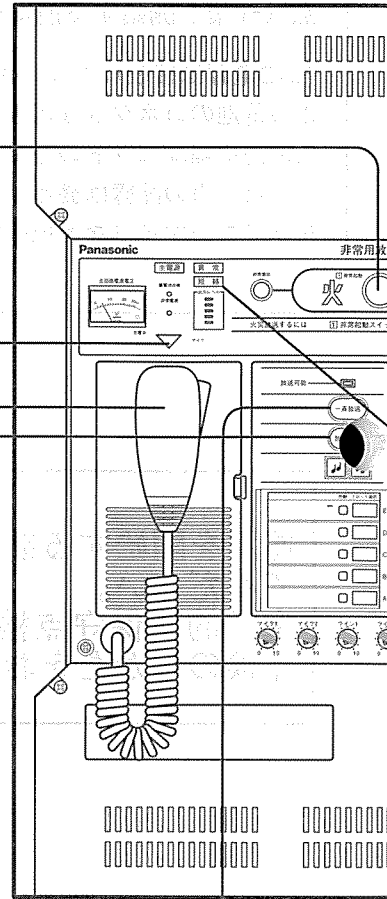
スイッチを押す

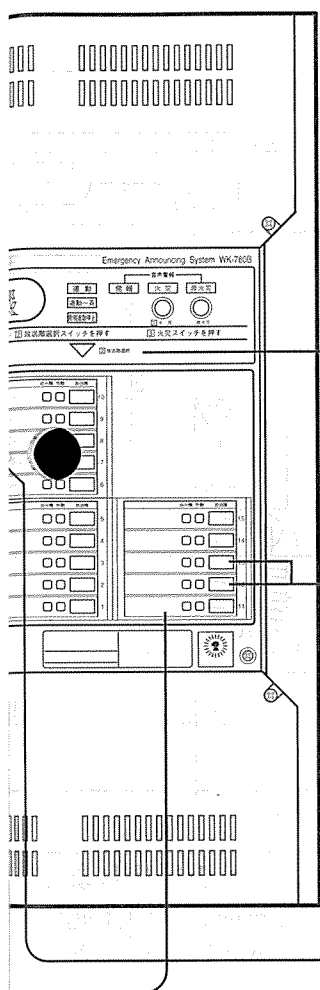


**5** 一斉放送スイッチを押してアナウンスします。  
すべての作動表示灯が点灯し、全館にアナウンスが流れますか？

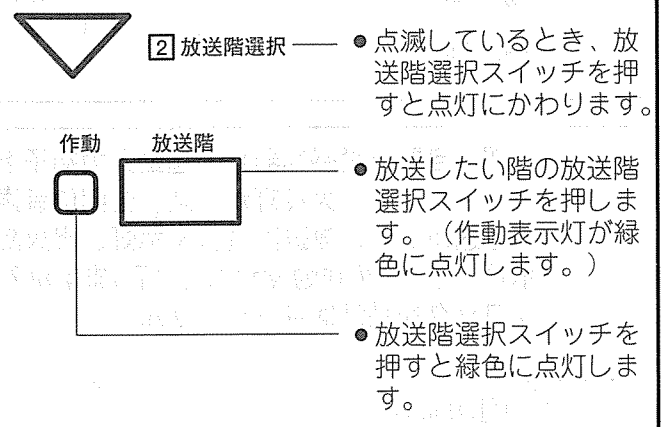
**6** 放送終了後は、放送復旧スイッチを押します。  
作動表示灯が消えスピーカ放送も切れますか？

※第2タイマーにより一斉火災放送に移行した後、放送復旧スイッチは無効となります。非常復旧スイッチを押して **1** からやりなおしてください。

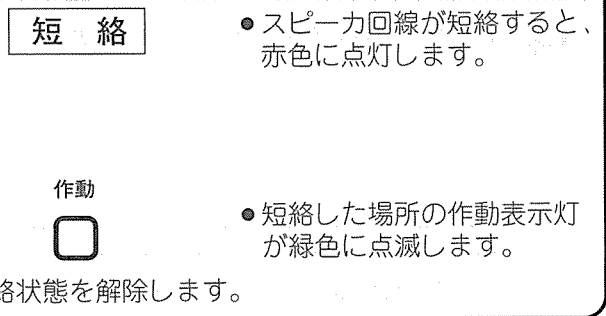




**7** 放送階選択指示灯が点滅し、任意の放送階選択スイッチを2、3カ所押します。放送階選択指示灯が点灯し、作動表示灯が点灯しますか？



**8** 7で押した階のいずれか一つのスピーカ回線を短絡させます。(火災または非火災放送を出力してください) 短絡表示灯が点灯し、短絡させた階の作動表示灯が点滅しますか？



**一斉放送**

- 一斉放送スイッチを押すとすべての作動表示灯が緑色に点灯します。
- 火災灯が点灯します。

**放送復旧**  
↑  
押す

- 放送復旧スイッチを押すとすべての作動表示灯が消えます。

**9** 8の状態、分電盤のスイッチを「切」にします。8の状態が継続していますか？(確認後、すぐに分電盤のスイッチを「入」にしてください。)

**10** 非常復旧スイッチを押します。火災灯、放送階選択指示灯、点灯している作動表示灯、マイク指示灯が消えますか？

**11** コンピュータ制御スイッチ(マイクドア内)を「切」にしてから「入」にしてください。短絡表示灯、作動表示灯が消えますか？

# 設置時の点検

**12** 連動一斉スイッチを押します。  
連動一斉表示灯が点灯しますか？

連動

連動一斉

発報連動停止

- 連動一斉としてご使用になるとき、連動一斉スイッチを押すと赤色に点灯します。

**13** 自火報（自動火災感知器）の起動入力端子をショートします。火災灯が点滅、全館に音声警報放送が流れ、放送階選択指示灯、出火階表示灯、すべての作動表示灯が点灯しますか？  
（ブロック作動灯は点灯しません。）



② 放送階選択

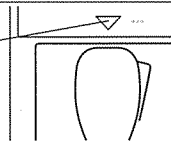
出火階 作動



- 非常時、オレンジ色に点灯します。
- 非常時、すべての作動表示灯が緑色に点灯します。
- 非常時、赤色に点灯し、出火階を表示します。
- 一つの階に複数の室があるときは、その階のすべてが赤く点灯します。
- 火災音信号（ピー、ピー、ピー）が鳴動します。

**14** マイク指示灯が点滅していますか？

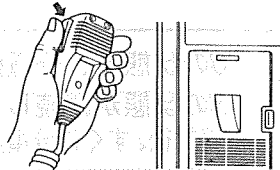
- 非常時、オレンジ色に点滅します。



**15** マイクを外し、アナウンスします。  
マイクスイッチを押すと、マイク指示灯が点灯し、音声警報放送が止まり、アナウンスが全館に流れますか？

- スイッチを押しながら放送すると点灯します。

スイッチを押す



**16** 自火報（自動火災感知器）の起動入力端子を復旧し、非常復旧スイッチを押します。  
火災灯、放送階選択指示灯、出火階表示灯、すべての作動表示灯が消えますか？

非常復旧



押す

- 非常放送を復旧させるときこのスイッチを押します。

**17** 連動スイッチを押します。「連動一斉」が消え連動表示灯が点灯しますか？

連動

連動一斉

発報連動停止

**18** 自火報（自動火災感知器）の起動入力端子をショートします。火災灯が点滅し、音声警報放送が流れ放送階選択指示灯、出火階表示灯、出火階指定で書き込まれた出火階および連動階などの作動表示が点灯しますか？

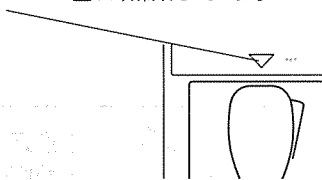


② 放送階選択

- 非常時、オレンジ色に点灯します。
- 火災音信号（ピー、ピー、ピー）が鳴動します。

### 19 マイク指示灯が点滅していますか？

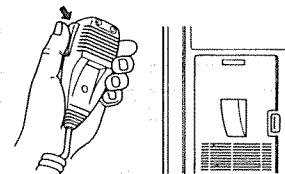
- 非常時、オレンジ色に点滅します。



### 20 マイクを外し、アナウンスします。マイクスイッチを押すと、マイク指示灯が点灯し、音声警報放送が止まり、出火階、連動階などにアナウンスが流れますか？

- スイッチを押しながら放送すると点灯します。

スイッチを押す



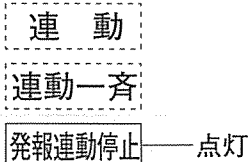
- 火災音信号（ピー、ピー、ピー）が消えます。

### 21 自火報（自動火災感知器）の起動入力端子を復旧し非常復旧スイッチを押します。火災灯、放送階選択指示灯、出火階表示灯、すべての作動表示灯が消えますか？



- 非常放送を復旧させるとき、このスイッチを押します。

### 22 発報連動停止スイッチを押します。発報連動停止表示灯が点灯しますか？押すと消灯しますか？



### 23 自火報（自動火災感知器）の起動入力端子をショートします。火災灯が点滅し、モニタースピーカから「ピー、ピー、ピー」が鳴り、出火階表示灯、出火階指定で書き込まれた出火階および連動階などの作動表示灯が点灯しますか？



2 放送階選択

- 非常時、オレンジ色に点灯します。

- 非常時、出火階および連動階などの作動表示灯が緑色に点灯します。（出火階指定で書き込まれたモードで作動します。）

出火階 作動



- 非常時、赤色に点灯し、出火階を表示します。
- 一つの階に複数の室があるときは、その階のすべてが赤く点灯します。

- マイク指示灯が点滅します。

- 連動としてご使用になるとき、連動スイッチを押すと赤色に点灯します。

- 非常時、出火階および連動階などの作動表示灯が点灯します。（出火階指定で書き込まれたモードで作動します。）

出火階 作動



- 非常時、赤色に点灯し、出火階を表示します。
- 一つの階に複数の室があるときは、その階のすべてが赤く点灯します。

# 設置時の点検

24

火災放送スイッチはまたは非火災放送スイッチを押します。自動的に出火階、連動階などに火災放送または非火災放送が流れますか？（火災放送は次の操作まで、非火災放送は2回、繰り返し流れます。）

音声警報

火災

非火災



③ 火災



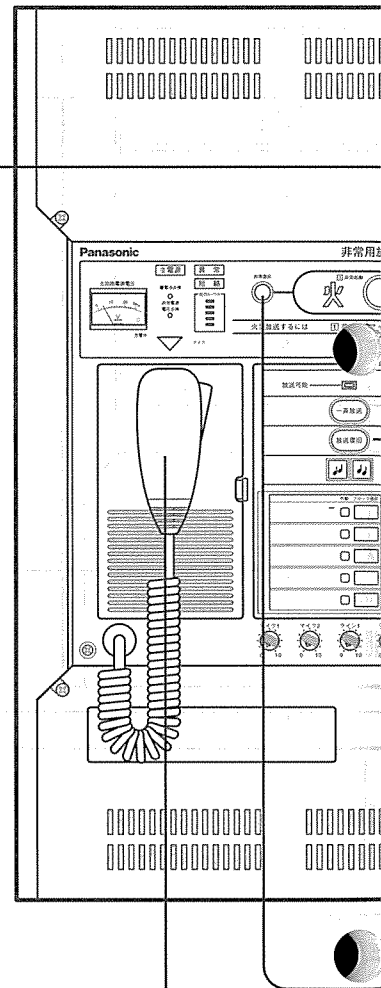
非火災

火災放送

ピンポン ピンポン ピンポン  
「火事です！火事です！○階で火災が発生しました。落ち着いて避難してください。」  
ビュービュービュー（第2シグナル音）

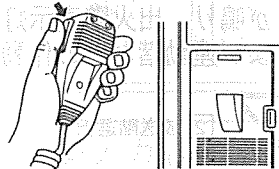
非火災放送

ピンポン ピンポン ピンポン（第1シグナル音）  
「先ほどの火災感知器の作動は、確認の結果、異常ありませんでした。ご安心ください。」



25

マイクを外し、アナウンスします。マイクスイッチを押すと、マイク指示灯が点灯し、音声警報放送が止まり、出火階、連動階などにアナウンスが流れますか？





本機は製造時より電源が切れている状態で、電源が入ると自動的に放送が開始されます。

**26** 放送終了後は放送復旧スイッチを押します。  
作動表示灯が消え、放送階選択指示灯、マイク指示灯が点滅し、音声警報音が止まりますか？



● 放送復旧スイッチを押すと作動表示灯が消え、放送階選択指示灯、マイク指示灯が点滅します。

**27** 自火報（自動火災感知器）の起動入力端子を復旧させ、非常復旧スイッチを押します。  
火災灯、放送階選択指示灯、出火階表示灯が消えますか？



● 非常放送を復旧させるとき、このスイッチを押します。

**28** 非常起動スイッチと任意の放送階選択スイッチを押し、発報放送を放送します。  
第1タイマー設定時間経過後、火災放送が放送されますか？  
第2タイマー設定時間経過後、一斉火災放送が放送されますか？  
確認後は非常放送復旧スイッチを押して、音声警報を止めてください。

トク用緊急放送装置の電源が切れている状態で、電源が入ると自動的に放送が開始されます。

# 設置時の点検

## ■動作点検（業務放送）

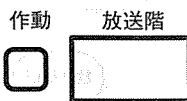
- 停電時は、業務放送できません。
- 本機は、後押し優先方式を採用しており、一般放送時（業務放送時）には、常に後から押したスイッチが優先します。

**1** 任意の放送階選択スイッチを押します。放送可能表示灯が点灯、押された階の作動表示灯が点灯しますか？

放送可能 

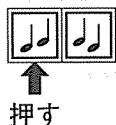
- 一斉放送スイッチ、ブロック選択スイッチまたは、放送階選択スイッチを押すと、緑色に点灯し、放送可能状態となります。

- 放送したい階の放送階選択スイッチを押します。（作動表示灯が緑色に点灯。）



- 放送階選択スイッチを押すと緑色に点灯します。

**2** コールサインスイッチを押します。1で押した階にコールサインが鳴りますか？



- 放送したい場所の放送階選択スイッチまたはブロック選択スイッチを押した後に、コールサインスイッチを押します。

**3** 一斉放送スイッチを押します。すべての作動表示灯が点灯しますか？



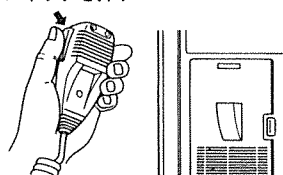
- 一斉放送スイッチを押すとすべての作動表示灯が緑色に点灯します。

作動 

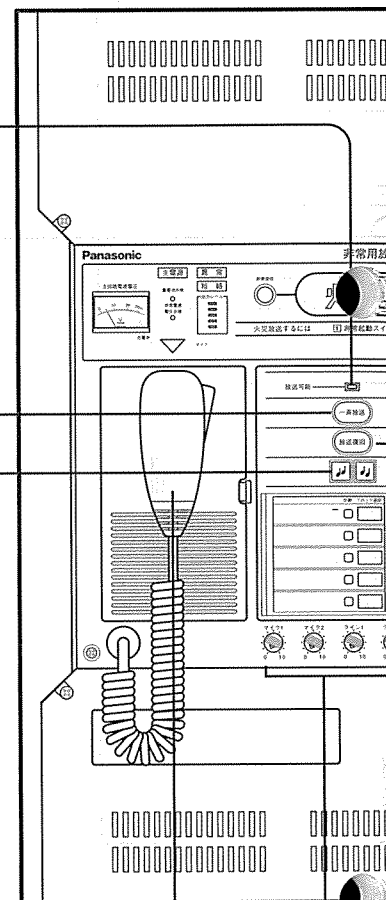
- 一斉放送スイッチを押すとすべてが緑色に点灯します。

**4** マイクを外し、アナウンスします。マイクスイッチを押すと、アナウンスが全館に流れますか？

スイッチを押す



**5** 放送終了後は、放送復旧スイッチを押します。作動表示灯、放送可能表示灯が消え、電力放送も切れますか？

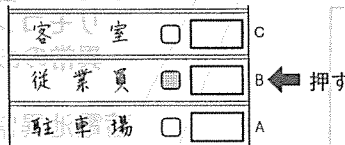


**8** 放送終了後は放送復旧スイッチを押します。  
作動表示灯、放送階選択指示灯、放送可能表示灯が  
消えますか？



- 放送復旧スイッチを押すと作動表示灯、放送可能表示灯が消えます。

**7** ブロック緊急指定したブロック選択スイッチを押し、アナ  
ウンスします。  
放送階選択指示灯が点灯し、ブロック緊急指定された場所  
の作動表示灯が点灯し、アナウンス放送が流れますか？

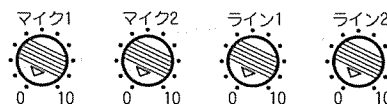


- 指定した場所の作動表示灯が緑色に点灯し、放送階選択指示灯がオレンジ色に点灯します。

**6** あらかじめ接続されている機器についてレベルを  
設定します。  
お客様にメモリの位置を覚えてありますか？

出力レベル表示灯により各々の音量を決めてください。アナウンス、BGMなどの出力レベルは右表を目安としてください。

	出力レベル
アナウンス	-10~-5 dB
BGMなど	-20~-10 dB



- 放送復旧スイッチを押すと、作動表示灯、放送可能表示灯が消えます。

# 保守点検のしかた (保守点検者の方へ)

## ご注意

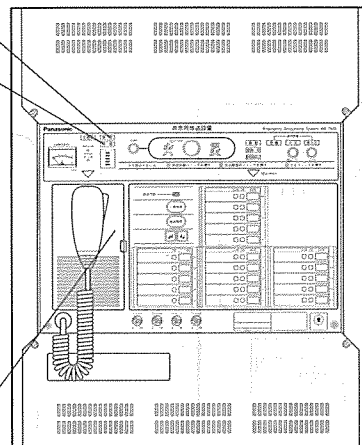
非常放送設備の保守は、消防設備士（第4類甲、乙、第7類乙）または、第2種消防設備点検資格者でなければおこなえませんのでご注意ください。

## ■点検について

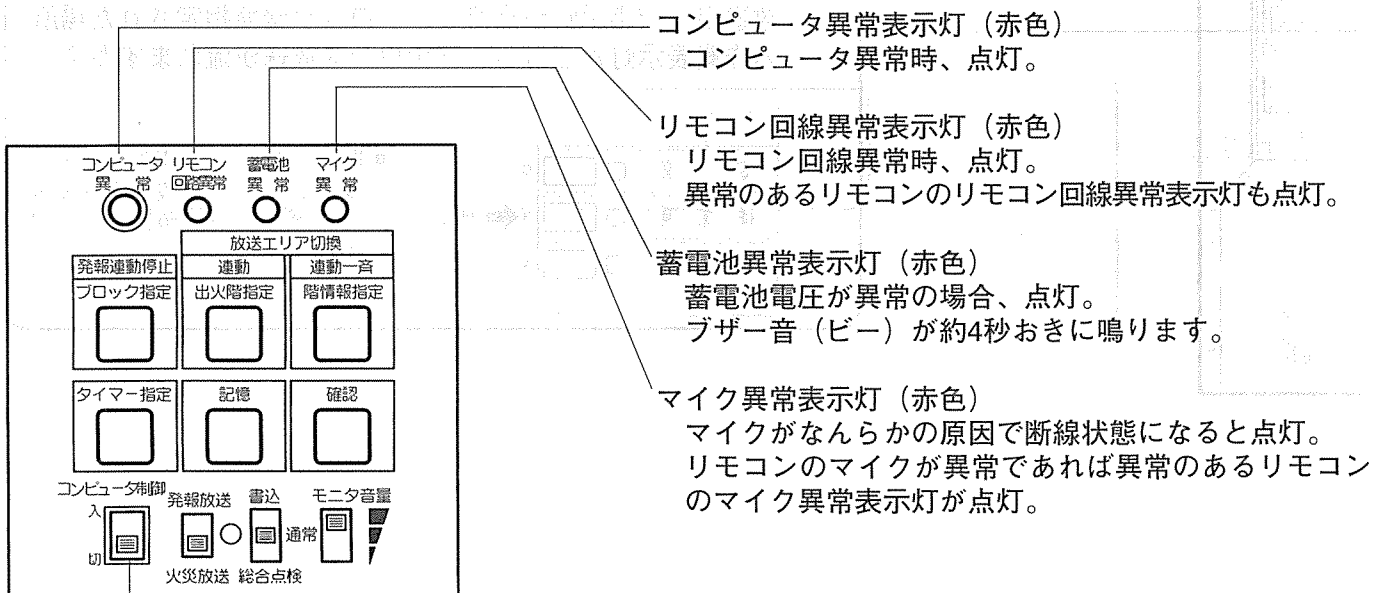
- 本機にはセルフチェック機能があり、コンピュータがリモコン回線、コンピュータ自身、スピーカー回線（短絡）、マイクを常時点検し、24時間おきに蓄電池の点検をおこないます。
- コンピュータが異常を発見したときは、操作パネル左上の異常表示灯、または短絡表示灯が点灯し警告音（ブザー：ピー）が鳴ります。マイクドアを開け、どこの異常かを確認してください。
- 警告音を消すにはどれかスイッチを押してください。一時的に消すことができます。異常表示灯は赤く点灯したままです。

### 異常表示灯(赤色) 短絡表示灯(赤色)

スピーカー回線が短絡すると点灯し、短絡した場所の作動表示灯が緑色に点滅します。



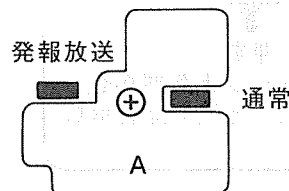
## マイクドア内



- コンピュータ異常、蓄電池異常、マイク異常、短絡異常になったとき、復旧後は、コンピュータ制御スイッチを「切」にしてから（リセット）、「入」にしてください。

## ■総合点検

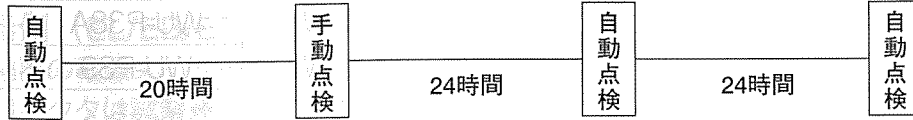
- 外部に音を出さずに、本機の総合点検ができます。
- 1.マイクドアを開け、「書き込みスイッチ」を「総合点検」にします。
  - 2.業務放送および、非常放送をおこないます。このとき、外部には音が出ませんので、それぞれの表示灯、指示灯および出力レベル表示灯が働いていることを確認します。  
360Wの電力増幅ユニット（WU-P39）を組み込んでいるときは、非常電源スイッチとコールサインスイッチを同時に押して、非常電源での動作を確認してください。
  - 3.全ての動作を確認しましたら、「書き込みスイッチ」を「通常」にし、発報放送／火災放送切換スイッチと共に固定金具で固定してください。



# 電源の点検

メモ

- 本機には、セルフチェック機能があり、コンピュータが24時間おきに蓄電池の点検を自動的におこないますが、手動でも点検がおこなえます。
- 手動で点検をおこないますと、コンピュータは、それから24時間おきに自動的に点検をおこないます。



## ●自動点検

コンピュータが24時間おきに点検をおこないます。

## [コンピュータが異常を発見したとき]

- 「異常表示灯」と「蓄電池異常表示灯」が赤色に点灯し、4秒おきにブザー音（ピー）が鳴ります。

## [処置]

- 操作パネルのいずれかのスイッチを押すとブザー音（ピー）が止まります。販売店または、保守契約店にご連絡ください。
- ブザー音（ピー）が止まっても異常表示灯は赤く点灯したままです。

## ●手動点検

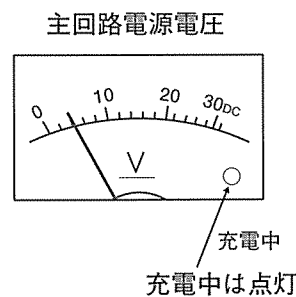
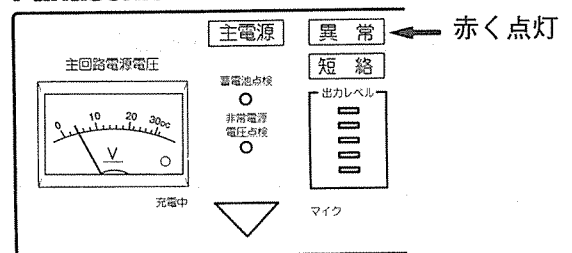
1. 主回路電源電圧を確認してください。  
非常電源電圧点検スイッチを押さない状態で、主回路電源電圧計の針が緑色（DC21～31 V）の範囲内であることを確認します。
2. 蓄電池電圧を確認してください。  
蓄電池点検スイッチを押して、主回路電源電圧計の針が緑色（DC21～31 V）の範囲内にあることを確認します。

## ⚠ 注意

蓄電池の電圧の点検は、1日の点検で2回以内までとしてください。  
指定回数より多く蓄電池点検スイッチを押したり、押し続けたりすると、蓄電池が消耗し、非常時に本システムが動作しなくなる恐れがあります。

3. 非常電源電圧を確認してください。  
非常電源電圧点検スイッチを押した状態で、主回路電源電圧計の針が緑色（DC21～31 V）の範囲内にあることを確認します。
4. 充電中表示灯が点灯していることを確認してください。  
●充電中は点灯となります。

Panasonic



蓄電池点検

- ← 押す (蓄電池電圧)
- ← 押す (非常電源電圧点検)
- ← 押す (非常電源電圧)

# 保守点検のしかた

## ●蓄電池の交換について

### ⚠ 注意

蓄電池の交換は、販売店か保守契約店に依頼する



ショートさせる、火中に投じる、屋外に放置する、分解するなど絶対にしないでください。感電の原因となります。

- 蓄電池は非常放送されなくても、寿命があります。
- 点検の際容量不足があれば、全数新品と交換してください。
- 交換した蓄電池の取り扱いは注意してください。

### 電力増幅ユニットと蓄電池の組み合わせ

ワット(W)数	電力増幅ユニット	ニカド蓄電池
60 W	WU-P36A	NCB-165
120 W	WU-P37A	NCB-350
240 W	WU-P38A	NCB-600
360 W	WU-P39	NCB-600

- 不要になったニッケル・カドミウム蓄電池は貴重な資源を守るために、廃棄しないでニッケル・カドミウム蓄電池のリサイクルにご協力ください。



Ni-Cd

### ⚠ 注意

- 蓄電池を交換する際は電力増幅ユニットのワット数に合わせて必ず上表のものを使用してください。これ以外の蓄電池を使用することは充電電流の違いなどから過充電などの危険な状態になりますので絶対に使用しないでください。
- 蓄電池を交換する場合は、電力増幅器などの常用電源スイッチ(WU-P39)、AC電源スイッチ(WU-P36A, P37A, P38A)を「入」または「ON」にした状態で行ってください。

## ■スピーカ回線の点検および絶縁抵抗試験

### ●スピーカ端子の絶縁抵抗試験

必ず電力増幅器の電源スイッチをOFFにして、かつCN304, CN402をはずしてください。

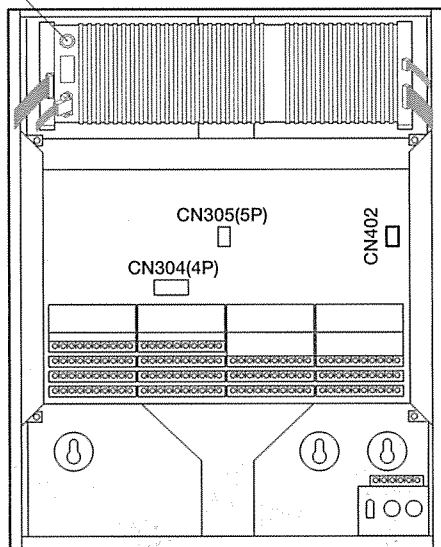
- はずしたコネクタは試験後にもどしてください。
- 絶縁抵抗試験試験は電源スイッチOFFの状態で行ってください。

### ●火災報知器側 (EL/EB/EF) で絶縁抵抗試験をする場合

必ず電力増幅器の電源スイッチをOFFにして、かつCN304, CN305をはずしてください。

- はずしたコネクタは試験後にもどしてください。
- 絶縁抵抗試験試験は電源スイッチOFFの状態で行ってください。

電源スイッチOFF



- スピーカ端子の絶縁抵抗試験時  
CN304, CN402を外す。
- 火災報知器側(EL/EB/EF)での絶縁抵抗試験時  
CN304, CN305を外す。

### お願い

スピーカ接続端子、EL、EF、EB等の各端子には、雷サージおよび静電気保護のためにシャージとの間に、ZNR (サージアブソーバー) がとりつけられています。指定のコネクタをはずしてから絶縁抵抗試験を行ってください。はずさないで試験を行うと試験結果はNGとなります。

また絶縁抵抗試験は配線の片側と大地間で行います。配線相互間で行うと接続されている機器 (含む本機) を破損する場合があります。

# 録音装置用録音テープの録音方式とテープ

録音方式の種類とその特徴

1. 単方向録音方式

テープの一端から他端まで一方向に録音が行われる。

2. 両方向録音方式

テープの両端から中央に向かって録音が行われる。

3. 巻き戻し録音方式

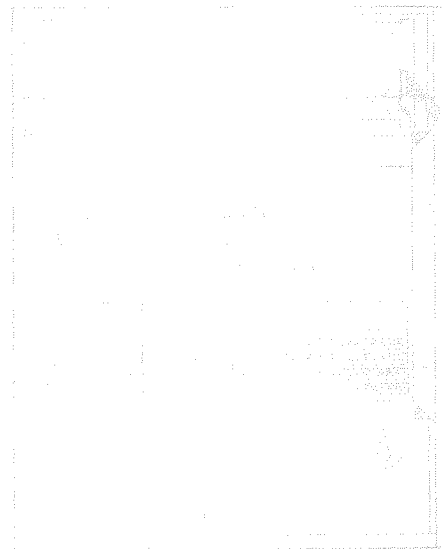
録音テープの録音方式

(左側) 録音テープの録音方式

テープの両端から中央に向かって録音が行われる。

テープの一端から他端まで一方向に録音が行われる。

テープの両端から中央に向かって録音が行われる。



録音方式の種類

録音方式の種類

録音方式の種類

録音方式の種類

録音方式の種類

録音方式の種類

松下電器産業株式会社

松下通信工業株式会社 AVシステム事業部

〒224 横浜市都筑区佐江戸町600 ☎(045)932-1231(大代表)

N0297-1057

A8RA1087BN